

20 周年記念誌

ボーイスカウト
ガールスカウト
東京第四団

1967

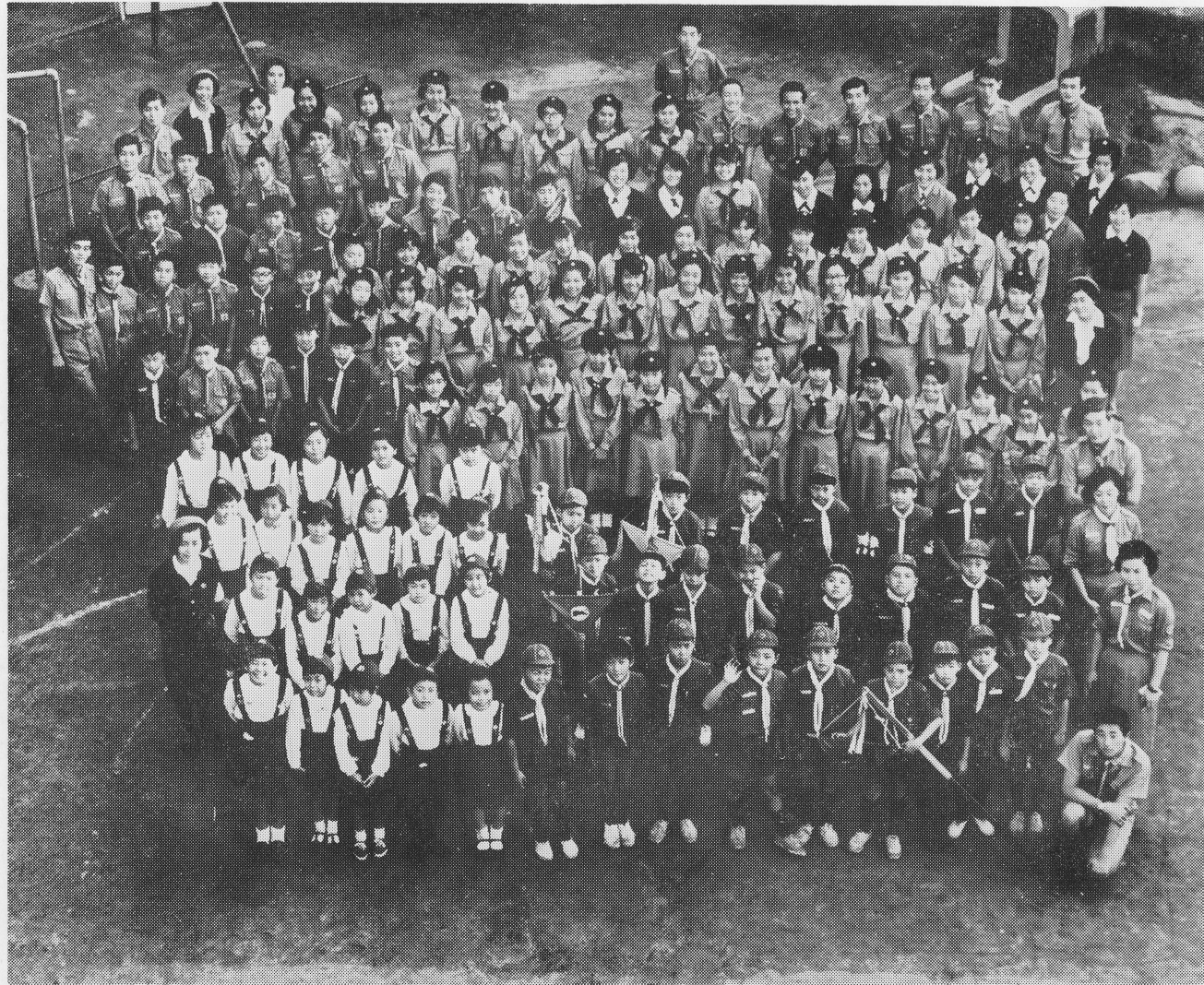


表紙のことば

私達のスカウト活動はこの教会に始まりこの教会と共に歩んだ二十年です。そしてこの教会に深い愛着と母親の様な気持をもつていきます。僕もその一人としてこの絵を描いてみました。

大 兵





20才を迎えた 霊南坂スカウト (1967)



← 隊キャンプ
(1951)

朝子先生の結婚式
(1950)



10周年記念 バスピクニック
—西武園— (1957)





← ブラウニーキャンプ
—館 山—
(1967)



10周年記念 バスビク
—西武園— (19



↑
新年もちつき大会
(1967)

→
上級キャンプ
—佐久間—
(1966)

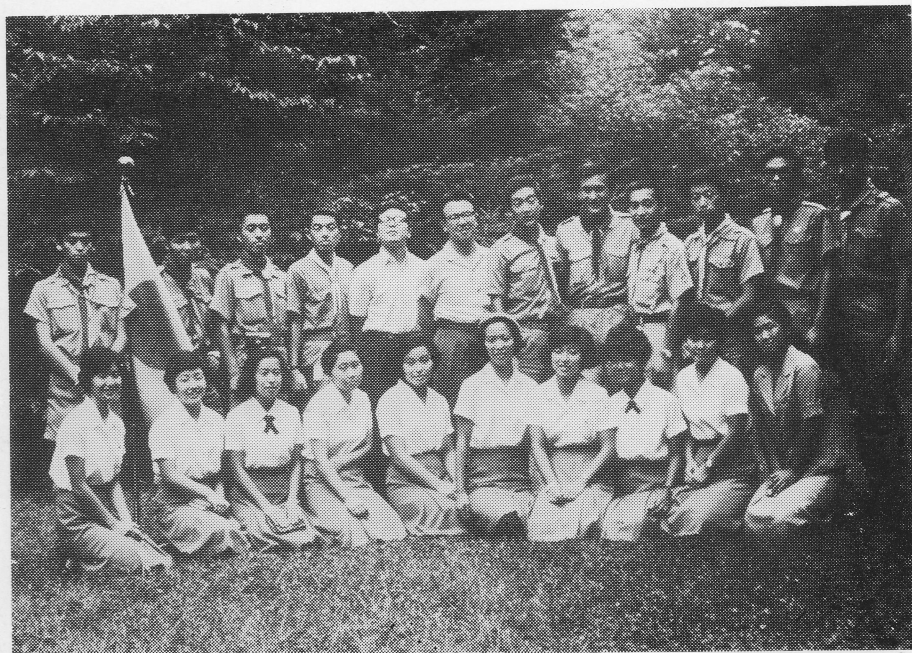




← ある日のカブ集会
(1966)




ガールスカウト ハイキング →
—子供の国—
(1966)



← リーダー 研修会
—軽井沢—
(1966)

Be contented with what you have got




Be contented with what you have got
and make the best of it.

Baden-Powell
(Last message to Boy Scout)

自分が得たものに満足し
それを最善に利用しなさい

ベーデン・ポウエル
(最後のメッセージ)



目次

霊南坂スカウトの二十年
二十年二昔
祝 辞
四団のリーダーは
連盟の指導者
教会とスカウト
歴代の指導者
これまでの二十年と
これからの二十年
創立廿周年によせて
オールドスカウトは
快活である
古くて新しいお話
ハシリ
友愛のこころ
一列ゴミ拾いの由来
われらスカウト族

小崎 道雄 4
久留島 秀三郎 6
三島 昌子 6
山口 勝治 7
飯 清 8
マーチン・
ウイリアムス 10
芹野 朝子 13
志水 功 15
橋本 広子 16
今田 富士雄 16
西郷 尚子 19
飯田 貞雄 22
根本 喜久子 23

和服が流行る
アメリカからおめでとう
ちよつとひとこと
娘の代まで、孫の代まで
キャンプCAMPきやんぷ
一親バカの記
先輩より
二十年おめでとう
団委員会
二十年記念によせて
二十年を迎えるに当つて
共に歩む
二十年を祝して
あなたの特徴は何ですか
第四団二十周年に寄せて
四団と共に

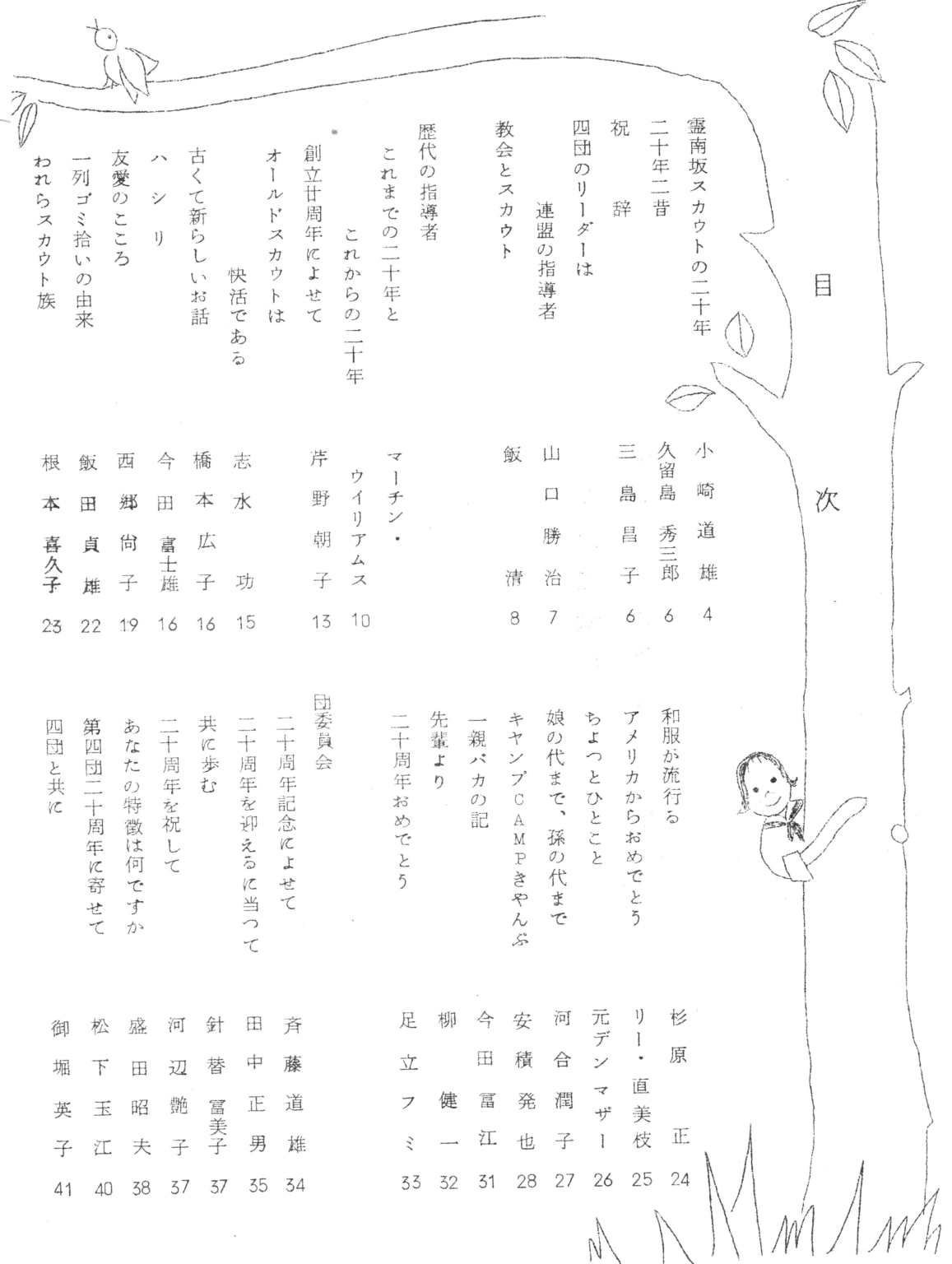
杉原 正 24
リー・直美枝 25
元デンマザー 26
河合 潤子 27
安積 発也 28
今田 富江 31
柳 健一 32
足立 フミ 33
斉藤 道雄 34
田中 正男 35
針替 富美子 37
河辺 艶子 37
盛田 昭夫 38
松下 玉江 40
御堀 英子 41

二十二年を覚えて

中谷 洋江 42

キャンプについて

小池 四郎 37



一列ゴミ拾いの由来
われらスカウト族

御堀英子 23

四団と共に

御堀英子 41

四団二十周年を迎えて
蜂蜜のおはなし

中谷洋江 42
美藤章 43

キャンプについて
スカウトイングについて
合同キャンプファイター
スカウトイング

小池四郎 87
倉持雅人 88
堀内敬子 88
伊藤由紀子 89

スカウトのページ

カブスカウト

46

日本ジャンボリー

針替茂人 89

ブラウニー

49

キャンプ

関真帆 90

ボーイスカウト

52

カブスカウトになつて

中村一也 91

ガールスカウト

56

コーラス隊に入つて

五十嵐麻利子 91

シニアスカウト

61

団キャンプに参加して

黒部峰子 92

上級スカウト

65

ガールスカウトになつて

井辻朱美 92

ローパー

69

キャンピングから得るもの

沢田明秀 92

レンジャー

77

合同バスビクニック

戸田健次郎 93

カブキャンプ

83

キャンプについて

小林小百合 94

スカウトイングについて

84

第四団年表(二十年史)

96

山中湖キャンプ

85

編集後記

109

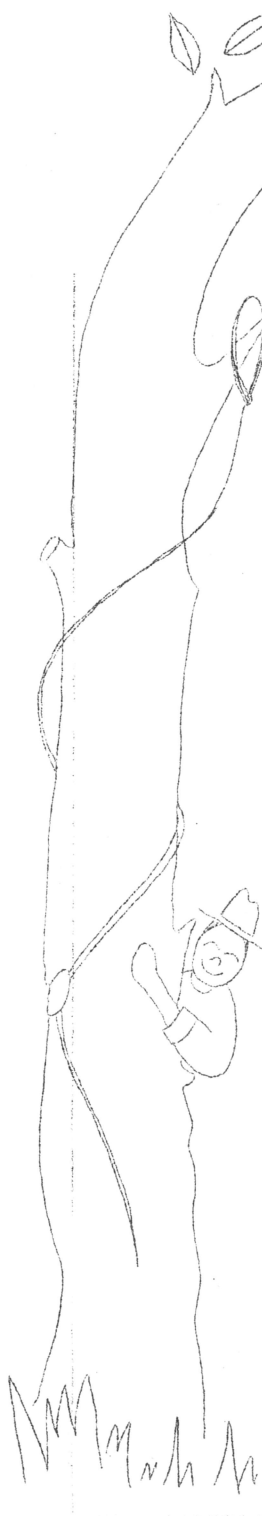
ブラウニー

86

リーダー研修会

86

表紙：大浜良友・カット：堀越紀代



二十年のスカウト南坂霊

師牧營名教会坂南霊

雄道崎小

終戦後間もない頃、米軍々属の化学研究者ウイリアムという青年クリスチャンが来訪して教会のスカウトを設置してはどうかというのが第四分隊、今では日本でも有名な優秀分隊の一つとなつた。

英国の如きスカウトの盛大な国ではそのスカウトの凡そ七〇パーセントは教会所屬である。元來スカウト運動は教会の宗教々育の手段として最も有効であるので始められたものである。スカウト運動は少年として野外生活の心得と同時に同志の集團生活の修得を聖書の基本精神を中心として身に付けるのが目的である。日本に於ては戦前、軍隊教育の訓練面を主として小さい武器を持たざる軍隊の如く考えられ、軍国主義の一翼の如く官憲が指導する様な形であつた。そのため戦後主権在民の民主国家になつたにもかかわらず、稍々ともするとその香が残つて居る感がする。

それ故特に我が国の教会がこの方面に積極的に貢献すべきものと内外より期待されたのである。然るに日本の教会は微力でかくの如き運動に指導的地位を取るだけの実力もなく又熱意も十分ではない。幸に我が靈南坂は今日の大をなすに至つた。

スカウトの根本精神は神を尊敬し、他人を己の如く愛すると言うことでこの精神を

実践するには隊員相互訓練を社会に及ぼすため国家の象徴たる国旗を敬愛すること、秩序を重んずる等を基本的に学ぶことになつてゐる。他人に奉仕することが自然であるように、我がスカウトは廿年の歴史に於て度々国際ジャンボリーに代表者を送り、国家或は諸種の運動にも奉仕してきた。又教会のために協力奉仕した。

願くば皆様が日曜日教会学校によく出席し、聖書を学び、進んでクリスチャンとして洗礼を受け、外にも内にもスカウト運動のよき指導者となる人が多く起る様にさせて頂きたい。そのため教会は設備を提供し、牧師を送り凡ゆる協力をするのである。教会側から言うなら、スカウトはイエスの証人としての生活を訓練する運動であるからである。

(ボーイスカウト日本連盟相談役)

二十一年一昔

祝 辞

ボーイスカウト日本連盟総長

ガールスカウト東京支部長

久留島 秀三郎

三 島 昌 子

十年一昔と、二十年三昔 たつて見れば早いもの。だが二十年前の日本を思えば、まだ食い物も充分でなかつた。今のスカウト諸君にはそんな事を言つてもわからぬかも知れないが、其のころは実際御米も充分に腹ふくらませる丈けもなかつた。何もかも不足々々。

その時にスカウトこそと、踏み切られた今井さん、それを助けてけわしい路をあゆまれた今田、飯田さん「ほんとうに御苦労でしたなあ」と言いたい。

くらい世の中に明るい光の路を、それは楽しい路となつた。心地よい輝きに闇はきえて行つた。ほんとうに皆と共に歌う歌のように。二十年の御祝を心から御よろこびします。そして更に十年、二十年、三十年と、それには限りがない。

スカウティングをより広く、より深く根をおろしましょう。さらばより高く、よりよき道が開られて行こう。お互にしつかりやろう。それが「いやさか」のもと。

四団ガール・スカウトの皆さん、二〇周年おめでとうございます。

これまで築きあげられたお姉様方の貴い功績に、まづ心からの敬意を表したいと思ひます。東京に誇る伝統ある団のスカウトとして、あなた方が更に充実したスカウトの道に前進されることを期待いたします。

四団リーダーの方々へ、お祝いの言葉にかえて、B・Pの次の言葉をお贈りしましょう。

『スカウトを訓練する時、手段だけに目を奪われるのではなく、より高い目的をもとう。技術的なものを精神的なものより重んじてはいけない。野外技術、緻密な自然観察、キャンプ、ハイキング、善行、クラブト・ジャンボリーの友好はすべて最終の目的ではありません。究極の目的は人格です。目的をもつた人間です。そしてその目的とは、次代の人々がたとえどんな世界に住んでも、健全な精神をもち、奉仕の実践をひろげ、神と隣人への愛とつとめの積極的な奉仕をすることです。』

四団のリーダーは連盟の指導者

ボーイスカウト東京連盟
県コミツシヨナー

山口 勝 治

◎ ウィリアムさん

二十年前、資料も極めて少なかった頃、東京連盟の指導者講習会に快く出馬され、資料を惜し気もなく貸してくれ、色々と実際上の問題を指導してくれた恩人。スカウト運動発展の為に好きな煙草をキツパリやめた人。

◎ 今井養二さん

ウィリアム氏と共に、日本連盟も東京連盟も再建当初の偉大なる功労者、着るものも不自由な時代とはいえ、今井さんの旧海軍士官の軍服のまま、講習会の為の資材、丸太を何本も肩にかついで奉仕された謙虚な姿が眼底に焼きついて忘れられない。

◎ 今田富士雄さん

現に副コミとして一切を托しお世話になつてゐるし今後も御尽力を願う人。スマートネスの標本的人物といわれ勝なお人柄でありながら、どうしてどうして骨の硬い誠実な事スカウティングの本質にかけては一步も引かぬ心の通つた中堅人物。期待される人間像とはこの人の為の言葉か。

◎ 飯田貞雄さん

卓越したスカウターであり、尊敬すべき教育者。ヨーロッパに旅行した時も、寸暇を割いて各国の特殊教育を視察された人。一行の連中の二倍も三倍も視察見学を積み重ねている。お土産といえば有金全部をはたいて、スカウトの参考書と専門の關係書ばかり。生真面目一方と見えるが、品のいいスカウトがにじみ出る。味のある人物。

◎ 杉原 正さん

カブリーダーとしては当代の第一人者。この夏ある実習所に、二日程遅れて（御無理を願つて）スタッフとして奉仕してもらつたが、その日から本部の生活態度が不言不話の中に緊張し活気をもち、しかも清潔な本部に一変した。リーダーシップの権化。



教会とスカウト

飯 清

靈南坂教会にボーイスカウトが組織されたのは一九四七年のことで、当時占領軍の一員として日本に駐留していたウイリアム氏の指導によるものでしたが、これはボーイスカウト日本連盟が組織されるよりも古く、戦後の日本では最初のものでした。

ガールスカウトの場合も同じように、日本連盟に先がけて、一九四八年に、靈南坂教会員有志の手で組織され、その後BもGも年令別に組織がつくられ、日本におけるスカウト運動の先駆者としての役割を靈南坂教会は果たしてきたと言えましよう。

しかし出発はしたものの、教会としては充分にスカウト運動に対し指導と協力との責任を果していなかったことを反省しながら、昨一九六六年初めには、教会が単に会場を提供しているだけではなく、スカウトに対し育成後援団体であると共に、また設置者としても責任を負っていることを再確認し、長老会の中にBも、Gもそれぞれの担当長老をおくとともに、牧師・伝道師が時間のゆるす限り積極的にスカウトの指導にあたるように要望したのでした。

このことは日連や支部の責任と権限を犯すものではなく、むしろ教会としてはスカウト運動創始者である英国のベーデンバウエル姉弟たちのキリスト教信仰と理想とに注目し、かつスカウトがその目標として掲げているところの「神と国とに誠を尽し」（Gでは「神と国とに対するつとめを行い」という言葉の意味を十分に理解させるように特に努力したいと願つてゐるわけです。

もちろんスカウト運動は教会学校と同じではありませんが、それがキリスト教的人格形成と矛盾するものではないことを、私たちは確信しています。私たち教会の責任者たちは現代社会における犯罪の増加（大人も子供も）、道義の低下、風教の墮落、ことに青少年非行の重大な原因が、今の時代の無神論的・反宗教的傾向に基づくものであることに鋭く注目しながら、キリスト教の目指す理想に従つて、キリスト教的人格をもつ人々の祈りと努力によつて、祖国の道義の向上と、理想的社会や家庭の建設のために「誠を尽し」また「つとめを果し」たいと願つてゐるわけです。

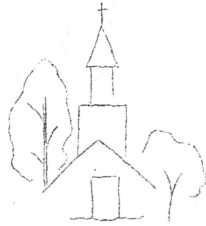
最近、英国のBも、Gも連盟で発行された「スカウトの教会生活への融合」という印刷物を読んでいた時に、次のような文章を見つけました。「スカウトの団は教会内の種々の働きの公認された部分であるべきで、またそう感じ受け取られるように努めなければならない。こうすることによつて、少女少女た

うに要望したのでした。

ちが、スカウトを終えても、教会からそのまま自動的に脱落するような危険性が最少限に減らされ、むしろスカウトが教会の中にその根元をもつものであることが確認されるようになるだろう」とあります。

どうか、スカウトと教会の動きが有機的に進められ、よき成果をあげることができるようにと、二十年にあたり、ことに願いつつ、祈るものです。

飯 清——靈南坂教会主任牧師。ボーイスカウト育成会々長、ブラウニー団委員、日本基督教団副議長として内外共に第一人者。説教だけでなく先生と口でやりあつて絶対に勝てる人がいない程の口にかけての実力者です。それでも大好物のエクレーヤを前にした時や、お得意の落語を一席など、とても牧師とは思われないやわらかい面もある我等の親分です。





歴代の指導者

これまでの二十年と

これからの二十年

マーチン・ウイリアムス

一九四七年二月二十二日土曜日の午後の東京はかなりの寒さだつた。この日の午後、今井彦二氏と私は少年たちの二つのグループと会つた。一つのグループとは靈南坂からほど遠くない小学校で（この学校の名前を忘れてしまつたが）、もう一つのグループとは教会で会つた。小学校にも教会にも暖房はなかつた。この日の午後の事で最も印象に残っていることは、少年達が非常に熱心だつたことと、足が冷たかつたことだつた。私たちが二月二十二日を選んだのは、この日がジョージワシントンの誕生日であり、さらにベーデンボウエル卿生誕九十周年記念日というスカウト運動にとつて重要な日であつたという理由ではなかつたと思う。二月二十二日の午後は、たまたま我々の都合のついた最初の機会であり、スカウトを発足させる計画を練り終つていたからにすぎない。我々二人はホーイスカウト36隊のメンバーだつた。彼はホノルル36隊に属しており、私はアラ

バマ州センタービルの36隊に属していた。我々はスカウトの結成について数日間論議した。また、かつて宣教師として韓国に居り当時S.C.A.P.の市民文化教育課にいた友人のウイリアム・C・カー博士を通じて三島通陽子爵と小崎道雄牧師と話し合つていた。そこで、その土曜日の午後、私たちは一つでなく二つのホーイスカウトを発足させた。

小学校のホーイスカウトは、独立した存在としては一週間続いただけだつた。というのは次の週の間に私たちは毎週土曜日それぞれ二つの短かい時間の集会を持つより、毎週土曜日の午後一つのスカウトと三時間の集会を持つ方が有効であると考へたからである。一九四七年三月一日の土曜日の午後、私たちは小学校のスカウトと会い、今井氏が彼らに、今後小学校のスカウトは靈南坂教会のスカウトの一部になることを告げた。その後、彼らは私たちと一緒に教会に行き教会のスカウトと合流した。

ここで私は一寸、読者の皆さまに私の経歴をお伝えしたいと思います。私はアラバマ大学で化学を学び一九三九年に学士号、一九四〇年に修士号をとり、ホーイスカウト東京第四隊の発足当時、二九才の化学者としてS.C.A.P.・G.H.Q.の経済科学部外国貿易課の化学資材担当専門員として十ヶ月間東京に滞在していた。アメリカホーイスカウトのブラックウオーリア連盟の一機関としてセンタービル36隊のメンバーとして、上級班長の仕

のメンバーだった。彼はホノルル36隊に属しており、私はアラ

機関としてセンチビル36隊のメンバーとして、上級班長の任

事をして、スタースカウト(注) 日本ではネスカウト)になった。

(私はライフスカウト(注) 日本では富士スカウト)として充分な技能章を持つていたが、ライフスカウトになるのに必要な体育技能章の水泳部門の技能章をとることができなかった)。

私はアラバマ大学の化学講師であつた一九四四年、アラバマ・タスカルーサにあつた長老派教会でカブ隊長として働き、一九四五年、ワシントンにある米政府外国経済庁で働いた時には、ワシントンのバーニー自治協会のボーイスカウトマスターだつた。私は最初は一年しか滞在しない計画でしたが、七年間も東京で過ごすことになったのは、ボーイスカウト東京第四隊と、その後のボーイスカウト日本連盟での仕事のためであつたと思われます。(略)

東京第四隊の初期の数ヶ月は出来事の多い月でした。隊が結成されて二、三ヶ月後に、東京中の隊(たつた六隊だつたと思いますが)が集まつたラリーに参加した。ラリーには皇太子殿下と、少年の町の創立者である故フラナガン神父が来賓としてこられた。フラナガン神父のまわりにはどちらかといえは威勢のいい報道陣がとりまいていた。私はその報道陣が皇太子殿下の背中をたたいて「さあ、坊や、立つて神父と握手をしてごらん」といつた時には当惑した事を覚えてゐる。皇太子殿下は何もいわずいやがりもせず握手をした。又別の「おりに、四隊は東京から30マイルばかり離れた山へ一日ハイイクにかけた。私

たちが登山をはじめ場所へ着くまでの汽車の旅の間、私は六、七時間の登山はスカウトにとつて大へんなものではないかと思案した。しかし、二、三時間登るうちに彼らより私の方が疲れがはげしいことを感じた。というのは私は数週間前から柔道のけいこをしていて一日ハイイクの直前に肋骨にひびをいれさせてまつていたからです。(略)

私は一九四七年の夏、休暇で帰国した。私のいない間は四隊および日連の事務所には代理人をみつけた。センチビル36隊の隊長であつたW・A・レビーは日本のボーイスカウトの復興を手助けすることにとても興味を覚えて、いくらかの品物を四隊へ持ち帰るために用意してくれ、又その後、七、八年の間四隊の隊員一人一人に渡るだけ十分なスカウトカレンダーを送つてくれた。アメリカボーイスカウトのブラツクウオーリア連盟の実行委員をしていたB・R・クリストフアードと彼の事務所であつた人々も、とても協力してくれた。彼らはロッカーいつばいのスカウト用文献や需品を用意してくれた。これらは日本に持ち帰り日連へ寄贈した。(略)

一九四八年、四隊は靈南坂教会の鐘楼の集会室で一回目の誕生日会を行つた。私はアイスクリームとデコレーションケーキを用意した。一九四九年にはグラントハイツの私の家で二回目の誕生日会を行つた。恒例のデコレーションケーキとアイスクリームに加えて飲み物やホットドックがあつた。他の後の誕生日会や

特別な行事の時と同じようにこの誕生会においても沢山のスライドを撮った（私は日本のスライドを合計五百枚ぐらい持っているが、その半分以上はスカウト運動に関するものです）。

（略）

私の日本滞在の最後の三年間は（一九四九年から一九五二年の出発まで）、スカウト運動についてやした殆んどの時間を日連で働らくことに捧げました。私はキャンプサイトや、指導者養成講座、あるいはスカウト関係文献の出版に必要な基金を集めることをうまく指揮できた。しかしながら、この間もずっと四隊での仕事も続けていたし、誕生会を迎えることに大きなケイキも用意した。私はその他にスカウトに参加している大学生の小さなグループを対象に週ごとに英会話のクラスを開いた。私は今だにこのメンバーであった石川正己君からはたよりをもらっている。ボーイスカウト日本連盟は一九四七年、私に感謝状を贈った。一九五一年には、当時の日本のボーイスカウトにとつて最高の名誉である感謝賞を頂いた。そして一九五二年には日連名誉終身会員に選ばれた。同じく一九五二年には日連で新しく定められた最高の賞であるキジ賞の初の受賞者になった。この賞を次に受けた人はロンドンにあるボーイスカウト世界連盟の総長であったコール・J・S・ウイソンであり、三番目に受けたのが当時米国の副大統領であつたりチャード・M・ニクソンであつたと記憶している。（略）

私が一九五二年米国へ帰国して間もなく、四隊が実行していた「国際善行」の媒介者となつた。というのは一人の小さな少年が（当時四才だつたと記憶している）彼の父親の働いている製材所で大きな事故にあい両腕を失なつた。彼の家庭は大へん貧しかつたので、多くの人々がその医療費や義手をつけるために必要な費用を集めることに協力した。ボーイスカウトセンター36隊もその後援組織に加入していた。私は東京四隊にもこの少年の事故を書き送つたところ、四隊はその少年の為にとてもステキな大きな模型飛行機を送つてくれた。私はこれを36隊の特別集会において、父親と一緒に出席したその少年に贈つた。その少年は現在一八才になり、商業学校に通つて販売の勉強をしている。一年ほど前、彼は私の属しているキワニスクラブに招待されたが、とても立派な青年になり学業も優秀だそうです。（略）

四隊と共にすごしてきた間に私は日本のスカウト数が四百人から四万人と増加していったことがとてもうれしかつた。私はあなた方と一緒に四団の二十周年記念を祝えたらとてもゆかいな事だと思いますが、それは多分不可能でしょう。しかし私の心はあなた方と共にあるというのを覚えていて下さい。もしあなた方のうち誰か八月に開かれるジャンボリーや、あるいは他の時にでも米国を訪れることがあるならば是非私のアラバマの家立ち寄つて下さい。楽しみにしています。現在私が、今

に受けたのが当時米国の副大統領であったリチャード・ニクソンであつたと記憶している。(略)

第二十三年といふその上四回に達することは、過去二十年と同じことです。四隊は常にどこでも目立つた存在であり、尊敬を受けてきたし世界中をみてもとても優秀な団の一つです。又、四団が靈南坂教会という立派な教会の後援のもとにあるということもうれしいことです。靈南坂教会が丘の上に位置しているように、その日本に及ぼした影響は偉大です。そして私は小崎道雄名誉牧師夫妻と過去二十年間おつきあいできる特権をたまりました。(略)

組織というものは個人と同じように最高の結果を得るためにゴールを持たなければなりません。そのゴールというものは簡潔なスローガンによつて具体化されるのですが、四隊がはじまつてわずか数週間のうちにとり入れられた「登り続ける」(Keep Climbing) というスローガンは、これからの

二十年についても最上のスローガンであると信じます。神様が共にありますように、そして、あなた方が、あらゆる努力を持つて神と共にありますように。

親愛なる

マーチン・B・ウイリアムス

(私たちは、ウイリアムス氏によつて創立当時の四隊を語つていただけたことを心から嬉しく思っています。十二枚にもわたる玉稿を頂きながら、紙面の都合上、一部割愛させていたゞ

の家になち寄つて下さい。楽しみにしています。現在私が、今

きました事を心からお喜び申し上げます。

なお、ウイリアムス氏は四隊の皆様からのたよりを待つていらつしやいます。御住所は

Mr. Martin B. Williams, 549 Walnut Street,

Centreville, Alabama 35042 U.S.A. tel(205)926-7617

です。一人でも多くの方に読んで頂けるようにと編集委員が和訳いたしました。未熟な為、読みづらい箇所が何箇所もあることを重ねてお喜び申し上げます。

マーチン・ウイリアムス——今井兼二氏と共にボーイスカウト東京第四隊の創始者。戦後の困窮時代に日本のボーイスカウト運動再建に御尽力下さった。帰国後は会社・州・政府・軍関係の仕事を経験、現在はマリオン大学で化学の講師。

ガールスカウト

東京第四団創立廿周年によせて

芹野朝子

GS東京第四団が廿周年の記念すべき日を迎えられることを心からおめでたく感激と感謝をもつてお祝い申し上げます。十周年の記念誌にも発足当時の思い出をのしりましたが、あれか

ら早や十年の才月が経過し、あの頃の団員は、あるいはリーダーに、又リーダーはすでに家庭人になつていられると思います。そして今日まで豊かに守られ、B・S・G・Sあわせて二五〇名もの大部隊に成長してきた事を思いますと、大きな使命がみなさんの上に与えられていると思わざるを得ません。

私は発足当時リーダーとして、みなさんの先輩の方々と共に喜びや苦勞をわけあつてきたものです。私自身ガールスカウトとしての経験は勿論、歴史もなにも知りませんでした。只、戦後でその頃の不安定な社会の中で若い人達に何かよい集いが出来ないかと考えさせられていた時に、たまたまB・Sの最初のリーダーとして大きな働きをして下さつたウイリアムス氏の友人であつたコウキンス夫人が、ガールスカウトの経験があり一緒にやつてみませんか、ということで大膽なことでしはが始めることにしたわけです。メンバーは教会学校に忠実に出席していた旧制の女学校三年生を中心に組織しました。日本連盟もまだ出来ておらずハンドブックとしてたつた一冊の米国の「リーダーのためのハンドブック」だけでした。お互いに言葉に不自由を感じ乍らも、なんとかみなにスカウトの精神を伝えようと一生懸命頑張りました。ですから正式に日本連盟が出来てハンドブックが出来るまで、約束もおきても英語でしました。米国の家族達がいたワシントンハイツのG・Sらの集會に招待されたこともありました。四団のネツカチーフとして緑色の濃

淡にそめわけたお粗末なものを自分達の手でつくり、みなG・Sのはこりをもつてかけたものでした。戦後の日本連盟草分け時代に私も及ばず乍ら五年余り、リーダーとしての講習をうけ乍ら、本当に楽しく働くことが出来ました。その間、多くの教會の姉妹方の協力を得ることが出来たのは、何よりの恵みであつたと思います。一口に廿年といつてもこの間、幾多の困難もあつたことでしょう。でも次々にリーダーが与えられて今日の日を迎えることが出来たのは、背後に教會とゆう大きなバックボーンがあつてこそとゆう事を一人一人の団員の心に銘記されるよう祈つております。一人一人が真によきスカウトになられるよう心から願ひつゝたない文をつぶりました。

一九六六年十一月卅日

芹野朝子 (旧姓小崎) ガールスカウト初代リーダー。
小崎道雄名誉牧師の次女。結婚なさるまでずっとガールスカウトの草分けとして御活躍下さいました。現在は兵庫県西宮市甲南教會牧師夫人として、一男一女のママとして内外共に御多忙な毎日です。

米国の家族道がいたワシントン・ペンシルベニアのC. ...の身金に持
されたこともありました。四団のネッカチーフとして緑色の濃

オールド

スカウトは快活である

志水 功

さあ、今日は楽しいミーティングだ。

あの頃の、快活なスカウトだった

なつかしい仲間たちが

久しぶりに顔を合わせたんだ。

にぎやかに話がはずみ

明るい笑い声がひるがるよ。

そりや、社会に出てみれば、

そういつも、愉快な話がある訳じゃない。

腹の立つ時も、

泣きたくなる程辛いこともあつたさ。

でも、今日は楽しいミーティングだ。

あの頃の、快活なスカウトだった

なつかしい仲間たちが

久しぶりに顔を合わせたんだ。

ほがらかに歌声ひびき

陽気な手拍子がなりわたるよ。

そりや、大人になつてみれば

そういつも、面白い事がある訳じゃない。

ゆううつな日も

くやしくて眠れない夜もあつたさ。

でも、今日は楽しいミーティングだ。

あの頃の、快活なスカウトだった

なつかしい仲間たちが、

久しぶりに顔を合わせたんだ。

にぎやかに話がはずみ

明るい笑い声がひるがるよ。

ほがらかに歌声ひびき

陽気な手拍子がなりわたるよ。



志水功 年少隊初代隊長（一九五四―五五）。発隊と
同時に初代ワン班々長。作詞・作曲・編曲といわず音楽の
あらゆる部門に天才的才能の持ち主。四団の団歌や「憩い」
など現在四団で歌われている歌の作詞・作曲者。
現在北海道で牧場経営をして活躍中。

古くて新しいお話

橋本 広子

ボーイスカウト・ガールスカウトの皆様満二十周年のお誕生日おめでとうございます。十年ひと昔と申しますから二十年と云えばふた昔にもなるわけですね。

当時の小崎朝子さんからガールスカウトを手伝ってほしいとお話があつたのは昭和二十四年の夏頃だつたと思います。その頃、世間では「ガールスカウトはわかるけどボーイスカウトつて男の子がスカウトをはくのですか」と尋ねる人がいた程スカウトに対する関心は全くゼロでした。勿論当時はユニフォームもなく三角のタイだけでした。そしてミーティングは昔の牧師館の畳のお部屋；；；こうお話していると当時スカウトだつた白井喜久子ちゃん、志水久ちゃんの可愛らしい笑顔、朝子さんの澄んだ美しいお声が聞こえて来る様です。朝子さんが昭和二十五年十月に結婚されてから私が正リーダーとしてつとめさせて戴きましたが、スカウトとしての経験のない私は夢中でスカウト達と一緒に勉強し、又よく遊びました。楽しかったキャンブの数々、日米の交歓会など想へば懐かしさで一ぱいです。今こうして十余年前をかえりみる時、私がスカウトのリーダー時代に学び得た様々な事が現在の生活に実際に役立っている

事を忘れる事が出来ません。スカウト生活をなさつて社会へ出られた方なら誰しも同じ様に考へていらつしやる事と存じます。「そなえよ、つねに」は今だに私の生活のモットーでありそれ由に人に喜ばれたり事故を防いだ時などさ々やかな喜びを感じております。

我ら四団のボーイ・ガールスカウトの皆様これからのますますの御活躍を心から祈つております。

橋本広子 ガールスカウト二代目リーダー当時聖歌隊員として教会でも御活躍でした。四月上旬にカナダのトロントへおでかけの御予定。

ハ シ リ

今 田 富士雄

昭和二十二年二月二十二日午後二時、靈南坂教会二階客室で二ヶ班からなる東京第四隊が産ぶ声をあげました。

牛歩を続けてきた今日、振り返つて見ると二十年前のメンバーで取り残されたのは、長年隊長を勤めた飯田現山梨県コミッショナーと私、四団では一人ぼつちになりました。

当時の仲間は南に北に、それぞれ持てる器をフルに発揮し異なつた分野で活躍し続けて居ります。

全国総会が開催され、席上隊旗が制定された。我々は早速班長会議を開き隊旗の購入方法を検討し、隊費（一人二十円）の他に共同募金の手数料とスカウト鉛筆の販売で金二千円を得、我々の手で我々の隊旗を育てた訳である。その後百隊記念大会

（二十六年十一月）に東連全隊に対しグリーンの統一隊旗が寄贈されたが、個性の強い四隊はあくまでも黄と青の隊旗をかけた。

◎ 第二回全国大会での美化運動のこと。（二十五年八月、實際復帰を記念しての全国大会が新宿御苑で八千余名のスカウトが参加して開かれたが、この時は年長班（仮称）の松舞台で、開会式では小崎兄がちかいを唱え荒垣兄が国旗を掲揚、国旗手今田、旗護手に飯田、志水兄等々。大会が終つたあと、我々の目に写つたのは、あちこちに残されたゴミ。四隊全員一列横隊、今では一般に行なわれているゴミ拾いを初めて行なつた。みるみるきれいになつた新宿御苑。そこを山口県コミッショナーが通られ、后日小崎先生に感謝の手紙を書かれた。二十六年一月の新春パレードには四隊は優秀隊として表彰された。）

◎ コーラスグループのこと。（二十六年十月に日々と合同で子供会を行なつたが、我々年長班は、志水バンドマスターを中心にコーラスに楽器演奏に大活躍。その後もチャペルセンター等で美声をはりあげていたが志水兄の北海道行きで解散。今まで続いていれば有名なコーラスグループになつていたのでは（？）もともと志水兄の教え子でマイク真木は立派に成長したが。）

さて我々は色々な面で先行していた様に思われますが、スカウト（斤候）は常に本隊の前進を進み、あらゆる状況判断が出来

る様、常に訓練を積む必要があります。平和の斤候、ボイススカウトも、常に人に先がけて、又道しるべとしての道をあゆむ使命を与えられており、十二のおきてを日々の生活の尺度として、スカウト技能を通して、よき公民になるための道を歩みましよう。

我が四団も、二十の年輪をきざむに至りましたが、四団の生みの親であり育ての親でもある名誉牧師、日本連盟相談役、小崎道雄先生に心より感謝を申し上げます。戦後の青少年教育に、スカウトをいちはやく取り上げられ、今井隊長、ウイリアムス氏と共同して四団の育成にお励みになり、第一回、第二回の全国大会の日曜礼拝には、奨励を頂き、宗教章制定に当つても、委員としてご尽力下さいました。先生の昨秋の叙職に対しては、日本連盟の臨時総会で全国のスカウトより、お喜ぶこびを申し上げます。

発隊以来、スカウトの為に奉仕された歴代の指導者の方々に、感謝をすると共に、今後のチャーチスカウトの発展の為に一人一人が努力を続けましよう。

今田富士雄―青年隊初代隊長（一九六二―）発隊と共に入隊、初代白象班長、初代上級班長、少年隊四代目隊長（一九五三―一九五九）、年長隊初代隊長（一九五九―一九六三）
現在ライオン歯磨勤務。レンジャー副リーダーである富江夫人との間に一男一女、連盟や地区のスカウトに関係あるすべての会には必ず顔を出しているスカウトの為に生きて来た人。

さて我々は色々な面に分行して、いたが、結局は、
ウト（斤候）は常に本隊の前を進み、あらゆる状況判断が出来

BSO・GSS 東京第四団創立二十周年によせて

——友愛のこころ——

西 郷 尚 子

ボーイ・スカウト、及びガール・スカウト東京第四団の皆様
創立二十周年おめでとうございます。満二十才と云えば、人間の
の一生の中でも成人式を迎える一つの大切な区切りの時ですね。

第四団は、今では二五〇人を教える大家族の団となり、年々御
発展の由伺つて、正に感慨深いものがございます。私がお世話
になつた当時は、カブ・スカウトはありましたが、ブラウニー
がまだ生れておりませんでした。従つて、ガール・スカウトだ
けに限つて云えば、人数も十二、三人の時期がありましたし、
今思うと全く小じんまりした団だつた時代があります。その頃
にスカウトだつた方達は、やがて色々な形で団を助けて下さり、
今では立派な社会人、或いは母親として、次の世代を担うべき、
ボーイスカウトやガールスカウトの「予備隊」をお家で世話し
ていらつしやいます。私は、主人の仕事の都合で東京を離れな
くにはならなくなり、その上、六十二年には日本をも離れなく
てはならなくなつて、西団の方達にお目にかゝる機会是非常に
まれになつてしまいました。然し、私が帰国したことを知つて

すべての会には必ず顔を出しているスカウトの為に生れて来たような人。

訪ねて下さるスカウトもありますし、又、在独中も私の住居を
探して、日本連盟の方々が訪ねて下さつたこともありました。
こうして、四団と私とのつながりは、結局のところ何時迄も切
れることがない様です。

前にも書きました様に、私がドイツ連邦共和国（西独）ハム
ブルグ市に移り住む様になつた六十二年六月から、そこを去つ
て再び日本に帰つた六十五年十二月迄の間にも、やはりガール
スカウトを機縁とするいくつかの出来事がありました。

西独にも勿論御存知の様に、ボーイ・ガール両スカウトがあ
つて、その活動は活発です。「昨朝以来行方不明であつたハン
ス坊やは、今朝早く、森の中をうろついているところをボーイ
スカウトに見つけられ、無事救けられた。」とか、「病院で赤ち
やんの世話を実習するガールスカウト」などと云う記事が新聞
にも時々つていて、不思議なことに、大い私の目にとまる
のです。

それは六十四年の初夏、六月のことでした。土曜日でしたの
で、私は沢山の買物を車に積み、二人の娘は荷物の中で小さく
なりながら町の中央から家の方へ向つて帰途につきかけていま
した。或る通りを左折し、もう一辺左折して市庁舎の横に出た
時、一目でガールスカウトと分る人が立つていたので。子供
達に「あの人はガールスカウトなのよ。」と説明しながら、又
曲つて、信号で大分待たされてから次の通りに出ると、何と不

思議なことに、又さつきのガールスカウトが居るではありませんか。今後は地図を拡げて、懸命に通りの名前と照し合せています。すぐに私は近くのパーキング・メーターの下に車を入れて、車から降りながら「ハロー」と叫びました。「呼びとめて失礼。貴女はガールスカウトですね？道に迷つていらつしやる様だけど、どこへいらつしやりたいのですか？」すると彼女は、自分がノルウエーのガールスカウトであること。名前はトルン・カールセン。夏休みを利用してレンジャヤーばかりでドイツ旅行に来たこと。今、一時間の自由時間をもらつて、お人形を買いたいと思つているが、どこへ行けばよいのか分らないことなどを、彼女も英語で話しました。「よかつたらお乗りなさい。町で一番いい玩具屋さんへ連れて行つて上げましょう。その他したいことは？」「ハムブルグらしいところが見られると嬉しいのですが。」そんな事を話しながら車を走らせ、私は本当に町で一番大きい玩具屋へ彼女を案内しました。「このお嬢さんはノルウエーの人なのですが、お人形を集めていて、ドイツ人形の大体二十種位の大きさがほしいそうです」

今度は店員にドイツ語で説明して、私はトルンを前に出しました。「これは一寸高いから、もう少し安いのにして下さい。」何と彼女はちやんとドイツ語を話しています。よく考えればその筈です。スカウトともあろうものが、よその国へ旅行して、その国の言葉も話せないなどと云う不用意なことは、決してす

る筈がありません。いさゝか赤面した私は、それでもいゝ買物が出来たと嬉ぶトルンの言葉に少し安心して、次は市内見物に出ました。

何しろ時間がありません。昔貴族が住んでいたと云う湖畔の自動車道を走りながら、美しく手入れされた館ヤカクを見たり、市立の大公園に行つて、ほんの五分ほど散歩したりしている中、時間は残り少くなり、再び元の市庁舎の前にトルンを送り届けた時は、丁度市庁の時計が、約束の七時にあと五分。大急ぎで住所を交換するやら、二人とも自分のハンドバックをひつかき廻して、持ち合わせの切手を交換するやら、忙しい五分間で、「さよなら、いゝ御旅行を。今度ハンブルグに来る時は電話を下さいね。」

これが、ノルウエーはベルゲンのスカウト、トルン・カールセンと私との最初の出合いです。そのあと彼女は、スイス、アデルボーデンにアワ・シャレーをたづね、楽しいキャンプの日々を私に報告してくれ、私も又便りを返しました。

同じ年の八月。即ち、トルンに出合つて二ヶ月の後、私達家族は、はじめて休暇をとることが出来て、イタリイ領チロルに行くことになりました。行きは、たゞ一目散に北ドイツからミューンヘンに南下し、ブレンネル峠を越えてチロルに入ることになりましたが、帰途は、スイス・アルプスに沿つて西へ、即ち、スイスを横断して、北上する時にアデル・ボーデンに寄りチュ

の筈です。スカウトともあるうものが、よその国へ旅行して
その国の言葉も話せないなどと云う不用意なことは、決してす

スイスを横断して、北上する時にアデル・ボーデンに寄りチュ

ました。そして、その予定は、八月三十日、本當に実現したの

話くないでしょう。

です。アデル・ボーデンは、スイス中部山岳地帯の真中にある
小じんまりした、まるでガールスカウトの為にだけある様な村

その夜私は、ベルゲンのトルンに宛てて手紙を書き、彼女が
味わつたと同じ感動を、今日私も経験したと伝えました。

です。村に入つてから、「アワ・シヤレー」と云う立て札はあ
るのですが、谷を隔てた向う側の丘に入る入口がみつからず、
折からキヤムプに来ていて、町へ買物に出ていたイギリスのス

その後、トルンとは文通が続き、翌六十五年には再びトルン
がハムブルグを訪ねる機会があつて、今度は、トルンのお父様
にも会い、トルン自身は、私の家にも寄つてくれて夜の数時間
を語り合いました。

カウトに道を教えてもらいました。のどかに鈴を鳴らしながら
進む牛の一団のあとについて丘を上ると、いきなりはるか向う
に、あの見なれた世界連盟の旗が風にはためき、その後、写
真にある通りのアワ・シヤレーが建っているのが見えます。

今、彼女はオスロの或る南医者さんの助手をしています。一
年前に私が帰国した時、まだ現在の住所が定まらなかつたもの
ですから、わざわざ海を越えてまで住所不定の手紙を出す気にな
らず、しばらく音沙汰しませんでしたところ、或る日突然私
宛にトルンから手紙が来ました。彼女は、どうしても私に手紙
を書きたくて、オスロの日本大使館を通して私達の行く先をた
どり、かくて住所をつきとめたと云うのです。

「とうとう来てしまつた。」私は妙にドキドキする胸をおさえ
て中に入り、お留守番役の世界連盟事務局から見えているベン
女史に会いました。はるばるこゝ迄来たいきさつを説明し、如
何にも世界中のガールスカウトのキヤムプ地にふさわしい、暖

やがて THINKING DAY が参ります。最近トルンが
私に送つてくれた本が、近々私の手許に届くことでしょう。私が
トルンに送つた人形は、二つ目の人形としてトルンのコレクション
ヨンに加わることでしよう。

い、清潔な感じのシヤレーの中を、隅々迄案内して頂きました。
本當にどこもかしこも絵葉書や写真にある通りです。アワ・チ
ーフ・ガイドが窓から両手を差し延べていらつしやる写真のあ

今思えば、六十四年の六月の或る日、私がトルンの姿を見か
けたと云う、たつたそれだけのことが、ノルウェイと日本の間
に小さな友愛の灯をともしぎつかけとなり、今その灯は長く消
えることなく燃えはじめたのです。

の最初のシヤレーは彼女のお出でを待つかの様に、少し離れた
丘の斜面に建っていました。すべてが、いかにもスカウトらし
くきちんとしていて、それが又、国中きちんとしているスイス
にあるのですから、その雰囲気がどんなに素晴らしいか御想像に

私共が居ましたドイツは、御存知の様に、全く政治的な作為から国を二分され、更に主都ベルリンをも二分されています。

東西ベルリンを隔てる壁は、分厚く、長く横たわり、ドイツを東西に分つ無人地帯には、幾重にも張りめぐらされた鉄条網が無気味な帯となつて巾広く切り開かれた森をぬけて、どこ迄も南北に走っています。しかし、どんなに垣をめぐらしても、お互の間に友愛の灯がとものを妨げることは出来ないでしょう。

四団がそのお誕生以来二十年の間存続して成長し、大家族になつたと云うことは、本当に嬉しいことだと思えます。ともしびの担い手がどんどん増えて行くのですから、どうか皆さん、視線をあげて、世界中を見渡して下さい。東京が関東地方の一都市である様に、日本は世界の中の、アジアと云う地方の一國です。イギリスはヨーロッパ地方の西に位する一島國です。そして皆一つの心を持っています。視野を広く持ちましょう。手を高く揚げて、灯を高くかまげましょう。友愛の心を遠く広げて行きましょう。四団の二十年の歴史が、更に未来に向つて力強く展開されることを心から希つてやみません。

芦屋にて

西郷尚子 (旧姓国行) ガールスカウト三代目リーダー(一九五三—五五)。一九五二年夏、アメリカに於ける世界青少年会議に日本連盟代表として参加された。一九六二—六五まで在独。現在は芦屋にお住いで二人のお嬢様の良きママ。



「一列ゴミ拾い」

の由来

飯田 貞雄

四団のスカウトであつた人なら誰でもキャンプサイトの清掃や合同行事のおとしまつるときに、一列にならんでゴミを拾つた経験をもっているのにちがひありません。

ところで、この四団方式ともいふべきこの「一列ゴミ拾い」活動がいつ、どうしてはじめられたかを知っている人は少ないと思ひますので、このことについて記しておきましょう。

それは一九五一年に開かれた第二回ボーイスカウト全国大会(日本ジャンボリーの前身)の最終日のできごと由来してゐます。

この大会は、新宿御苑を会場に、全国から約八、六〇〇人のスカウトが集まつて行なわれました。わが四隊(當時は団とは呼ばなかつた)はあの大きな三角テントをひつかついで参加しました。そのころの四隊は、初代今井隊長の「絶対に他の隊にまけない」という根性をうけついで、とにかくすべての面ではききつていたと思ひます。

連盟代表として参加された。一九六二―六五まで在独。現在は
芦屋にお住いで二人のお嬢様の良きママ。

大会最後の日、閉会式がすすんで各隊の撤収作業のときのこと
でした。四隊はあとしまつをきちんとするぐらいのことは板に
ついていたので、作業はすぐに完了したのはいうまでもなかつ
たのですが、終つてひと息いれようとしていたとき、全員集合
の笛がなりました。今田上級班長が「隊のサイトはきれいな
つた。でも、もつとまわりをきれいにして帰ろう。一列になら
んでゴミを拾おう」といいました。「そうだ」とばかりわれわ
れは作業にとりかかりました。そのゴミ拾いの列はマースゲー
ムのように前後、左右にきびきび動いたことであつたでしょう。
しかも、その範囲をだんだんと広げながら；；；；；。
これが最初の実行でした。

しばらくたつたある日のこと、小崎先生のところへ、その作業
をみておられたある連盟の役員の方から、善行に対する感謝と
激励の手紙が届いたので。

それからは、この手紙のことも大きな励みになつて、行事に
参加したときには、いつも解散したあと、誰からかいわれてと
いうこともなく、自発的に残つて「一列ゴミ拾い」の実行が習
慣のようになつていつたわけです。当時は、きれいにしたあと、
最後に全員で輪をつくり、四隊のエールを高らかにさげんで帰
ることもよくやつたものです。

さて、この「一列ゴミ拾い」がいまでも後輩たちによつて実

まけない」という根性をうけついで、とにかくすべての面では
かきつていたと思います。

行されているのはたいへんうれしいことです。私は、これも
二十周年を迎えた四団のすばらしい伝統の一つだと思えてなり
ません。

飯田貞雄 少年隊五代目隊長（一九五九―六四）。現在
山梨大学講師。山梨連盟県コミッシヨナー、日連ハンディ
キヤップスカウトイング担当員、日連組織拡張委員、日連
音楽委員、日連編集委員など兼任。一九六三年ギリシヤの
マラトンで聞かれた第十一回世界ジャンボーに参加。
一九六〇年結婚。

われらスカウト族

根 本 喜久子

おめでとうございます。廿周年の御祝の言葉と共にスカウト
時代の楽しい思い出、リーダーだつた頃の苦労話、近況報告、
これからの四団への期待等書き度い事はたくさんある様に思え
ますが、ぬかみそ臭いオバサンになつてしまつた今とても短い
文章にまとめる事が出来ません。たと一言是非云いたい事は
「ガールスカウトだつた事は本当に良かった」と云う事です。
勿論訓練を受けた救急法とか縄結び、歌やゲームをたくさん知
っている事、又その他たくさんの知識や技術があらゆる生活の

場で役立つています。しかし、何と云つても一つの精神のもとに結ばれた姉妹が日本各地、又外国にあると云う事が一番今、幸せだナ、”と思ふ事なのです。これは年をとればとる程（と云つても私まだそれ程おばあさんではありませんが）感じるのです。今、何々族と云う大人からは不健康とみられている連中が多いですが、これらは時代の流行と共に名称やスタイルが変わつてしまひますし若者だけのものの様です。

そこで私は皆さんに大いにスカウト族になりこの永遠なるスカウト族をふやして欲しいと思ふのです。

約二十年前に入団した私達オールドスカウトは結婚しても子供が出来ても度々集まつて、たとえ現在、団にも支部にも本部にも関係無くても、皆ガールスカウトのユニフォームを心に着て楽しい時を過ごしております。

私達は自分の子供達・孫達がボーイスカウト、ガールスカウトになつてもまだまだスカウト族なのです。

根本喜久子 (旧姓白井) ブラウニー初代リーダー、ガールスカウト四代目リーダー、一九六二年発足以来レングヤー初代リーダー。白井愛団委員長長の三女。「キッコ先生」と言えばその名リーダーぶりが目に浮かびます。

和服が流行る

杉原 正

年末は若者にとつては和服ブームであり、どこかデパートにいつても売切れに近い状態であつた。アイビー・コンチネンタル・ブリテッシュと騒がれたメンズファッション界の反動かは知らないが、一時的に和服の袖を通した者は、かなり多かつた。昔流にいえば、和服がはやつたわけだ。”はやる”とは”流行る”と書く。字の構成から面白いものを感じる。アイビーがよいといえばアイビーに、コンチネンタルがよいといえばコンチネンタルと行くところ我れ知らずである。他人が着れば、自分も着、他人がよいといえばそれに従う。全く個人の主体性、個性はどこへいつてしまつたのであろうか。彼らは、丈は短かめがよいと人がいうと短かくする。；；上；；センチかは知らないが極端から極端である。長襦袢も身につけず、踝までくるような下着をつけている神経である。和服の良さをわきまえ、味わつてゐるのではないのであろう。たゞ”流行る”一時的な、その時の好みに合うだけであり身についたものではない。時が流れれば変り、過ぎ去つてゆくものにすぎないのである。和服が日常着として利用されてゐない現在、本当に身につけてゐないのは止むを得ないことであらう。しかし、兵児帯、角帯と下

らいていらつしやる夢のようです。第四団は、すばらしいリーダーとスカウトでますます発展して行く様海を渡つたこちらから私、心からお祈りしています。本当に、S 第四団の皆様おめでとうございます。

リー・直美枝(旧姓太田) ブラウニー副リーダー
御一家と共にロスアンジェルズに移られて十年。あちらで結婚されて三人のお嬢ちやまの良きママ。四月にはもう一人増える予定とか。御幸福な御家庭です。

ちよつとひとこと

高島 愼子
萩原 昌子
里見 明子
持地 梓
西木 久美子

二十周年おめでとうございます。

今はまだ使えなくなつた教会の塔の上がボーイスカウトの室でした。いつ床が抜け落ちるとも知れないその室へ細いラセン階段を登つていつたことが想い出されます。今では、幸せなことにスカウト会館が出来て、各隊が仲よくおさまつていますが、少し以前までは、ボーイはあつち、ガールはこつちとその室の所在や様子もささまでした。

はじめてデンマザーになつたときは、ボーイスカウトが十才になつたときでした。それがもう二十才。ヨチヨチ歩きの赤ん坊がいろんなことを経験して立派に成人式を迎えるのと同じこの二十周年。おらためてこころで「大人」としての自覚を深めるために自分を見つめる機会にしたいものです。

困難な時代から現在まで社会のいろいろな変遷に伴つて、私達のこの四団も、そしてその中で活動しているスカウトの考え方にも進歩や変化のあることがわかります。「大人」としての新しい出発の前に過ぎ去つた昔を、前進あるのみなどといわずにもう一度振り返つてから進んでみたらどうでしょう。忘れものがあるといけませんから。一年目、二年目：：と築き上げられた良いものを置いていつてしまつては大変。そんなものを思い出して一つ二つと拾い上げていつてみると、現在のスカウト生活の中で穴があきそうになっているところがポツポツとうまつて、これからのスカウト活動に何かよいものをもたらすことになるかもしれません。

ずい分生意気なことをいつてしまいました。

この二十年の伝統の基礎づくりとそれを育てるために尽して下さつた多くの先生方、また、先輩の方々にこの機会に心からお礼と感謝を申し上げたいと思います。私共は、これからも「五人ひとたば」になつて微力ながら、この四団のためにお役に立てれば幸せだと存じます。

少し以前までは、ボーイはあつち、ガールはこつちとその室の所在や様子もさまざまでした。

萩原昌子一年少隊デンマザー

(一九五八―六四)

萩原昌子一年少隊デンマザー

(一九五八―六四)

里見明子一年少隊デンマザー

(一九五八―六四)

持地 梓一年少隊デンマザー

(一九五九―六四)

西木久美子一年少隊デンマザー

(一九五八―六四)

二年前まで杉原隊長のもとにデンマザーとして活躍した五人娘。(但西木さん(新崎)は本当のマザーになつている)五人が本当に気があつて心から楽しそうにスカウトを愛していた様子を思い出しても気がよいくらい。引き続きボーイスカウト団委員としてスカウトのために尽力下さり頼もしい存在。

娘の代まで、孫の代まで

河 合 潤 子

ある日、

ある声「モシ、モシ、二十周年の原稿をお願いします。」

私 「えっ／＼なんの？」

ある声「あら やだ。四団です。」

私 「四団の？ ちよつと待つて。だつてついでの間 私、

十周年の記念誌の編集をB・Sの渡辺(澄)君とやつたばかり

よ。」

人ひとたば」になつて微力ながら、この四団のためにお役に立てれば幸せだと存じます。

ある声「ええ。でも もう二十周年なんです。この前 十五周年でしたから。じゃ、なんでも結構ですから、おねがいします。ガチャン。」

私 「……；……もう 二十周年ねー。……；……」

そして、突然、私の頭の中に、十何年前始めて訪れた霊南坂教会でのG・Sのミーティングの様子鮮やかに描かれました。

ちよつと暗いあの幼稚園の部屋で、リーダーは朝子先生、副リーダーが橋本さん。おかつば頭の喜久子さん、新入りのお世話がお上手だった今田喜美江さん。長いおさげ髪の牧ちゃん、菊本さん、直美枝ちゃん……。その時、おぼえたフオーク・ダンスは「ピンキー・デインキー・パーレーヴー。」皆と一緒に一生懸命作つた組舞には、タンポポの花がついていました。ほんとうにとてもなつかしい思いがします。

それから、十何年かの間、私も副リーダーになり、リーダーになり、自分のブラウニーの団(二団)まで持つようになり、そして今は引退してあと又十年もしたら、今度は自分の娘がブラウニーのどんがり帽子をかぶることになるだろうと夢見ているこの頃です。

十二年前、アワ・シャレーへ御一緒に行つた堀口愛子さんもお二人目は女の赤ちゃん、同じような夢を描いていらつしや

ることでしょう。ロサンゼルス直美枝ちゃんは、今頃四人目の赤ちやんで、もしかしたら又女の子で、とんがり帽子が四つもあるなどため息をついていらつしやるかもしれせん。

去年の秋の「田んぼの会」(G・S・O・Gの会)にはなつかしい仲間達がやかましいチビ共をワンサと連れて集まりました。みんな、すまして得意になつて、よいママぶりを発揮してしまいましたけど、やつぱり、十年、二十年前の我々が四団のことをとてなつかしく思っているはずですよ。そして、今度は、この子達の番だと楽しみにしているはずですよ。

ある時、

ある声「モシ、モシ、四団の三十周年の原稿をお願いします。」

私 「えつ、だつて ついこの間；；。」

ある声「ええ、でも、もう三十周年なんです。じゃ、よろしくおねがいします。ガチャン。」

私(一人ごと)「もう三十周年ね。次が四十周年。次が；；あゝもうその頃は孫の代になつてゐるわ。」

こんな会話が交わされるのも、そう遠くない日のことでしょう。四団のかぎりない発展を心からお祈り致します。

二十周年、おめでとございます。



河合潤子 (旧姓萬井) 上級スカウト二代目リーダー
(一九五九一六一)。一九五五年アワシヤレーにおけるジュリエットロウセツションに参加。ブラウニー二団の生みの親でもある。一児の良きママ。

「キャンブ・CAMP・きやんぷ」

安積 発也

小学校五年の時にスカウトに入つてから、僕は長いこと「おみそ」としてしか扱ってもらえなかつた。というのは、今から十八年前のその頃はまだカブスカウトが日本中どこにもなくて、四団には僕よりずっと年上のごつい連中しかいなかったからである。吉祥寺からこんだ電車を一時間以上も乗りつき乗りつきして、時には婦人、子供専用車に乗つて、せつせと毎土曜通つたのに、いざハイキングとなると「お前はちつちやいから二十キロは歩けまい、だめだ。」いざ夏のキャンブとなると「一年間の総決算であるから各自最善を尽すように」などと隊長が隊員にハツバをかけていたくせに「ちよつと君にはまだ無理じゃなかるるか」てなことでこれ又駄目。今から思えば酷い仕打ちで、よくもまあ、あの時やめなかつたものだ、我ながら感心している。

とたしなめた。

特に思い出に残るキャンプと云えば、昭和三十三年の夏の隊キャンプだろう。場所は前に述べた飯田さんの親戚の方の山で、我々シニア班はキャンプ地整備の為、先発隊としてBの本部の来る三日前に出かけた。その時、僕は丁度大学山岳部の南アルプスでの半月の合宿を終え、休む暇もなく今後は高校生五十人のグループを八ヶ岳のキャンプにチーフリーダーとして連れていき、五日間のキャンプと登山を無事終えて真夜中近く帰宅。

翌朝四時半に起きて赤羽でやつと汽車にとびのつて昼近くサイトに着いた。加藤、木下、小林、野儀のごつい四人組が先について僕を待つていた。サイトに着いた時は僕はもうグロッキーだった。ところが、「安積さん、うまい昼飯を御馳走しますよ」と連中が云うのである。何かと思つたら、サイトで出たまむしを握えて甘辛に煮た奴だという。鍋の底にうなぎのような格好したのが横たわつていた。僕はもう色々弁解する元氣もなかったから、有難くちようだいし、残りのおつゆも飯にかけて食つてしまった。仲々いける味がしたと思う。それから三日間、バツサバツサと木を伐り、急斜面に階段をつくり、全く大変な三日間だった。「全く都会もんとは思えないネ」と山の持主の清水さんが感心してくれた。

快適な年長隊キャンプの思い出の筆頭は、昭和三十八年夏の八岳移動キャンプだろう。四団初の移動キャンプだったが、適

当に雨も降り適当に陽もカンカン照り、実にいい訓練になったし、北八岳の深い緑の山や湖、南八岳の男性的な切り立つた岩山を楽しむことが出来た。

このキャンプで僕は隊長にあるまじきヘマを一つやらかした。南八ツの尾根を歩いていたら、皆にヨードルを歌えと云われて、ついでに気になつてヨードルを歌つたりしていたら（ヨードルは実にエネルギーを要するのである）歩いてる途中で急に腹が減つて一歩も動けなくなつてしまった。「隊長は腹が減つて歩けないから、こゝでしばし休憩する」とか何とか云つて座りこみをやつてしまった。戸田の健ちゃんは何やらリツクをかきまわしていると思つたらホイと小さな瓶をとり出して僕にくれた。何と「リポビタンD」である。あとテレビジョンを御覧の全国の皆さんにとくと見ていたときたかつた。グツと冷たい奴を一息に呑みほしたら、そのうまかつたことうまかつたこと、一やく元氣回復。（この時から一週間後、僕は羽田から日航機で米國留学に飛び立つたが、見送りにきてくれた皆の中で、又、「リポビタンD」を呑まされた。これには参つた。）移動キャンプ最後の夜は、山を降りた海ノ口牧場で過した。満天の星の下緑の芝生にねころんで、かぶり火を焚きながら、皆と話し笑い歌つた。これが僕が隊長として最後のキャンプの夜だった。関口アツちゃんのウクレレで皆歌つた。

キャンプよいとこ一度はおいで

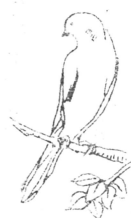
快適な年長隊キャンプの思い出の筆頭は、昭和三十八年夏の八岳移動キャンプだろう。四団初の移動キャンプだったが、適

キャンプよいとこ一度はおいで

八ヶ岳にも一寝はおいで

今宵楽しきかぶり火かこみ

空にはキラキラ星のかけ



「一親バカの記」

今 田 富 江

こゝ迄書いてふと原稿から眼を離したら、広い窓の外はキラキラと夜の灯のまたよく、ニューヨークの魔天楼だ。あと、自分分はニューヨークに居るのだっけと思う。隊長の職をしりそいつから米国東北州にあるコーネル大学の大学院で二年学び、今は国連本部で発展途上国の経済社会開発の為に働いている。世界の人口の三分の二が、いまだ飢えと貧乏に悩んでいる事を考えると、僕はつくづく恵まれた少年時代が持てたと思う。四団のスカウト諸君、そして日本のスカウト諸君、僕は本当に恵まれているのだ。こゝで満足してしまわないで、スカウト生活から得た経験を将来どう生かせるか、真剣に考えよう。この世には、まだスカウトがしなければならぬことが沢山あるのだ。

安積発也 年長隊二代目隊長（一九六三）。一九四九年当時十才で入隊。カブのない時代、ボーイの後について頑張った。一九五四年名誉スカウトに選ばれる。六三年よりアメリカのコーネル大学に留学、現在国連に勤務。非常に音楽通で、フアイトの魂の様な世界を股にかけた国際人。

我家の長男道雄は昭和三十八年二月二十二日生れ。カレンダ―にシルンをつけて「ボクのローソクのケーキの日」が近づくのを楽しみにしている。そして四才になるとすぐに幼稚園にすてきな制服で行かれるのです。「ボクもうすぐ四才になるんだ」と大はりきりで、自分で何でもやつてみようとなつて努力しています。（もちろん失敗も多いですが）

ベースデイケーキの四本のローソク 新しい世界の開かれる日待つ心 私にもそんな時がありました。十六年前、ガールスカウトは中学生以上で、ブラウニーなどなかったの、はやく中学生になつてガールスカウトになりたかつた頃のこと、待ちに待つた中一の四月の第一土曜日、ボーイスカウトだつた兄につれられて階下講堂で集会中のオネエサマたちにベコンと頭をさげた日のことを、初代リーダー芹野朝子先生にあこがれのネツカチーフとピンをつけていたよいた入団式は四団の四周年祝会の日でベースデイケーキに四本のローソクがたてられていました。そして今、よりよいスカウトになりたいと努力した日々がなつかしく思い出されます。

主婦業、母親業として、忙しい毎日ですがスカウトとして学

校では学ぶことのできない知識や経験をもっていることが、生活の場で役にたっていることを、今更ながら感じます。

例えば、子供たちは大好きな「砂遊び」中に目に砂をいれてしまうことが度々あります。こんな時、たいがい母親は大あわてで、かわいたハンカチで砂を出そうとゴシゴシやり子供はいやがつて大騒ぎになります。でも、私はその子の手をおさえ「さあ、たくさん泣いてちょうだい、オメメのお掃除よ」とおちついた調子で云うことができます。目をこすつてしまわなければ、たいがいすぐに直ります。これを自分の子だけにではなく、見知らぬ子にもこのようにしてあげられることがうれしいのです。そしてこれを見ていた他の母親たちは、この方法を次回から採用してくれるのは、うれしいことです。

ガールスカウトの活動目標の一つは、よき公民、よき母親を育てることにあるといいますが、私の場合、よいスカウトになれなかつたし、よい母親にもなれそうもありませんが、かつては子供であつたスカウトであつたという貴重な体験を土台に私なりの育児法をつくりあげて行きたいと思ひます。

末筆ながら、あの入団の頃のオミノ的存在から、ここまで導いて下さつた皆様、四団を成人の祝いをするまでに育てあげて下さいました皆様に心より感謝いたします。

今田富江 (旧姓田中) レンジャー副リーダー(一九六〇)
一九五七年夏、ジュリエットロウセツションでアメリカへ行き、その間にカナダに於けるベーデンボウエル生誕百年を記念する世界キャンプに参加。現在はボーイスカウト今田隊長の奥様です。一男一女の良きママ。藤沢の団地で将来のボーイスカウト、ガールスカウトを養育中。

先輩より

柳 健 一

四団のスカウトの皆さん、二十周年目のお誕生日おめでとうございます。ボクがカブ隊に入隊したのが七年目の年でしたから、もう十三年も四団のスカウトとして生活して来た事になります。

さて、その間にボクが四団のスカウティングを通じて得られたものは何だつたでしょう。君達もこんな事を考えてみた事がありますか？ ボクが得られたもの、それは「目標への道の途中の工夫を楽しむ」と言う事だつたと思ひます。

ボーイスカウトの二級・一級への進級の中にある手旗や繩結びの練習や、技能章、班ハイキカクや野外料理、キャンプ等々は皆んな「途中の工夫を楽しむ」事の練習なのだと思ひます。

団 委 員 会

二十周年記念に寄せて

齋 藤 道 雄

靈南坂教会のスカウトが、二十周年を迎えることは大へん意義のあることと思ひ、素直な気持ちで関係者の方々とともに記念し感謝いたしたいと考えています。

スカウトの二十周年に当る本年は、教会にとつては八十八周年になるわけです。日本流に言つて、スカウトは成人式、教会は米寿、ということになります。

しかし、この際、スカウトにしても教会にしても、個人的な慶事とすること以上の、社会的なあるいは教会史的な、意義を發見する必要があるのではないでしようか。

スカウト活動の眞価を、私は、青少年教育にあるとみている者ですが、そして、それなりの評価をもつてゐるつもりなのですが、それゆえに、教会教育ないしはキリスト教々育という視点で、このスカウト活動をさらに深めてゆきたいものだ、と希望もし責任も感じています。

チャーチ・スカウトとかクリスチャン・スカウトという呼び方を、最近よく耳にするのですが、その名前に実をもちこむの

は、これからの課題だ、という気がしています。それだけに、靈南坂のスカウトにこれから先の十年間を目標に、クリスチャン・スカウトへの歩みを期待したいのです。すでに、そのような方向への努力が芽生えていることは、大へん心強いことでもあります。

そうした方向における發展は、ひとり第四団の發展にとどまらない意義をもつてゐることになります。それは、日本のキリスト教教育に新生面をふきこむことになるからです。とかく、知的、情動的な教育に傾きがちな、キリスト教々育に、生活技術的な面とか身体的なものとかを加味することは、本来的に考えても必要なことであります。

一方、教会の現状は、新しい活力にみちた信徒リーダーの出現に期待がよせられてゐるとわたくしは考えています。信徒の活動を主体としたグループ活動が盛んであるとき、教会は發展いたします。しかし、教会の發展が自己目的ではありません。要は、福音によつて生きる人が、一人でも多くなることであり愛の支配する國が完成することであります。これが、人に対する奉仕、社会に対する奉仕となるのです。

スカウトは、眞に奉仕する人の養成や訓練を旨とするものであり、と考えますが、それ自体に満足せず、それが、何のためであるかを忘れてはならないでしよう。

そうした点で、第四団はチャーチ・スカウトとして、自覺的

チャーチ・スカウトとかクリスチャン・スカウトという呼び方を、最近よく耳にするのですが、その名前に実をもちこむの

この運動の進展のために望んで来たことか、

どんなに社会が進んでいつても、いつの時代でも、問題は人にあります。組織と個、集団と個人などといわれますが、ここでも、「人が全世界をもうけても、その生命を失つたら、何の得になろうか」という聖句は、的を射ています。「人をさがし歩いたギリシヤの哲人以来、わたくしたちは、すべてのものの中に本当の人をさがし続けてきているわけです。

そうした意味においても、教会には使命があり、チャーチ・スカウトもその使命を担うグループとなつていくことが大切だと考えている次第です。

日本の社会を新しくつくる人が、私共の団において、一人でも多く養成されることを願つてやみません。

齊藤道雄 靈南坂教会副牧師。上級スカウト団委員。スカウトの経験は初めてとか。一昨年にはガールスカウトのキャンプに同行下さり、以来スカウト運動の良き理解者であられます。一人娘の直子ちゃんのやさしいパパ。

二十周年記念を迎えるに當つて

B. S.
団委員長 田 中正 男

靈南坂教会にスカウトが誕生して二〇年になるという。この間、一〇周年記念行事を行い、そのあと引続いて一五周年記念行事を行ったのにもう二〇周年になるのかと、自分がそれだけ年をとつているのも忘れて月日の立つのが早いのに驚いている。

さて、人間の努力は文明の進歩をもたらし二〇年前には見られなかつたジェット機が世界をグツと見近なものにしたばかりでなく宇宙までも人間が行つている現状である。日本の国内においても世界一の鉄道、東海道新幹線が大阪京都を東京の奥座敷という感じにしてしまつたし、今日より明日はもつとよいものを作り出そうという人間の努力は際限のない感じである。

ひるがえつて靈南坂のスカウトを眺めてみよう。二〇年の歴史を顧みて進歩があつたであろうか。成程、スカウトの評価は文明の尺度のように目にみえて現すことは難しいかもしれない。しかし、靈南坂のスカウトが他のスカウトと異なる点はいつも云われるようにチャーチスカウトであるという事である。問題を、この点だけにしばつてみると、私は進歩よりむしろ近年は退歩があつたのではないかと考えている。この責任は勿論、団委

員長の地位を永年に亘つて占めてきた私にあるので私自身はその責任を痛感しているし、又、この責任をとつて身を引くことも勿論考えている。一方、スカウトの方からみればこうなつた事には教会側にも大きな責任があるというかもしれない。教会はただ場所を提供しているだけで他の育成団体のように教会は資金的な援助もしてくれないし、二〇年の歴史のうちにはむしろ厄介もの扱いされたことだつてあるではないかという不満があることも私は知らないわけではない。

しかし、二〇年目、即ち、人間でいえば成人式を迎える年に当つて、もう一度四団が自らを反省し、一同新たな決意を以つてスタートしなければ真の四団の崩壊は目に見えているような気がしてならない。先日の団委員会の席でもこのことが論議されて、子供をカブの時代から続けて四団に預けている一委員から子供の話を伝え聞いて夜など静かに考えていると四団がつぶれてしまふような気がするけれどこうして来てみると現実には存在しているので安心するという発言をきいて私はほんとに慄然とした。

今の指導者達が一生懸命やつていないとか物足りないというわけではないが誕生当時からよい指導者に恵まれた四団が後継指導者の育成をおこたつて現在の危機を招いたことは何といつても団委員長を始めとする団委員会の責任であるといわれても致し方ない。

二〇年を迎える四団は卒直にいつて少々の痛みを感じても大手術をしなければならぬ状態にあると思う。スカウトの先輩、現役指導者、隊員、団委員が一丸となつてチャーチスカウト再建の為に努力しようではありませんか。世俗的な誘惑に負けないうようスカウト精神で武装してこれに立ち向い、少くとも指導者は全員、隊員のうちからも多くの者が宗教章をとる位の決意をもつてもらいたい。それでこそ初めて四団がチャーチスカウトとしての特徴があるのではなからうか。

二〇周年の御祝を述べるつもりが、逆に叱る結果になつてしまつたが、これは私自身も含めて叱られているので許していただきたい。

田中正男　　ボーイスカウト団委員長（一九五七）。
早稲田大学理工学部教授。霊南坂教会の長老であり、スカウトイングのよき理解者でもある。奥様はレンジヤーの団委員。
令嬢恵子さんもガールスカウトの副リーダーと、名実共にスカウト一家である。

でも団委員長を始めとする団委員会の責任であるといわれても
致し方ない。

二にすむ

針替 富美子

この喜びの日を共に祝う幸せを心から感謝して居ります。い
よいよ成人式を迎えた私達の四団が益々溢れるばかりの神の愛
を受けて名実共に成長される様祈ります。

かつては一つ屋根の下におりながら余りボーイスカウトとガ
ールスカウトが合同でということが無くたまにホークダンスの
会を催されるとお互に恥かしかつて大変だった位でしたが近頃
は訓練や学ぶことはおのづから違いますが、一年を通じて共に
守る行事にはそれぞれ係をきめて熱心に計画的に準備が進めら
れすべての事に盛り上がりが見られることは本当に力強い事です。
昨秋開かれたガールスカウトの世界会議の時のラリーにはボー
イスカウト四団は交通整理をして非常に機敏に活躍をして感謝
されました。翌十月二日の日曜日の礼拝は丁度世界祈禱日で会
議の各代表が三十名私達の教会に出席され飯牧師が英語と日本
語両方のお説教をして下さいました。ボーイスカウト、ガール
スカウトも制服で多数出席し感激の礼拝を守りました。礼拝後
スカウトハウスでリーダー達が早朝から腕をふるつて準備した
心のこもった美味しいお料理を一緒にいただきながらガールス
カウト、ボーイスカウトのお得意の歌をうたつたりお話をして

又昔の一年も経ちました。この日、この時、この
代表をここに立たせ二つでこの事は二十三年を前に記さすべき事
でした。ボーイスカウトの創始者はベーデンパウエル様そして
ガールスカウトは創始者の姉ミス、アグネス・ベーデンパウエ
ルによつて始められたのですからガールスカウトとボーイスカ
ウトがお互のよい所を学び合い協力していくことは自然の姿の
様にさえ思われます。今後も共に励まし合つてスカウティング
の向上につとめよきスカウトを育成し立派なリーダーが次々と
成長される様そしてスカウト活動の発展を祈ります。以上

針替富美子 ガールスカウト団委員長（一九六一）。
坊ちゃん、ボーイスカウト年長隊、お嬢さんはレンジャー、
ガールスカウトとして活躍中。教会とスカウトにすべてを捧
げて奉仕していらつしやるスカウト一家。

二十周年を祝して

ボーイスカウト団委員
河 辺 艶 子

ボーイスカウト、ガールスカウトが出来てもう二十年になら
うとは……今更のように此の伝統のある東京四団に子供達がお
世話になつてゐることを嬉しく思つております。

カブ隊や少年隊の頃「いつてまいります」と元気な声で出かける背に向つて「気をつけて行くんですよ。隊長のいつけをよく守るのですよ」と世話をやいて送り出しておりましたのも、ついこの間のように思つておりましたのに、もう長男は高校一年になり現在は年長隊の次長、二男は中学一年やはり少年隊の次長をいたしております。今ここに二十周年を迎えたよろこびと共に、私の背よりも大きく成長した子供達に目を細めている私なのです。自分がオバアちゃんになつたことも忘れて……でも、いつも心の中で心身共に健全な若者に成長してくれるよう神に祈らずにはいられません。

この頃の世相は、他人への思いやりや迷惑など考えなくなつて来ているようです。

私は青年学級の講師をいたしております関係上、若い方達と接することが多いのですが、家庭教育、いわゆる躾けの大切さを必みじみと感じております。「今の若い人は……」と云う前に私達母親がもう一度考えなくてはいけない問題とも思います。

班活動など時々見せていただいておりますが、真面目にあえられた仕事をコツコツとやつてゐる子、要領よく適当にやつてゐる子、面倒くさいことは人まかせな子など、いろいろな面を見て考えさせられます。子供達も団体訓練をうけているいろいろな方達に接し、よい経験になつて本当に幸せだと思ひます。

長男は、今年の夏アメリカで開かれるジャンボリーに参加と決

定いたしました。世界中のスカウトの仲間同志、手を握り合うことができることはなんと素晴らしいことでしょうか。

無事に大役が果せるかしら……とまた私の心配がふえました。至らぬ子供でございますが、みなさま方のご支援を心からお願ひいたします。終りに四団をこんなに立派に育くんで下さつた先輩の方々に感謝をいたすと共に、二十周年を心からお祝いし、今後の大いなる、すばらしい活動を期待いたしております。

河辺艶子　ボーイスカウト団委員（一九五九一）。二人のお坊ちやまは、ボーイ・シニアでそれぞれ活躍中。シニアの章夫君は今年の夏アメリカで開かれる世界ジャンボリーに杉原隊長と共に日本代表に選ばれた。いつもお若かく美しいスカウトの良き理解者。

あなたの特徴は何ですか

盛田昭夫

「あなたの特徴は何ですか。」これが、私の会社に来る若い人達に、私がたずねる最初の質問です。

こんなことについて、あなたは考えたことがありますか？

この地球上には、何十億かの人間が住んでいますが、その一

方達に接し、よい経験になつて本当に幸せだと思ひます。
長男は、今年の夏アメリカで開かれるジャンボリーに参加と決

一人一人違つた個性をもちつています。よく似た人があつても、よくよく見ればやはり違つた人であることがわかります。

顔かたちが違つているだけでなく、人々の「なかみ」もみんな違つてゐることを、私はいいたいのです。「なかみ」というのは、心や才能のことです。人間は神様と違いますから、何でもすべて完全だというわけには行きません。

しかし、どんな人にも必ず、他の人と違つたいところがある苦です。わるいところもあるでしょう。

生れたての赤ん坊のときには、みんな同じように、オギヤーとないていても、大きくなるにつれて、その人その人の特徴が現われてくるものです。顔や身体つきの特徴が、はつきりしてくると同じ様に、心や才能の特徴もはつきりしてくるものだと思います。

そのように、各々の人が違つた才能を持つてゐることを忘れて、他の人と同じ様なことをしようとしても、うまく行かないことが多いのです。

私達の住む社会がうまく行く為には、たくさんの人達、一緒に住んでゐる人達が、自分自分の良いところをうまく出しあつて、力をあわせることが、一番大切なことだと思います。

いいかえれば、一人一人が自分の特徴を一番うまく発揮することが、私達の社会をより良くすることなのです。

ところが、自分自分の本当によいところがどんなところかと

こんなことについて、あなたは考えたことがありますか？
この地球上には、何十億かの人間が住んでいますが、その一

いふことを考えずにいる人が、大変多い様に私は思ひます。

世の中の一員として、みんなと一緒に暮して行く私達は、世の人のためになることをする義務と責任があるのですが、何をしたら一番役に立つかということを知らないと、人のためになるどころか、人の迷惑になることになります。

自分に何が出来るか、を一度真剣に考えてみて下さい。

自分は何も出来ない、と思ひこんでしまつてゐる人もあるかも知れません。しかしそんなことは絶対にありません。どんな人にも必ず、他の人は持つてゐない良い点があるのです。

それがわかればしめたものです。その特徴を一番いかすように心がければ、その力はぐんぐんのびるものです。自分の力は、先生や両親や他の人の助けでのびるものではありません。あなた自身の努力でどうにでもなるものです。

あなた方少年は、これからどうにでものび得る、素晴らしい素質を持つてゐるのです。それが「若さ」の尊いところなのです。しかし、それは自分の努力なしではのびるものではありません。

どんな努力をしたらよいのか。

それは、自分はどうな才能、どんな力を持つてゐるかを、先ず知ることから始まるのだと思います。

顔かたちの違うように、あなた方一人一人の素質も皆違つていて、どんな人にも他の人にもない素晴らしい素質が与えられています。それは絶対的しかです。ただ、多くの人が、それに気が

つかないことが多いのです。他の人のことを知る前に、自分自身を一番よく知っていないければなりません。

それを知った時、あなたは自信を持つて前進出来るのです。

自分自身に、誇りと自信を持つて進んで下さることを、私は心から祈っているのです。

盛田昭夫 少年隊上級班長英夫君、ウルフ班昌夫君のお父様。「学歴無用論」でおなじみのソニー副社長。奥様は団委員長として活躍、共にスカウティングのよき理解者である。



第四団二十周年に寄せて

松 下 玉 江

小さな手を「ソーツ」とはなした。

「立てた」。小さな瞳が嬉しそうに誇らかに強く輝やいた。いつもの様にすぐオテテが前についてしまわない。「本当に今、あなたは二本のアンヨで、ちゃんと立てたのよ」。

まだ初めてのお誕生日すら迎えない我が子の、手を上げて全体で喜ぶ生々とした瞳と、その時の深い感動を忘れる事が出来ない。その後、私は又、二本の足を交互に動かして歩くという、ごく当り前の事を初めて子供があぶなげなく出来るようになった時、つくづく生命の神秘、造物主の偉大さに心を動かされた事を思い出す。

今、我が子はいえは少年期、やがて二十才の成人式を迎えた時、私はどんな感慨をもつて見つめるだろうか。

そして母子との会話の時、当人はどの様な気持ちでこの話を聞くだろう。

今こゝに第四団が二十周年を迎えると伺つて、私は何故ともなくこの事を思い出しました。

月並みな言葉ですけど、この団もいわば成人式、本当にお

「四団と共に」

御 堀 英 子

……そして二十才、きつと様々の感慨をお持ちの方々もお有りでしょう。又今こゝに集う多くのスカウトの皆様、健やかな姿を御覧になり、未来へ続く力強さを頼もしく御見守りの方々もおありと思います。

私も又皆様と御一緒にブラウニーの父兄の一人として二十周年をお祝い出来ますのは、本当に感謝でございます。

ふり仰ぐ教会の塔と共に、第四団が、皆様の御見守りと、リーダー・スカウトの皆様のためぬ御努力で、益々御発展されます様願うものでございます。

松下玉江　ブラウニー団委員長（一九六六）。お家が
忙しいにもかかわらず、ブラウニーの事には大変積極的に参
加して下さいお若くて、サングラスのよく似合う、喜美子
やんの素敵なお母様。

此の度東京第四団が誕生二十周年を迎えましたことはまことに御同慶の至りでございます。この輝かしい伝統をもちます四団に子供がお世話になりますことは私共親といたしましてよろこばしい限りでございます。四年前カブのはじめの頃は集会にも送り迎えがいたり、又最初のキャンプには体が後にたおれそうなりユツクを背負つて参加いたし当夜は淋しさから具合があるくなり隊長やデンマザーに御心配いたふいたりした事でしたがもう今では帽子のつばも広くなり毎週の集会、キャンプその他の行事に於ける良き御指導の賜で效々の事を習得いたしました。奉仕の心（常にまわりの人の事を思う）、礼儀正しさ（日常の態度と言葉づかい）、そして明るさを身につけ私共をよろこばせております。僕はおじいさんになるまでボーイスカウトを続けるんだとカブの頃云つておりましたがその気持をいつまでも持ち続けてほしいと願つております。私共母親も紋回キャンプに参加いたし楽しく歌い語り仕事をさせていたぶきスカウトと生活を共にいたしましたが美しい自然の中でいくつかの忘れられない思い出が残っております。一九六四年の東京オリンピックに於ては会旗の掲揚に朝夕喜び勇んで奉仕し、いたふいた

感謝状は今も額におさめて自室の壁にかざっております。

二十年という長い年月の内私共ではその何分の一ほどしか参加いたしておりませんが今後も二十年五十年と立派に発展してまいりましょう四団のスカウトとして恥しくない行動を望み親としての私共も協力を惜しまず大きい目的に向つて進んでまいりたいと存じております。

御堀英子　ボーイスカウト団委員（一九六二―六三）。少年隊直嗣君のお母様。音楽を聞くことが趣味。その他バザーがあればきれいな手芸品を出品して頂ける。敬神奉仕をモットーとしている頼もしいお母様である。

四団二十周年を迎えて

中　　谷　　洋　　江

スカウトの皆様二十周年お目出度う御座居ます。長い年月の間、教会の皆様や、良き先輩良きリーダーのたゆまない努力のおかげで二十年の間に此の様に立派な団に成長して今日二十周年を迎える事が出来ましたのは本当にうれしい事で御座居ます。

私も子供がブラウニーに入らせていただきました時には、ただ莫然とおあづけ致して居りましたが、GS、上級と進むにつれて

子供のお陰で少しづつながらスカウト運動について考える事が出来る様になり四団に入れていただいてよかつたと感謝致して居ります。一日一日、一年一年と年月の積重ねが大切な事はわかつて居りますが、長い間には厭になる事もあり、ほかのものに引かれる事もあり、スカウト生活にも、色々と曲り角が御座居ますが、そんな時に親の一寸した協力で乗り切る事が出来る様親も子供とともに学んで行きたいもので御座居ます。

大きな組織の中の一つの歯車としての活動が将来よき社会人として育つて行く事と信じて居ります。三十周年、五十周年と今後ますます四団の立派な発展と良きスカウト、リーダー、社会人が果立つて行く事をお祈り致します。

中谷洋江　上級スカウト団委員長（一九六六―）。二人のお嬢様はガールスカウト副リーダー、上級スカウトとそれぞれ活躍中。円満でいつも陰の力となつて下さる四団の大黒柱。

私も子供がブラウニーに入れていただきました時には、ただ莫然とおあづけ致して居りましたが、GS、上級と進むにつれて

蜂の働き

二十周年によせて V

美 藤 章

(一) 蜂房蟻穴

蜂房蟻穴という言葉は、蜂の巣、蟻の巣の穴のことですが、此の言葉はいろいろの事柄を想起させます。まず、第一は「群がり」「集団」です。蜂も蟻も自分の巣ですから、ここを根拠地として集まり、群がるのは当然のことでしょう。第二は「動き」です。蜂も蟻も決してじつとして居るものではありません。彼らは巣の穴を出たり、入つたりして忙がしく動き廻つています。その動きが止まつた時は蜂も蟻も死んだ時です。最後、第三は「働き」です。彼らが実際に巣に「群がり」、穴を出たり入つたりして「動い」ているのは、実は一つの目的を持つて「働い」ているのです。彼らは冬を安心して過すために、また、子供たちを十分に育てるためにせつせと働いて食糧を貯えているのです。

私たちの連想は単に巣の周辺を見るのではなくて、更に一歩進んで、巣の中に目を向けなければなりません。巣の中に貯えられているもの、それは蜂であればまさに蜂蜜です。蜂がその巣に「群がり」、穴を出たり、入つたりして「働い」ているのは

蜂蜜をつくるために「働い」ているのです。私たちは蜂の群がり、蜂の動きの根底に、この貯えられている蜂蜜のあることを忘れてはなりません。

私は一匹の蜂として、第四団の二十年の歩みを考えています。ただ、この一匹の蜂は長い二十年のうち、僅か一年足らず、蜂の巣に群がり、出たり、入つたりしているにすぎません。しかし、多くの事を教えられ、学びました。また、いろいろの問題にも気がきました。

(二) 蜂蜜

二十年の歩みを振り返ってみる時、ある時は巣に群がついてたにすぎないこともあつたでしょう。またある時は、出たり、入つたりして動き廻つていたにすぎない時があつたでしょう。しかし、もう一度良く見てみましょう。巣の中に蜂蜜があるはずで

二十年は一乗の人になれる年月です。二十年前の可愛い、カブもブラウニーも今では一人前のローパー、レインジャーとなつて立派な成人になつています。何らかのものを身に付け、何らかの考え方もつて成人となつています。二十一年間に培われているものがあるはずで

その何らかのもの、何らかの考え方、培われているものは、一体どんなものでしょうか。二十年の今、そのことを真剣に受けとめて、正しく検討する時、蜂蜜がある、という事が明確に

示されるのだと思います。また、その事が二十年の現在を自覚することでもあります。

(三) 蜂蜜の質

蜂蜜はただ、ある、だけではだめです。それがどんな質のものであるのか、充分な洞察が必要です。貯えて、出来たものをつくりと見直さなければなりません。

スカウト活動が毎年、毎年の行事をくり返すだけで、単に、体験主義で終ることでは蜂蜜を貯えるならば、蜂蜜は腐る場合もあります。体験を通して、それを充分に洞察し、精錬する理論が必要です。この理論はしっかりと持っているでしょうか。

二十周年を一つの契機として、体験を通して貯えられる蜂蜜を、濃い、質の高いものに精錬する明晰な理論が着実に進められなくてはならないと思います。その事がスカウト活動の中に宿っている精神をより具体的に実らせ、力強い働きをなさせるものと信じています。

二十周年を覚えるあらゆる試みは、たんに、振り返つて一種の郷愁に終るものであつてはなりません。二十年の反省は、まさに現在を正しく受けとめ、みつめる為になされるものです。そして、それを踏台にして未来に大きく前進しなくてはなりません。私たちは、私たち自身の充分な自己省察と共に、私たちが立っている立脚点にしっかりと立つて、教会に連らなるスカウトとして、何を見落してはならないのか、何をなさねばなら

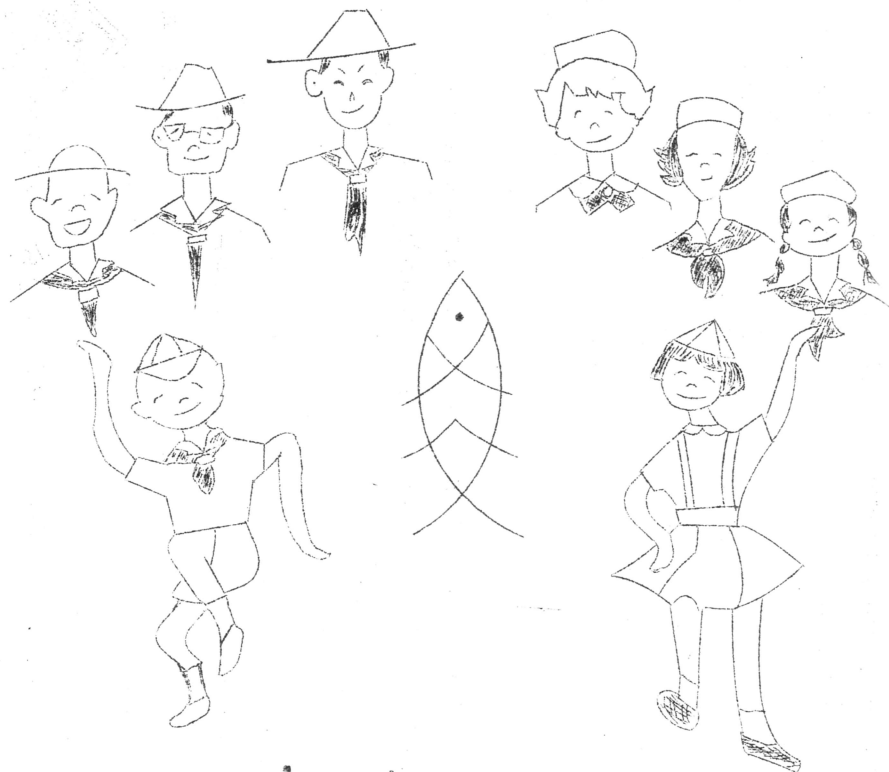
ないのか、という事をより力強く、より積極的にみきわめてゆきたいものです。

スカウト活動二十年の歴史をもつ、日本唯一の東京第四団は今こそ大きく成長しようとしています。今こそ、日本中のスカウティングに、又、日本の社会に、すばらしい蜂蜜を示していかなくてはなりません。その為、共に手を取り合つて、しっかりと頑張つてゆきましょう。

美藤 章 霊南坂教会伝道師というより、ボーイスカウト副団委員長、ガールスカウト団委員長という肩書きの方がお似合いのような熱の入れよう。まだいらして一年とはいへ、心からスカウトを愛し、皆のお兄さんのようなたのもししい存在。誰からも愛されるハツスルボーイ。勿論独身です。



か立っている立脚点にしつかりと立って、教会に連なるスカウトとして、何を見落してはならないのか、何をなさねばなら



スカウトのページ

ここは私達スカウトのページです。

私達がいつも考えていること

大きくなつたら……

尊敬する人は……

理想の女性像・男性像・

人生観・スカウト観

などについて、

一人一人が思つて

いる事を書いてみました。

どうぞ、ごゆるりごらん下さい。

ここは私達スカウトの

ページです。



大人になつたら...

安藤 昭良

ぼくは大きくなつたら学校の先生にな

りたい。わけはじぶんにはわからない。

活動報告

× 現在隊員二十八名(小学校の二年生か

× ら四年生まで)が四組に分かれ、それぞ

× れ一人づつのデンマザー、デンチーフに

× 見守られながら二時半より集会を開いて

× います。一時半頃になると気の早いスカ

× ウト達はもう教会の庭にあらわれ野球を

× したりして元気に走りまわっています。

× 現在は各週毎に隊集会和組集会とに分か

× れていて隊集会の時には隊付二人と副長

× 補それに私の四人の男子リーダーが二十

× 八名の隊員を相手に今週はゲームをしよ

× うとか来週は国旗の描き方を教えようと

× か全部のカブが一緒にやつていけるよう

× なものをプログラムに組入れ、又組集會

× ではデンマザー、デンチーフが組のカブ

× 一人一人を年令にあうような教え方をし

× ながら矢章課目や修得課目のチェックを

× しています。その他に夏の舍営、月の輪

× キャンプ・ハイキング等で自然に親しみ

× 都会では味わえない生活、親の手からは

安西 武彦

大きくなつたらたいちようになりたい。
なぜかつて、カブとすごしたいからだ。

市川 肇

ぼくは、おおきくなつたら自えいたい
の、ジェットパイロットになりたい。

伊藤 武司

ぼくは大きくなつたらひろきうん
てんしゆになつてアメリカにいきたい。

小沢 隆

パイロットになりたいです。どうして
かという、けしきがいいからです。

小良谷 博

ぼくは、大きくなつたら、サラリーマ
ンになりたい。おとうさんの、しごと
をつぐ。

菊池 千春

ぼくは大きくなつたら、科学はか士に
なりたい。そして、エアーカーとレザ
ー光線を発明する。

中根 秀樹

大きくなつたらしやちようになつて、
いばつていたいなあとおもいました。
でもあまりいばつていと、しやちよ
ようになつたきもちがない。

河内 博

大きくなつたら、おとうさんのあとつ
ぎをしたいと思ひます。おとうさんの
しごとは、ぼうえきのしごとです。ぼ
くは、ぼうえきのしごとを、いつしよ

でもあまりいばつていると、しやちよ
よになつたきもちがない。

しごとは、ぼうえきのしごとです。ぼ
くは、ぼうえきのしごとを、いつしよ

× キャンプ・ハイキング等で自然に親しみ
× 都会では味わえない生活、親の手からは

三 望 正 一

ぼくは、大きくなつたら、りつばな人
になりたい。たとえば、はかせになつ
て、ノーベルしょうを、もらいたい。

梅 垣 正 一

ぼくは、けんちく家に、大きくなつた
らなりたいです。それはなぜかとい
うと、お父さんがけんちく家だからです。

手塚 実

じどう車のうんでんしゆ。

小 沢 稔

ぼくは、おおきくなつたら、まんごく
たいちようのまねをして、うんと、カ
ブスカウトを、いじめちやうつもりで
います。

(万石記)

三 武 信 夫

ぼくは、パイロットになりたい。その
わけは、月きゆうがたかいから。でも
外国せんはやらなくて、国内せんにし
ます。

小 林 裕

大きくなつたら隊長になつて、カブを
なみだがかわくまでシゴきたい。

守 戸 勉

大きくなつたら、会しやいんか、ジエ
ットきのパイロットになりたい。

小 松 忠 和

大きくなつたら、スキндаイバァーに
なつて、海にもぐりたい。

梅 垣 克 輔

ぼくは、大きくなつたら、おとうさん

国 谷 洋 之

ぼくはマンガ家になつて、デイズニ
ーよりもおもしろい物を書く。

菅 谷 敏 一

大きくなつたらどんな人になりたいか
は、カブのあたらしいことを、うんとい

じめてみたい。

諸角義男

ぼくは、おとなになつたら、世界をせ
いふくして、平和にしたい。

中村一也

ぼくは、大きくなつたら、ひまな人
になりたい。わけは、遊びができるから
また、テレビもいっぱい見れるから。

日高一尋

ぼくは、大きくなつたら、タクシーの
運てんしゆになりたい。おとうさんが、
車をもっているから。それから、車が
すぎだから。

平林厚幸

日本のだいじんになりたい。そして、
みんなのくらしをよくし、ねあがり
ぜつたいしない。

三島完治

松屋のデパートの店いんになりたい。
しんゆうのおとうさんがデパートだか
ら。



しんゆうのおとうさんがパートだから。



大人になつたら……

三 天 三 美

大きくなつたら、はいゆうさんになりたい。だつて、はいゆうさんになつたら、テレビにうつるから。

活動報告

× 四団のブラウニーは、何にも勝る宝物を持つている。とても素敵な妖精です。

阿 藤 賀津子

大きくなつたら、えの先生になりたい。えが、すぎだから。

小 西 久美子

わたしは、エレクトーンの先生になつて、いろいろな曲を、いろいろな人に、きかせたいと思います。

× “喜んで人に役立つブラウニー”と

井 辻 智美

わたしは、おいしやさんになりたいです。わけは、ママやパパを長いきさせあげたい。しようにかの先生になりたい。

白 石 和子

わたしは、大きくなつたら、バスガールになりたい。小さいときから、とてもバスが好きだつたからです。

大 塚 仁子

大きくなつたら、先生になりたいです。おしえるのが好きです。

鈴 木 富士子

大きくなつたら、モデルになりたい。そのわけは、きれいなようふくやきものをたくさんきれるから。

加 藤 真理

わたしが大きくなつたら、本やさんになりたい。わけは、かんたんだから。

関 口 浩子

おとなになつたら、学校の先生になり

× 段は、お忙しいお父様も大勢出席して下さい、父娘揃つてゲームをしたり、大声

響 三 真 登

わたしは、大きくなつたらバスガールになりたいと思います。いつものついで、あきないと思います。

響 崎 千 香 二

おとなになつたら、学校の先生になりたい。どうしてかという、びしびしとすばるたきよういくをする。

なりたいと思う。なぜかという、昔からバレエが好きだつたからです。

高 坂 清 美

外国の大学をで、ピアノの先生になりたい。なぜかという、ピアノがすきだからだ。
けつこんをしてもつづける。

大 原 真 琴

わたしは、大きくなつたら、ブラウニ1、ガールスカウト、上級スカウトのリーダーになりたい。

松 下 喜 美 子

わたしは、大きくなつたら、じゆういさんになりたい。どうしてかという、犬がすきだからです。人間のおいしやさんの方が、かんたんそうです。

中 根 淑 英

わたしは、大きくなつたら、ピアノストになりたい。どうしてかという、いろいろの会にでられるからです。

関 真 帆

大きくなつたら、ようち園の先生になりたい。小さい子どもたちと遊ぶのが、楽しみだ。

安 間 桂 子

わたしは、ものがたりがすきだ。インソツブをとてもそんけいしている。自分でも二つ三つかいてみた。わたしは、しょうせつ家になる。

大 和 由 利

わたしは、バスのガイドになつて、歌をうたつたり、いろんなところへいくからなりたい。

恒 田 知 子

私は、大きくなつたら、バレリーナに



尊敬する人は...

高橋 徹次

ぼくが最も、尊敬する人は、シユバ
イツアーだ。わけは、自分だけがこ
ふくになるうと思わないこと。

活動報告

佐藤 一英

ぼくのそんけいする人は、両しんです。
それはいつもぼくたちをやしなつてく
れるからです。

龍 忍

ぼくのそんけいする人は、きたざとし
ぼさぶろうです。きたざとしぼさぶろ
うは、外国でなん年も、はしようきん
の研究をして、ついにははしようきん
のよぼうほうをはつけんしたから。

杉田 英彰

両親をそんけいする。それは、ぼくら
よりも、きびしいべんきようをやつて、
せんそうのあいだも、いきっていたこと
だ。

手塚 真

柏木班長。やさしくて、おもいやりが
あつて、なんでもおしえてくれて、頭
がいいから。

朱 鴻 翔

たいちようはしんせつで、やさしくは
ないが、おもいやりがあるので、そん
けいまではいかないが、そんけいして
いる。

盛田 昌夫

ぼくが最もそん敬する人は、ガンジ
ーだ。ぼう力をふるわず、質素で、常に
真実をうちようする人は、この世でガ
ンジータつた一人だとぼくは思う。

新リーダー結成以来早一ケ年が過ぎよ
うとしている。みんなそれぞれの個性を
發揮して隊をうまくまとめてくれている。
会計の大内副長、隊の事務処理をして技
能面を担当し、戸田副長はゲームソング
を担当、新しいゲームや歌を指導して人
間味あるユーモアでスカウトを笑わせて
くれる。違うといえはまるきり正反対の
二人ではあるが、お互にカパーしながら
よく動いてくれるので大変うれし。現
在の方針はグリーンバーの教育一つであ
る。それにむかつてリーダーはまい進し
なくてはならない。それが出来たとき四
団らしい隊として日本一の隊としての期
待が出来るものであると信じている。ま
だまだ道は遠いが一歩一歩近づく為の努
力はリーダーとしての困難と喜びの両
方である。

(関口記)

に、働いた人々を尊敬したいと思う。

遠藤 斗紀雄

『大内さん』 まず大内さんは、ぼくから見ると、つき合いやすい感じである。大内さんの、毛の形が、にやうと思ふ。しかし、おこる時は、よくそのいみをおしえて、おこつてくれるし、楽しむときは、心を丸く持ち、いつしよに楽しむ。さつそうとして、まだ、わかわかしい。まだ、しよう来性があるとぼくは、思う。

河辺 史郎

尊敬する人はシユヴァイツァー。人のために命をかけて、人を助けたから、えらいと思つた。僕では、とつてもシユヴァイツァーのようなまねは、できない。

小池 四郎

小松正太郎君は、ぼくの最もそん敬す

る人物の一人だ。理由は、われわれのはん長であり、人を使うのもうまいし、よきせんばいだと思ふ。

小玉 純康

ぼくの尊敬する人は、エジソンだ。ぼくは電気が好きだから、電球を發明したり、その他いろいろ發明して「發明王」とまでよばれた人だから、ぼくはとてもエジソンを尊敬している。

杉田 憲彦

僕が一番尊敬する人は、両親だ。僕達を産んでくれ、育ててくれた。そして色々な事を教えてくれた。簡単に言えば神様みたいな人だ。だからこそ、僕は両親を一番尊敬する。

須崎 兼継

僕が、一番尊敬する人は、エブラハム・リンカーンである。黒人どれいを助けて、皆平等にしたからである。これ

は人間としてあたりまえの事だが、世間の人がひなんするにもかかわらず、自分の信念をつらぬいた勇気を、尊敬する。

田浦 彰

僕が一番尊敬する人は合衆国の第二十八代大統領ウィルソンです。第一次世界大戦のとき自由と平等を強調し、戦争を早く終わらせるためにつとめた民族自決の主義を唱え、国際連盟を作るために努力したこのような人、世界の平等と自由をうつたえる人が、ぼくとつていちばん尊敬できる人といえよう。そして一九一九年にノーベル平和賞を受けた。

田中 直也

ぼくは、シートン動物記の原作者のシートンを、そんけいします。第一に動物のくらし、せいしつ、たべもののことなどくわしく本にまとめて書いたの

小池 四郎
小松正太郎君は、ぼくの最も尊敬す

る。そんなことができる者である。三二に

本を書くために、いろんな国にいつて
しらべてから本にのせる、しんちよう
さがとてもいい。きにいつた点である。

平井 千明

ぼくの尊敬する人はいない。けれど、
人間の理想像はある。いつまでもほほ
えみをわすれない人とやつても別にお
こらないと言うことではない。おこる
時は雷のようにおこり、わらう時は腹
がいたくなるほどわらう人間だ。

今井 哲哉

私の尊敬する人については、一度もし
んげんに考えたことがないから、書け
といわれても書けない。

宇田川 淑明

ぼくの尊敬する人はシュバイツァー博
士です。自分の地位をすて、アフリカ
の黒人のために一生をささげたからで

リンカーンである。黒人どれいを助
けて、皆平等にしたからである。これ

柏木 幸夫

ケネディは、黒人白人を差別なくする
ようにつとめた。また勇敢であり実行
力がすぐれていた。

川島 正次

シュバイツァーは、豊かな音楽の才能
と、名譽をすてて、なんの私欲もない、
未開の土地、アフリカへ行き、黒人の
ためにつくした。

小松 正太郎

尊敬する人はエジソンだ。いろいろな
発明をして、世の中の人に幸せをあた
え、現在にもやくだつてゐるから。

小松 龍一郎

一番尊敬する人『アルベルト・アイン
シュタイン』「特殊及び一般相対性理
論」等の首唱者。一九五五年死亡。

物のくらし、せいしつ、たべものこの
となどくわしく本にまとめて書いたの

彼は、又一般庶民達の良き指導者でも

あつた。戦争の為、常にしいたげられ
ていた人々の心に、暖かい愛情の灯を、
常に投じていた。

盛田 英夫

犬丸徹三氏、現在帝国ホテル社長。こ
の人は若い時代にイギリス、フランス、
アメリカ等の有名なホテルに勤めて、
それこそドアマン、ボーイと辛い仕事
を乗り越えて今のような立派なホテル
を作つた。僕は努力の固まりのような
此の人を尊敬します。

鷺崎 文彦

ぼくのもつとも尊敬している人は、有
名な、大橋巨泉です。このような、ふ
うがわりなかつこうをしていても、と
つても、話しがうまいと思います。



尊敬する人は……

新井 晴子

私がそんけいしている人は母です。私が「そんけい」といえば、「やさしい」とすぐこの言葉がでてきますが、母はまつたくちがいます。すこしはありますが、りかい、ユーモアをしておつかない。それが私の母です。

井 辻 朱美

私は、マリーキユーリーのやさしい心と、その負けん気に感心した。特に姉のブローニヤとかわるがわる働いて学資を出しあう美しい姉妹愛には、おもうず涙が出そうになり、感激した。

後 藤 直子

ナイチンゲールはかんごふになり、戦争でけがをした人たちを助け、どこま

杉 山 敦子

でもやり通したのがとてもえらいと思
いました。ナイチンゲールは心のやさ
しいりつばな人だと思えます。
× 「栄養たつぷり」肥満体のガール・ス
× カウト東京第四団。スカウト数五十八名
× の大世帯。それを率いるリーダー七名。
私は、ヘレン・ケラーを、たいへんそ
んけいしています。理由は、三重苦な
のにへこたれず、がんばつて勉強した
人だからです。私なら、とてもがまん
できないでしょう。
× ても一緒に集会出来ない。そこでリー
× ダー悩んだ末、小学生(A)、中学生(B)と分
× けての集会。これは数々の問題が残され

鈴 木 悦子

私の尊敬している人は、ビートルズで
す。ビートルズは、作曲などをするし、
私が作曲をしてもぜんぜんビートルズ
におよばないので、いい曲を作るビー
トルズは、えらいと思います。
× 応じて十一分野を通し、初級・二級・技
× 能章の勉強をしている。

鈴 木 尊子

私がそんけいしている人をあげてみた。
× 保育園のほぼさんです。その理由は、
× いつも明るく、ほがらかで、くじけず

活動報告

(内山記)

ナイチンゲルはかんどぶになり、戦争でけがをした人たちを助け、どこま

保育園のほほさんです。その理由はいつも明るく、ほがらかで、くじけず

二重をやり通すこの人たちのようになりたいと思う。

高坂 恵子

数々の苦難をのり越えて続けられた研究、その努力と忍耐力、そして生涯を人類の幸福のためにささげて、二度もノーベル賞をもらわれたキュリー夫人を尊敬いたします。

荻原 妙美

わたしの一番そんけいする人は、ママです。ママは、いつもニコニコして、何でもしつていて、何でも教えて下さいます。そして、私をこんなに大きく育てて下さいました。とてもやさしいママです。それになんといつでもママです。

松崎 保子

私はストウ夫人をそんけいします。理由はストウ夫人がどれいかいほうのた

めに、人々からどんな迫害を受けても最後までやり通し黒人を自由にしたらです。

村越 ルリ子

ミケラン・ジエロそれが私の尊敬している人です。ミケラン・ジエロは、自分がいいと思つたらやりとおし、そして大きな心をもつ、それがあの偉大な芸術を作つたのです。

守戸 淳

ケネディは少年時代ボーイスカウトにはいつていた。そして、正しい心と行ないをもち四十三才で大統領になつた。が、おしくも暗殺されてしまつた。このような人を、もつと生かしてあげたいと思つた。

阿部 修子

わたしのそんけいする人は、ケネディ前大統領です。なぜならば人種差別を

しないようによびかけたからです。けれども暗殺されてしまつたのが、たいへん残念だと思ひます。

金谷 彰子

音楽家としても第一人者として一流の生活ができるのに、誰も行かない未開の土地で黒人のために自分の一生をささげた、シュバイツァー博士を私は一番尊敬します。

小坂 和子

私の尊敬する人は故ケネディです。この間図書館で「戦うケネディ」という本を読みました。そしてケネディのやさしさとリードしんが気に入りますます好きになつたわけです。

小山 俊子

私の尊敬している人は、たん任の坂本先生です。それは、話しやすくみんなに公平だからです。又、こまつてる時

はなぐさめてくれます。「先生ありがとうございます。」これからも、今までのような先生でいてもらいたいです。

坂口 美幸

ヘレン・ケラー……幼い時からふじゆうで、かわいそうな、ヘレン・ケラー。それをこえ、りっぱに学校を卒業したことを、そんけいします。

白石 章子

私は、ケネディ大統領のような人になりたいと思っています。もしも、ケネディ大統領が生きていたら、ベトナムとの戦争は、おこらなかつたかもしれません。

高田 あつ子

シユバイツァー……わたしは、アフリカで長い間、らい病患者たちを治療したシユバイツァーの心と行動に感心しました。人間を差別なく助けたところか

らも尊敬します。

高橋 由美

わたしの尊敬する人、それは河西選手だ。東京オリンピックの時大活躍したバレーボール。わたしは、スポーツがすきだ。バレーボールをやつて、河西選手のようにになりたい。

竹下 知恵

私は、ナイチンゲールを尊敬しています。なぜかという、自分は、お金持ちの家に生まれ、遊んでいても一生くらせるのに、看護婦の仕事に一生をささげたのは、えらいと思つたからです。

中村 桃子

私は大きなゆめと、ほうしの力をもつた人をしんらいします。そして私も早くそういう人になりたいと思つています。なれたら世界中の人にそれをわけてあげたいと思います。

西家 緑

私は、私や弟を育て、家をまかなつて、そして自分たちも、おばあさんも、きちつとした生活ができるように、いっしょうけんめい働く父母を尊敬する。尊敬する人は父と母だ。

荻原 広美

一番そんけいする人……それは、ガールスカウト・ボーイスカウトをつくつたベーデンボウエル御夫妻です。こんなに多くの人々がやくにたつたり、なかよくなつた大部分は、スカウトが出来たからだと思います。

バーンズ・エルビア

わたしの尊敬する人は、ヘレンケラーです。ヘレンケラーは、めくら、おし、つんぼの三重苦をのりこえて、大学を卒業し、自分と同じ苦しみを持つ人のために一生をささげているすばらしい人です。

たシユバツア一の心と行動に感心しました。人間を差別なく助けたところか

す。なれたら世界中の人にそれをわけあげたいと思います。

ために一生をささけているすばらしい人です。

自分の事より農民の事を考え、病の身を起こしてまで農民につくし、淋しくこの世を去つた宮沢賢治を私は尊敬しています。自分を不幸にしてまで、不幸な人を幸福にする。そんな考えの人に私は大きくなつていきたいと思ひます。

Yの班長はとつてもしつかり者。班長は大変であるのに保健委員。私も保健委員。私は班長についていくだけ。又班長はYと委員の時間をよく使い分け

私は、母をそんけいする。それは、私の毎日の食事を作つてくれたり、時には勉強を教えてくれる母は、私の生きがいのように思える。いや私だけでなく、三人姉妹のそんけいする母であるにちがいない。

松村 恵美

明るく、ほがらかで、親切、そんな人といえは「おはなはん」だろう。だからもすかれどんな時でもくじけず、信らいでできる「おはなはん」わたしはそんな人大好きだ。

竹内 公子

私は一人だけ尊敬している人はいません。私の身近をとればいるかもしれせんが。名前の知られていない人々の中に、私の尊敬する人がいるように思ひ、その人が現われるのを待つています。

亀山 恵

美しく澄んだ心と、鋭い頭脳と、勇気と、光のように明るい性質とを持つている人。この中のひとつだけは持つていても、全部持つている人は、なかなかいないようです。

池田 香代子

私が尊敬する人は、いつでも何かしようというのを忘れずに持つている、明るい人です。もしも、できることならば私もそんな人になつてみたいと思ひます。

戸川 晴代

私は稲葉先生が大好きです。先生に習つた時が、一番身に入りました。だから、いまでも先生を目標にして、がんばりたいと思ひます。

中村 浩子

自分よりもすぐれている人をもろん尊敬します。けれども私は十四年間かかつて作りあげてくれた世界でただ一人の自分の母が尊敬できる人だと思ひ、また尊敬しています。

国谷朋子

私は特に名前をあげるほど尊敬している人は今のところいません。でも、いつも愛情に満ちほがらかで、勉強ができるとかそんな意味でなく賢い人はすてきだな、と時々思います。

中谷明子

特定な人はいませんが、信頼できる人、思いやりがあり親切な人、何に対しても愛情を持つていて、快活でしかも、礼儀正しい人、そんな人を尊敬します。

針替 麻利子

愛情があり、いつもほがらかでものとを正しく判断し人のことばにまどわされず、相手の気持になりきれて自分の名誉のためではなく人のために喜んでつくす人を尊敬する。

松崎 朋子

私の尊敬する人は、やさしくて克気心

のある人、苦難にたち向つていく勇氣のある人で、人のためには自分をもすてて人のためにつくすという人です。

豊田 キヨミ

理想の人は自分に対し忠実で良い悪いの区別がはつきりでき意志の強い、また人々には何事にも愛情を持つて接し、いつも笑みをわすれずほがらかな、そんな性質をもつた人です。

新井 順子

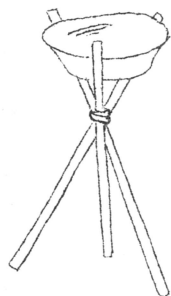
私は父を一番尊敬しています。毎朝四時頃家を出、築地の市場で魚に囲まれて働いているのです。仲買人は重労働です。それでも私達の為に汗を流して働いて下さっているのです。

石川 ひろ子

尊敬する人、つまり私の理想の人格の持ち主。理解があり、けして他人にまどわされる事のない、自分の意見はあ

遠藤 井津野

くまでも主張し、愛と真のかたまりのようなそんな人を私は尊敬する。
理想の人は、他の人の悪口をいつたりしないで、明るく、素直で、積極的な人です。その上に、自己を強く見つめる人です。



私の尊敬する人は、やさしくて克気心

どわされる事のない、自分の意見はあ



活動報告

僕達シニア隊は、現在、リーダー六名と、ブルドック班八名、パツファロー班七名の、二班で活動しています。集会は、毎週土曜日の五時半から七時半までで、毎月第一、第三土曜日が隊集会、第二、第四土曜日が班集会、第五土曜日がある時は、隊集会と決まっております、その月々のテーマにそつて活動しています。グリーンバー集会では、次の隊集会のプログラムを作ります。隊集会では、班集会ではできないキャンプとか、結索、バク材などの訓練又は、何かの行事の準備等を行います。班集会では、隊集会でできなかった残りの仕事とか、もつと細かいことを行ないます。それから、シニアは高校生なので活動になれる頃になると、大学受験の勉強で休隊などをしてしまうので、隊員が少なく、出席率が悪いのが現状です。しかし、現在、隊員が少なくと言つても、集会に出席した者は、短かい集会時間をフルに使い一生懸命活動しています。

また、少数の者ではありますが、カブ隊・少年隊のリーダーと

しています。

(百塚記)

理想の女性像

飯 泉 和 行

理想の女性か……。私の理想の女性とはうんぬん……。とかけるとよいが……。頭の中にあることが具体的にいえない、書けない……。そのうち、書けるようになるだろう。

高 玉 大

女性像を書けといわれてもいままで僕は考えたことがないのでこまつた。だが初めて考えた。まずほがらかでしんせつ、そしてユーモアがあつて、自分の思つたことがはつきりいえる人、健康な人が一番いいと思う。

松 野 光 成

まずぼくが一番身近かな女性は、学校での人と、スカウトでの人がある。その中でこれはという人はまるでいない。この世にいないからこそ理想ということになるのかもしれない。まずやさしいこと。これは一番大事だ。すぐおこる人ではこまる。それから、話があること。話があわなければ、デートできない。そしてきれいな人。それがぼくの理想の女性像です。

今井 雷 太

男性が考える理想の女性像というのは、皆な、同じような事を考えているのではないだろうか。僕は、やさしく明るい女性、親切でよく気のつく人、又、頭の良い人、なんていうことを男性側としては考えているのではないだろうか。だけど、これだけ全部そろっている女性は、いるようでなかなかそういう女性には、会えないのではないだろうか。僕としては、平凡でもいいから明るく、親切な人が僕の一番の女性像だと思います。

河 辺 章 夫

誰でも、理想の女性像を心に描いているだろう。僕も、もちろん、描いている。頭の中では、カラー写真で写っているように、はつきりしているが、今度、理想の女性像を書けといわれたが、文章で書き表わすことは、とてもむずかしい。しかも、字教制限内とは。そこで、これ以後は、ただ、思っていることを、書き並べるだけで、カンニン願いたい。まず、健康な人、明るい人、意志の強い人、優しい人、等、たくさんあるが、なんといつても世界中で一番素晴らしい女性である、「僕の母、以上の女性」の一言につきる。

倉 持 雅 人

人間をやり始めてから十六年あまりしかたつていない。よう

やく人生について考えるようになってきたのに、理想の女性像なんていうのは考えたことがない、と言つても過言ではない。理想の女性像なんてちよつと早すぎると思う。(もしかすると私がおそすぎるのかも知れないが……)まだまだ先のことではない。そんなことを考えるなら、もつと自分について考えてみたい。理想の○○像なんていうのははやつていようだが、我々が理想の女性像なんていう、むずかしいことを書いてどうなるというのだ。第一に、私は私に理想の女性像があつたとしても心の中に秘めておきたい。

須 田 成 幸

僕にいわせりやどんな女の子であつてほしいか、それにこだわることはないと思うね。その人その人が現在持っているものでいいと思う。なぜなら、第一この方が個性が出ていいし、皆が皆同じじや変化がなくてつまらないよ。それに成長して行くにつれて、人間なら少しづつ変わっていくので、今、むりに変えようとしないう方が賢明なんじやないかな。女性、十人十色であり、男性、皆その十人十色のうちの一人だけを好むわけはないので、へんな事に気を廻すより、今、自分の廻りを見た方がいいのでは！

人間をやり始めてから十六年あまりしかたつていない。よう

計 登 夫 人

「理想の女性像」私はよく考える。そしていつも頭に浮かんでくるものは「愛」である。「愛」を持った人、これは大切だと思ふ。その他にいろいろ自分の好みがある。しかし、これはあくまでも理想で成長していくにしたがつて変わっていくだろう。でもここでこれを考える事によつて自分の性格（好み）というものを新たに見出すことができればよい事であると思ふ。

松 本 裕

はつきり具体的にあげると、まず料理がうまい人。親切で心が清らかですなおな人。おちついていてセンスがよい人。適当に背が高く、足が長く鼻の高い人。じょうだんがわかかつて話して楽しくなるような人。目が透きとおるようにきれいな人……etc.、それから少し欠点のある人。

遠 藤 正 紀

ぼくの理想の女性像の一つは母である。一つには頭が切れること、たまにあまりに、頭が回りすぎてこまることもあるのですが。もう一つは、一般に女性は科学に弱いといわれていますが、家の母にその迷信はすくなくとも例外的です。母の父が科学する心をもつていたのか、それがぼくたちまで伝わっています。科学的、又専門的な知識がなくとも、自然と知識はついて

きます。二つ目には努力をするということです。母は足が悪いのですが若いころに、良く山に行つて歩いたので、登山に行つても、若い人をしり目にマイペースで歩いています。もう一人の理想の人は、つきあつても真剣になれる人、ほんとうにお互いに何のうそもなく、疑惑を持たずに、心と心でつきあえる親友に近い人がのぞましい。ただ可愛いとかなんとかでなく。

金 森 宗 登 夫

ぼくの理想とする女性には、なんでもできる人。つまり哲学論争もできるし、スポーツの話をして通じるし、時にはマジシャンなどもいつしよにできるような楽しい人。でもしんみりした所もあつてほしい。換言すれば、どんな人の気持でも理解できるような幅の広い人。どんなにきれいな川も、よごれた川も受け入れる海のように。

北 原 陽 介

僕が、最も理想とする女性には、四つの条件がある。その一。まず、野性の馬の様に、明朗・活発な女性である事。かといって、それが、極端になりすぎては困る。まだ尻には、ひかれたくないから。その二。雪の様に、白い肌を好む男性が多いようであるが、僕は、色白な肌よりも、少し日焼けした、健康そう

な肌の人を好みとする。その三。僕は、可わいらしい人を好む。なぜかという、美しい人は、近寄り難く、またつき合いがしにくい。また、少し極端な様であるが、あまりひどすぎるのも困る。やはり、スマートで、それでいて美しくなく、可わいらしい人がよい。顔ばかりではなく、心の方もまた、大切なことである。(もつとも、強調したい所)。その四。その女性が、いままで書いて来た三つの条件を持つていて、かつ、女性的な感じが多分に感じられる人。女性は、やはり女性的な方がよい。今日の女性は、どちらかというと、男性的な感じを受けるので、四番目の条件を持った女性をさがすのは、むずかしいことかも知れない。最後に、結論としては、お嬢さんのなタイプより、野性的な女性の方が、僕の理想とする、女性像である。

馬場 英幸

普段「あんな女人在い」「こんな女人在い」などと友達と話しをしたりしているが、紙の上に書くとなかなかなかうまく書けない。友達の話しをいろいろ聞いてみると、あまりペラペラしゃべるおしやべりやさんや、又反対に全く無口なおだまりさんも、あまり歓迎されない。そこはやはり気らくに話しかけ出す適当におもしろい(といつても適当すぎて責任感がないのではこまるが……)、そして美人というような条件をもった女性を、僕達高校生は、望んでいるのではないかと僕は思います。

平井 真明

水のような人。丸い器に入れば丸くなり、四角の器に入れば四角になる。消極的に見えるがしかし石を砕く強さもある。



シニフ
のではこまるが……、そして美人というような条件をもつた
女性を、僕達高校生は、望んでいるのではないかと僕は思います。



活動報告

上級スカウト東京第四団が発団して、この一月で九周年を迎えました。先輩の築いた土台の上で現在の上級スカウトは毎日元気に活躍しております。三組編成（一組、七、八名）、リーダー四名。上級章、各部門章の勉強等をお互いに研究しあい、年中行事として、春夏二度のキャンプ、ナイトハイイクと活発に活動しております。パトロール・システムを強化し、各パトロールの特色を出し合い、年ごとに大きく前進している様に見える。今後は「人のために」もつともつと広く手を貸すことの出来る団となつていく様皆で努力いたします。

（菅野記）

理想の男性像

伊藤 藤みな子

私のえがいている男性像は、兄のようになりたい、どんな時でも話しあえて、ちよつとした事でよくよしない強い人が私の理想の男性です。

犬飼 節子

私の理想の男性像は、まずバイタリティーがある事、やはり弱々しい人はイヤです。そして、やさしく、誠実で、スポーツマンで、もう一つ何でもいいが技術を持つている人。以上は、ほとんど内面的なものです。が、外面的としては背が高く、ガツチリしている人、ちよつと欲張りですがこの内面的条件と外面的条件の合わさつた人が私の理想、あくまでも理想の男性です。

宇田川 和子

私の夢に描く理想の男性像は、やさしくて男らしい方です。私がかが失敗してもやさしくいたわつてくれる人。そしていつでも夢をもつて、それに向つて一歩一歩歩んで行く。途中にどんな障害があつても、つらぬいていく意志の強い人。そんな男性が私の理想像です。

鈴木 房子

私の現在の理想の男性は、夢物語のようなものです。歌にもあるように、「夢に見た王子様、白い馬に乗って宮殿の森を抜け迎えに来たの……」とこういう人なんです。夢でお会いした私の王子様は、とつても素敵なお人です。スマートでやさしい人でした。私はもう一度お姫様になつて素敵なお王子様と、馬車に乗つてもう一度だけ、舞踏会へ行つてみたいと思つています。

津布久 真美子

私の理想の男性像は背が一七〇センチ以上で、スキー・水泳・車の運転ができる人がいたらいいなと思います。男優でたてるならば加山雄三です。その人はお洒落に気ばつかり取られないでマイペースで進みしつかりしているからですが、現実にはきびしいと思います。

百塚 るみ子

私の理想の男性像は、現実とはほど遠いと思います。しかし、外面的なことでは、背がスラリと高く、ハンサムな人。内面的なことでは、心がやさしく、親切で、責任感があり男らしい人です。これが私の夢で描く理想の男性像です。

浅野 令子

私はまだ「理想の男性像」などあまり考えたことはありませんが、この機会を利用して、自分の考えをまとめてみました。まず、頼れる誠実な人で、スポーツも得意で一年中真黒い顔をしているみたいなお男性に好感をおぼえます。また流行を次々に追いかけるのもイヤですが鈍感でもこまりものです。これらはあくまでも、理想なので欲ばつてしまいましたがこんな男性が現われたら最高だと思つています。

石井 真子

私の理想とする男性像は、スポーツ万能、背が高く、顔が黒く、信頼のできる人です。しかし、この理想は一般的で誰でも考えることなので、もつと深く考えてみようと思つきました。考える事一ヶ月、しかし結論は出ませんでした。そして原稿の提出日の締め切りの締め切りまでできてしまいました。今瞬間にひらめいたことは要するに、私の理想とする男性像は、どこかの会社のお薬の様に「中味の濃い人」です。

五十嵐 麻利子

私達の年頃になれば、異性に対し無関心な人は一人もいないと思つて。級友との話題にしても異性のこととなるとちまちま意気統合してしまふものです。しかし私は、女ばかりの姉妹でし

かも中学以来女子だけの学校に通つていたためか男性を余り知

小林 小百合

かも中学以来女子だけの学校に通っていたためか男性を余り知らないで育つて来た。その為に、男性論と言う物を皆とはり合つて話す事が苦手です。従つて、理想の男性像を考えるならば、それは素敵な夢の中に出てくる王子様の存在に過ぎない極めて単純なもの様です。

岡 本 篤 子

ずばり理想の男性は？と聞かれて私は答にとまどつてしまふ。卒直に言えば、外見より中身、心が暖かく、思いやりがあり、やさしく、その片面、行動的ではつきり意志が通つている男らしい男の中の男という人と言つてしまふ。しかし、今のこの時代にはたして理想だけをおつていてよいのであるうか。

川 真理子

「理想の男性は」といわれてもすぐには、こたえられない。なぜつて今の私の年では「男性」といわれてもピンとこないからだ。背の低い人よりは高い人とか、頭の悪い人よりは良い人のほうがいいとかいう、好き嫌いはもつてゐる。でも理想のといわれると、それに理想にあこがれるほど現実がいやになつていないので、今は答をだすことはできない。

と思う。級友との話題にしても男性のことになるとなやまやま気分統合してしまふものです。しかし私は、女ばかりの姉妹でし

小林 小百合

- 一、自分の考えを持ち深く物事を考え行動する人。
- 一、人の心を思いやり常に謙遜な心を持つと共に機敏な判断の出来る人。
- 一、男性らしくたのもしい人。

小松 節子

誰でも理想は高いと思いますが、私もその例にもれず、あんな人がこんな人かといろいろな男性像が思い浮びました。男らしく、一つの信念を持つていて、それをやりぬく意志と実行力のある人。スポーツマンでウイットに富んだ優しい人。包容力のある人。この中のいくつか備わつた人が私の理想です。

高 井 町 子

理想の男性を、一人のタイプとして描きだすことは、私にとつてとてもむずかしかつた。そこで、私の知つてゐる限りの男性の中からそれに一番近い人物を捜してみた。それは「風と共に去りぬ」に登場するあのたくましい男性、レッドバトラーである。彼のやさしく、何でもやりぬいてくれる人が私の心を引くのである。

中川 晴江

今あらためて「理想の男性像」といわれてもすぐ答えることはできない。なぜなら、私が小さい時ならすぐ「生活力のある人、ステキな人」などたわいもない事を言えたかも知れないが、小学校いえ幼稚園の時以来男女共学の中に育つた私。男子生徒というものを少しなりともわかりかけた今……。そして、少し大人になりかけた今……。私には答えるべき言葉はない……。

中谷 八重子

突然「理想の男性像」という題で文をつづれと言われても、サツと答えられない。幼い子は「あこがれ」的なものとして、理想の男性像というものがあるのだが、知識の色々と増してきた現在、全てのことを考慮して考えてみると「理想」と思い浮かべられる事ができない。悲しいことである。実際にいなくてもよいのだが、理想を高くもつと現世の男にゲンメツを感じ妥協になつてゆく感じがする。現世の男が理想にほど遠い男どもとは思いたくない。

諸角 明子

私の理想の男性像は、まず自分にまじめであるということ、なにごとにもおじけずに立ち向つていくだけの勇氣、外面的にずうずうしくではなく、内面的に秘めた氣持を持つている人。

何ごとも自分から進んでいけるだけの人が私の理想の人、そういう人は現在の都会人から失われていくものだ。そういう人もとめる。

和久井 文子

左記が私の理想の男性像です。

- 一、背の高いこと。(せめて私より)
- 二、私に対してやさしすぎないこと。
- 三、ステイブ・マツクイーンのようなセンスの持ち主。
- 四、お金のある人。

赤尾 千佳子

私の理想とする男性は親切である事を第一条件としたい。それは人間に対しても事柄に対しても、どんなささいな事でも一心に考え、行動できる人。どんな人間に対しても心から接することのできる人。例えば宮沢賢二のような緑の下の力持ち、又、スカウト精神を多く持つた男性を理想とします。

ずうずうしくではなく、内面的に秘めた気持を持つている人。



ローバー活動報告

十五周年記念に湧いている、靈南坂教会の一室にて、十三名のスカウト各自が胸にフアイトを秘めて、青年隊の発隊式が開かれた。

その前年、年長隊を卒業した四名が青年班を作り、英国や米国の書籍類を読んだり各方面の勉強をし、我団独特の隊カラーをも研究した。この努力が今を誇る我隊の基盤である。

我四団団史に残る名隊長の今田氏を頂点として、副長と隊付を一名、年少隊、少年隊、年長隊の隊長、副長、隊付に奉仕をしている隊員がおります。奉仕は我々の第一の仕事です。

重大な、夏季キャンプは他の隊の奉仕キャンプに参加する為なかなか全員が集まれないので一昨年より、青年隊軽井沢ミーティングをやり静かな環境の所で今後の計画を練つたり、デイスカッションをします。

今、五ヶ年計画を実施しています。その為、ボーリング親睦会やダンス・パーティーをやりその資金に当てています。

贈られて二十周年を迎える今日迄、四団青年隊は隊員各自の常日頃の訓練を基礎に、各方面に於いて活躍して来ましたが、より一層自己を研磨し、明日の為に努力しますので御期待下さい。

(加藤記)

人生観・スカウト観

万石俊夫

十何年間スカウト生活をしてきて、なにも感じないできませんでしたと答えたら馬鹿かと思われるかもしれないが、さてと考えるに、しいて答えはといえば十年間スカウトをやつてきたというのが答えであるような気がする。それは大変魅力のある生活だからではないだろうか？ それだからこそ十何年間もスカウトをしてきてまだやつていきたいという気が起きるのだと思える。さてその魅力はといわれるとその生活すべてが魅力なのである。大自然の中の生活、スモッグをはなれての新鮮な空気の中での生活、スカウト活動一つ一つが大変魅力のある生活だとぼくは感じている。やめることのできない活動、そしてぼくを引きつけておこなうかわからないがそれをもっているものがスカウトだと思つている。

高橋恒久

私は、カブからローバーまで一貫して、一応のスカウトイングリッドを体験し、一番私が興味を持ち接することが多かったカブスカウトに、焦点を合わせました。

実際に今までリーダーとして奉仕して来た現在、カブスカウ

トに対して、五つのカブの”おきて”があるように、私も自身自身に対して五つの”おきて”があります。それは、毎週土曜日に教会へ着く前と、集会の終つた後に開いている帳面の最初の頁に書いてあります。それは次の様に書いてあります。

——集会の前にもう一度読むこと——

1. カブに「君は駄目な子だ」と、決して言つてはならない。
2. 年少隊で行うゲームやソングから得られる収穫は、計り知れない。

3. 自分自身が時間を厳守出来ないようでは、スカウトにそれを、望むべくもない。
4. プログラムはいつも新鮮であること。

5. 仕遂げた事物に対しては、大人の立場で考えずに、子供の立場で見えてあげる。

この五つの”おきて”を、集会後の自分に当て嵌めて見ると完全に出来たことは今だかつてありません。どれかがアンバランスです。それから、この五つの”おきて”は、どの隊のリーダーでも当て嵌まると思えますから、実行できるよう努力して下さい。

最後に、父兄の方へお願いいたします。カブはもろろんの事、ローバースカウトまでの、スカウティングへの理解と協力を切望します。

伊 藤 洋 子

毎週土曜日の午後集まつてくる楽しい、賑やかな動物達の間では沢山のことがあります。りすは入つてすぐには”やくそく”を覚えることに一生懸命になり早くうさぎのようにとびまわりたい、そしてうさぎ達はしかと同じように動いてみたいと……。すると組長・次長はみんなをまとめて誰かが一人だけ残つてしまわないかといつも気をつけてくれます。私達が何も言わずに見ているとそれがよくわかりますし、又小さいながらも頼もしくなつてくるものです。一年二年と過ぎて行く内に自然と協力することを学び少なくともカブの中ではわがままを見せることが減つてきます。やはり一つの目標に向つて年の違つた者が一つになつて活動しているからではないでしょうか。許されることならこのすばらしい時を通じて多くを経験し元気に巣からとび出ていつてほしいと願っています。

鈴 木 徳 子

私は小さな子供が大好きである。人間の持つ醜さを知らない子供達と接するのは本当に貴重な体験である。私が末つ子として常に暖かい、そして幾分過保護な家庭環境に育つた事も起因して子供、特に幼児に対する関心が強くなり現在大学に於ても児童心理学を専攻している訳である。口の悪い友人は、小さな子供ばかり相手にしているのは私の精神年齢が彼等と非常に類

似しているからだと言う。確かにそうかもしれない。理屈や空

の人々に、その喜びをわけ与える。この精神を、養いのはず為

似しているからだと言う。確かにそうかもしれない。理屈や空論に近い理想ばかりこねまわしている様ではDMには到底成り得ない。児童心理を学べばそれだけBIPが子供の心理を適確につかまえている事に対し感嘆せざるを得なくなる。人生のある時期に彼の始めたスカウティングに直接参加出来た事は幸せである。どうもリードする立場に欠け、人間的欠点を残しており、スカウトから教えられる事のみ多い少々頼りないDMではあるが私なりにスカウティングの喜びというものを感じている。

増 田 純 子

土曜日、時計の針が一時をすぎると、ソワソワ仕事に身が入らなくなる。坂をかけ登つていく時、カブの元気な声が響いてくると、自然足も早まつてくる。

「デンマザー」と呼ばれる様になつて、もう三年、ぐつたりと疲れ果てた初めてのキャンプ、割に楽にすごせた事を、かえつて、反省した三度目のキャンプ。

あの興味しんしん、いたずらばかり考え出すくるくるした目、おとなしい、はにかみがちの目、皆の前で歌う時の真剣な目、競争心に燃えたつ目、この純粋な目の期待を裏切らないことの難しさと共に、神の大きな愛をカブ達に知らせる事に対する力の不足を痛切に感じる。自然界の小さな変化にも敏感であり、それに感激し、その背後に居ます神に感謝する。そして、多く

の人々に、その喜びをわけ与える。この精神を、養いのはず為に、私達リーダーは、どれ程の努力をしているだろうか。

私達に与えられている使命と責任の重大さを、改めて考えてみる必要があるのではないか。

渡 辺 和 子

私がスカウトと今日まで過ごして来、早三年になりますが、その間楽しかった事、苦しかった事、いろいろな思い出が浮んできます。私は社会に出て学生時代とは違つた大人の世界に入り、その風当りは私が想像する以上に厳しいものでした。ともすれば、それに打ち負かされそうになつた時に私の心を救つてくれたのがスカウト達の純真の心であり、又他のリーダー達のスカウトに対する、熱意ある奉仕精神なのです。私が今日までスカウト達と接してきたことが私の人生において多大の精神的利益をもたらしたと思つております。又同時にスカウト全員、各リーダーの皆様に心から感謝致します。

関 口 敦 夫

ボーイスカウト教育は男らしい男を作るところと昔から言われている。その完成年令である青年隊の活動に人生への一つのポイントになる重要な要素が秘められていると思う。男らしい男から父性教育へ。一口に言つてよき父親になるといつても結

子供ばかり相手にしているのは私の精神年令が彼等と非常に類

婚の問題が直面していない僕達にはそれほど真剣なものではないが、よい父親になるといふことは、人格的、経済的、社会的にまずりつばな男でなくてはならない。これはとてもむずかしいことである。しかし、これらを短期間で可能にしてくれるところが青年隊であると信じている。入隊して以来今迄に多くの作業や問題をして来たことがすべて社会性をもつた人間を作る為の手段にであり、スカウトに入つたすべての人が問題をのりこえて、よき父親になる事を希望したい。又、自分自身もその一人となる為の努力はおしまないつもりです。

大内 丘

今の僕の生の理想は、現在というとかく刺戟の多い時代に外に向つて分散してしまいがちな心をひきしめて、まず内面すなわち自分自身に集中することである。いかえれば、あくまでも自己を掘り下げて内的反省に徹することである。これは決して感傷的になつたり感情に溺れたりすることではない。決断と実行に向つて進み、どのような多くの困難の中でもそれを失なわない精神的な自信を持つことである。そのために特に理性的精神の力を振り起し、低俗なもの価値のないものにふり向かず、真理と正義を識別し、高貴なもの永遠のものを愛する精神を養うことにあると思つている。

戸田 健次郎

人生観を辞典で引いたら、「人間に対するかんがえかた」、「人生の目的や意義などについての見方」とでていた。どうして辞典を引いたかは、人生観がどんな事であるかをしらないよな気がしたので。辞典を引いてもむずかしい答が出ているだけだ。そこで人生とはとした。人生には、楽しい事、苦しい事、悲しい事と、いろいろあるけれど、楽しい事はあまり心に残らない。しかし、苦しい事や悲しい事などはいつまでも心の中に焼きついてしまう。キャンプに行つて苦しい事や悲しい事があつてもみんな力を合わせて、いろいろな事を乗り越えて来た。

そしてこれから社会に出て行けば、いろいろ苦しい事があるし、悲しい事が出て来ると思ひます。しかしそんな事でへこたれないで力の限り戦つて行きたい。しかし向うでもこれでいいと言ふ事はないと思ひます。少しづつ前に進んで行く。ポートをこぐ時に前は見えない。でもカヌーは前を見ながら進んで行くことができません。でも水はいつも静かな時ばかりでない。時には流れが速くなつたり岩もある。それをのり越えて来た。そして人にめいわくをかけない。そして人になにかをたのまれたりした時に「ハイ」、又、なにかしてもらつたら「ありがとう」と言うように。今の時代は、人に何かをしてもらつてもあたりまえのような気持の人が多いが、スカウトの時だけでなく社会に出てスカウトの時と同じようにすこしずつ前進して行きたい

と思います。

沢田 明 秀

人生において、スカウト生活から得るものは、友情と自分自身を見つめる力がやしなわれる事である。スカウトにおける友情は、学校の友達や近所の幼な友達とは少し違うのではないかと思う。何故、スカウトには班長や次長などがあるのか、又隊長や副長のような役目があるのか、それは、自分や他人（友達）の仕事の中に育つ友情ではないかと思う。自分の仕事や責任を通して、又、他人の立場を理解する事によつて、育てていくのではないだろうか。ボーイスカウトに、班長や次長の役があるのは、封建制度的身分階級をおしつけるのではなく、あくまでも、経験者としての班長であり、次長であるはずである。

自分を見つめる力と言うのは、キャンプやハイキングを通して、体力や技術を習得し、上級になれば、その技術を用いて、自分を試みるのである。より上へ行けば、対人関係などを考えたり、練習などの方法の検討などを行つて、自分の能力を見つけて出して行く事ができるのだと思う。

大浜 良 友

カブを卒業し、ボーイスカウトになつて初めてのキャンプの時に僕は半分に切つた大学ノートをもらいそれに日記をかか

出てもスカウトの時と同じようにすこしずつ前進して行きたい

されました。そのノートの最後のページに各リーダーの言葉がかかれています。その中に、「良いスカウトになる早道」として、「人のお世話にならぬ様、人のお世話をする様に、そしてむくいを求めない」とある。この言葉を思い出すたびに自分はまだ良いスカウトになれていないのかとがっかりし、永久に良いスカウトにならないのかと思つたりする。それでも、この言葉は自分のスカウティングあるいは人生にとつて一つの柱となつていようです。どんなにかつらかつた奉仕もリーダーとしてのキャンプも終つて振りかえつて見ると、無事に終つてよかつた、楽しかつたと思えてくる。そしてそれだけで充分だという気になれるのもこの言葉を知っているからこそだと思ふ。これからもこの言葉を自分の人生の、スカウティングの柱としていくつもりである。

佐藤 洋

日本の近い将来を背負つて立つ我々青少年にとつては、ボーイスカウト運動の力は大きな役割を与えられているものと考えられます。私もスカウト生活を通じて常々教えられる事の一つは社会（集団）にとつて規律と言う事が大切であると言う事です。それはなぜか、独立心を養うものだからです。カブスカウトの頃より、厳しく規律を重んずる心を教えられ、養なわれていれば、それは人を頼らず、人に迷惑をかけず、人に協調の心

を与え、社会生活の根本的なものを身につけるでありましょう。

カブ（少年）の頃よりスカウト活動を実施することにより与えられた、規律の心はボーイになり、更にはシニア、ローバーと進むことにより、実行力の伴つたものとして養われ、長じて日本人の格調高き社会人として成長して行くものと思われまゝ。又子供心にも規律ある行動が大切である事を知るならば、家庭でも学校でも、独立独歩の精神に自然と結びつくと思ひます。スカウト生活は楽しいものであり、基本を作るべき活動と考えます。そして規律は強制された統一力ではなく小さな一つの自力でやり抜く心であると思ひます。小さな心を育てて行く事は忍耐力を養成し、人間形成の基本となるものであると思ひます。精神育成の根本が規律から生れると確信します。私はここにスカウト活動を通じてえる事は規律が主であると確認したいと思ひます。そしてスカウティングに大いにはげみたいと思ひます。

渡辺 誠

僕がスカウトに入つてから八年の年月が流れました。しかし僕には、まだ自分自身これだと言うスカウト観という物はありません。しかし僕は、スカウティングとは社会を小さくしたような物だと思つていますし、スカウティングをすることによつてスカウトは対人関係を修得し、より良い社会人を育てるとこ

ろだと思つています。

百塚 健一

スカウトとは、一口に言つて、団体活動の重要性、又、楽しさなどを知り、それを、社会に出た時、楽しく他の者と共に、協力して行くことの出来る者となる為の準備過程と考えても、過言ではないと思ひます。

又、自分が、人を使う立場に立つた時、この過程が、しつかりしたものであれば、その人員を、有効に使うことの出来る者となると思ひます。現在のスカウト（僕も含む）を見てみると、マンネリ化したように思えます。土曜日の決められた時間に、集まつて、時間がきたら、解散するといった風なのです。内容にしても、リーダーに立ててもらつた一日の計画を、たとえ不満な所があつても、あまり反論しないで、そのまま服従するといった様に、僕には思えます。又、精神面にしても、この様な、活動状況では、向上するはずがないといつても、過言でないと思ひます。別れの歌にあるように、一度、スカウトとして誓いを立てた者は、死んでも、スカウトであると、本当に思ひます。

形は無くとも、その人の、努力、行為、精神は、その人の近くにいた者には、その、良い所だけが、残るものだと思います。

僕は、今一度、創立した当時のこと、創立してから、この

リ
てスカウトは対人關係を修得し、より良い社会人を育てるとこ

僕達は、今一度、創立した当時のこと、創立してから、この

ジ二十年間を、先輩達は、どの様に活動してきたか、先輩を通して知ることが出来ると思いますが。話を先輩に聞いても、当時、辛かったこと、失敗談などを、面白く、楽しく、聞かせてくれることでしょう。

そして、この過去二十年間を、顧みることが僕達スカウトにとつてどれ程重要であるか、又、顧みなければならぬかは、現在の、スカウト活動をしている者、見ているものにはわかっていることと思います。

諸君、僕達は、先輩の築いてきた、この、二十年間の、苦しみ、楽しみを心に刻み、四団独特なものを新たに、僕達の手でつくり、身につけようではないか。

加藤 理夫

十四年前のある夏の日、母と一緒にボーイスカウトに入隊したく靈南坂教会に来ました。その時スカウト達はキャンプの為の装備点検をリーダーに見てもらっていました。初めてのキャンプの時、あれもこれも持つて行き、自分の背の高さより大きい重いリュックをかついで長い道を歩き一週間もスカウト達だけで生活して来ました。途中でホームシックにかかり、泣きたくなつた事もありました。

スカウトの頃は、隊長のやる事、話す事全てが素敵で、あこがれました。

初めて隊付としてキャンプに参加した時は、あまりのむずかしさに驚きました。以後いろいろな隊のリーダーをやりましたが、それぞれ違つたむずかしさがあり、良い勉強になりました。リーダーとして指導面でこまつた時は、自分がスカウトの時、隊長の話しを想い出し、手本にしています。

時代も環境も変り、今のスカウト達に、昔になかつた、現在でしか感じ得ない喜びを味わって見たいと思つています。

社会に出て二年の今日迄、ボーイスカウトを続けて来ました。が、団体生活で築き上げられたものが社会人としても非常に役に立ち、スカウトをやつていて良かったと思つております。

古矢 紘一

私がスカウトへ入隊したのは、小学校三年生の頃である。もつともこの頃は未だ正式には発隊しておらず、制服もなかつた頃である。その頃からもう、早十三年の年月が過ぎた。今考えると、スカウトにおいても、毎日の生活においても何の苦勞もなく、ただ親の躰を頼りのほほんと暮してきた。だが人生はこれからである。過去でなく未来である。何故ならば私は、八十才まで生きるとして、未だ四分の一しか過ぎておらず、後四分の三があるからである。だがこの四分の三があるからと言つて何の志もなく、ただ人生の道に足を踏み入れるのでは何の意味もないのである。この先どんな障害があるかは、わからないが

どうせ一度しか生まれてこない世の中ならば、心を英大に持つて生きれば、又人生が楽しいであろう。

河内 潔

生れて十八年十一ヶ月、昔の人は、人生五十年と云っている。現在、日本人男性の平均寿命は約六十八才である。六十八から五十を引くと、十八である。ようするに、私はまだ人生と云う航海において、十一ヶ月しか、進んでないのである。後をふり返つて見てみれば、陸地がはつきり見える所にいるのではないだろうか。これから先、何も知らぬ未知の海への航海である。もちろん、自分だけの事であるが、海図はない。今まで進んで来た所は、薄明るく、これから進んで行こうとする所は真暗である。たよりになるのは、今まで勉強（色々な意味での）による知識と云う投光器と経験と云う後からの薄明りだけであるが、一センチでも、一ミリでもいいから、常に前進したいものである。人生を前期と後期に分けて、その半期を五つに分けて、一つを、五年とする。人生、第一次五ヶ年計画の十一ヶ月目である。やつと、五ヶ年の後の四年間の計画がだんだんと立つて来たのが現状である。少なくとも、私の人生には、十の段階がある。最初の五年間に五十年の計画は、たためてであろう。この五年間に、完璧な土台、嵐が来ても、地震が来てもビクともしない土台を作る事に専念したいと思う。そのあいた時間に、未来

への計画を練り上げて行きたいと思う。

内 藤 正 樹

学業生活に入つて、十三年目になるが、僕は「ししし」であるといえる、性格、趣味、スポーツその他あらゆる代名詞で表わせない。あの学科は君の得意とするものではないか？　こういうものが君の性格を一番良く表わしてはいないか？　あれを集めているのは君の趣味だつたナ、などといままで、僕に向つて口を開く者がいかなかった。これはどう理解したらいいのだろう。中学、高校時代、小遣、身体、脳（？）が続くかぎり趣味、スポーツなどあらゆるものに手を出し、八方美人になつて喜んでいた。その結果、僕という人物の特徴、つまり、世の中に僕は一人しか存在しないのだという人生観を、もみ消してしまつた。今後、残り少ない数時間の学業生活を僕、一個人を乗上げる、ために全力を尽していきたい。





レンジャー 活動報告

人生観・スカウト観

堀越 紀代

私達の団は、スカウト数十名。ブラウニーやガール・スカウトと比べたらなんと少ないこれで成り立つのかしらと思われるでしょう。でもこの少ない十名が、がつちりスクラムをくんで黒部リーダーの下に一生懸命スカウティングにはげんでいます。皆、それぞれ、他の団の奉仕をしてリーダーでありスカウトであるという一人二役をしているので時間的、精神的、肉体的にも大変ですが、そこには好きな者同志の集まりとも言えるのでしようか、土曜の夕方六時半になると集まって来ます。九月の世界会議が終つたあと、一泊キャンプやオーバーナイト等々、楽しいプログラムを過ごして来ました。これから先、日を重ねて、もつとしつかりした根をおろしたいとスカウト一人一人大変はりきっております。

(中谷記)

一言でいう私の人生観は、何事に於ても常に前向きな姿勢で有りたいと言う事です。兎角、矛盾の多い現実の社会では、目の欲望に捕われがちですが、それでは、幸せも瞬間的な、ほんの些細なものでしかない様に思えるのです。平凡で地道な生活の中でも、自分自身が前向きな姿勢であつたならば、歩み行く人生も豊かで充実したものになるでしょう。現在、未だ若い私は、何事も経験の段階にあります。未来の可能性が十分ある時期をぼんやりと過ごしてしまわず、良い面を吸収し、身のある人間になる為に、すべてに貧欲で有りたいと思いません。たとえ、どんな障害にぶつかろうと、それに挫けてしまわず、苦しみの中から何かを学びとる……そんな気持で物事にぶつかつていきたいのです。利害関係の多い都会に住んでいると、つい忘れがちになつている、人を信ずる心、人に感謝する心を忘れず、年をとつてから、今迄の人生経験が物語つてくれるような、誰からも好かれる、表情豊かなお婆さんになれる様、日々努力したいと思つていきます。

伊藤 由紀子

今、ここに自分の人生について述べるなんて、とつてもはばかりしい気持ちです。自分の心に思っているだけならいいのに……。今まで過ぎてきた人生は、何の変化もない、たゞの足跡でした。が、これからの人生への望みのすがたは、一口で言うと、平凡ということになると思います。そして、私は心の奥でいつも幸福を求めています。物質的幸福でなく、心の幸福を。

黒部 峰子

土曜日に靈南坂教会に来る様になつてもう十年以上になる。その間に多くの友達が止めてしまった。長いだけで何も出来ない私。でも、遅いながらも何かを身につけることが出来た様な気がする。これからの長い人生で後悔することがあつても、前向きな生活を送つて行きたい。

檀上 とも子

私は人生とは登山と同じであると思います。登山する時のあのつらさ。しかし、それをのりこえ目的地に着いた時の喜び。苦しいからといつて途中で終わる様であつたら無意味であるし、何をしてもうまく出来るはずがないと思います。我々は常にいろいろな波にもまれ自分自身それに打ち勝つてこそ、一步一步前進し、成長して行くのではないでしょう。

蓮見 康江

私の信条は広く幅広くで、何にでも興味をもち、広範囲にある程度まで習得したい。そういう私に山脇のリビングアート科の設計・図案・美術と広範囲な科目は、私の気持ちを満足させているし、私にとつて必要だと思つている。これらの私の気持ちの核になつているのが好奇心です。そしてその好奇心は多くの人々と接し話すことによつて自分の成長があると思う。これからも大きな変化がない限り、このような気持ちで行きたい。

内山 宏子

「運命」というものは神が考えるもの、人間は、いや私は私らしく働いていけば良いと思つている。神はこの世の中に私が必要だからこそ住まわせて下さる。だから私は生きているのではなく神によつて生かされているのだと信じる。しかしそれをどう生きるかは私の責任であるが……。二十数年の才月が流れるその中で私の歩むことの出来た一步一步は神から与えられた苦しくもあり、楽しくもあり、おもしろくなく、つまらない人生。でも私はしあわせ

高村 美枝

ガールスカウトは、私の生活に大へん影響しています。スカウトの頃は、週一回の集會も何の目的もない儘、楽しみにして

制服を着て行つた。お友達に「集會は何するの」と聞かれても

日を送れるようにしたい。

制服を着て行つた。お友達に「集会は何するの」と聞かれても

即座に返事が出来ないさまであつたけれど、何を差置いても駆

けつけた土曜日でした。「スカウトテイング」という言葉を深く

考えていくと、私は円満な性格を持つた人間。女の子として、

妻・母・全ての立場から見ても理想の人間像に思えます。しかし

人間、欠点のない人はいません。一步理想に近づいたなら、又一

歩理想を高くする。いつも目的に向つてゐる姿は美しいもの

です。スカウトは幸い、「やくそく」と「おきて」の二つの心

の糧を持つています。いつか突当る壁も乗切つて欲しい。私も

例え唯一一人の人を幸福にする事であつても、この心の糧を与え

て下さつたガールスカウトにお返ししたいと思います。

馬場 典子

二十代になると、人生の1/3(?)は歩いた事になる。小さ

い頃いだった夢を一つ一つ実現させて行きつつある現在、何を

考え行動して来たか? 私は自分の好きな事をしてとても忙し

い日を送つて来た。その中でやはり忘れられないものはスカウ

テイングです。スカウトとしての年数は少ないし、まだまだB・

Fの本当の精神を理解していかないかも知れない。又学生時代と、

お勤めた現在とは精神的に違つてきている。がやはり、あの

「やくそく」「おきて」を良くかみしめ、又忙がしさに紛れず、

常に謙虚な気持で静かに自分を見つめて行動し、悔いのない毎

日を送れるようにしたい。

中谷 和子

若い私達の人生の道は目の前に大きく長くつづいてゐる。目

をみひらいてよくみると、それは希望に満ちあふれる明るい道

と、進路のさだまらない暗い道の両方の可能性を含んでいる。

そして私達はこの前者と後者を選ばなくてはならないし、又現

在の行動ですでに選んでいるかも知れない。人生は日々をつみ

重ねであるから、つみ重ねられるであろう将来をみるのも良い

が、今日という日があるからこそ、明日もその次の日もやつて

来られるのだという事を考えると、毎日毎日やつて来る今日と

いう時間を大切に真剣に有意義にもち、悔いのない日々を重ね、

希望の明るい道がひろがりつつあるように望みたい。

田中 恵子

「人間は自分の持つてゐる心の傾斜に従うがよろしい。それ

が上に向つてである限り。」というジイドのことばを思う時、

自己を反省せずにはいられない。より安易な道、安全な道を選

ぼうとしている時、私は下り坂に向つて立つてゐるのだ。神か

ら与えられたかけがえない人生。いつどんな時にも決して

後悔することのない人生でありたいと願つてやまない。人それ

ぞれの顔つきが違ふように、私たちはそれぞれ異つた個性を与

えられている。この個性を自分なりの方法で磨きあげ、他の誰でもない「私」という個人を確立したい。そしてこの個人が他の個人と互に手を取りあい協力しあつて、絶対なるもの真実なるものを仰ぎつつ、一步一步的に向つて前進していくところにスカウティングの眞の方向が見い出せると確信する。

岸田 久代

私はスカウト運動が大好きですが、最近その實際面に対し疑問を感じる事がよくあります。スカウト運動は「少女達が将来よき公民となるように」という趣旨で始められ、これは現在でも変わらないスカウト運動の目的です。もちろん私がスカウトであつた頃、私にとつてこの運動はすばらしいものでした。

「スバラシイものであつた」というのは、大きくなつて団の手伝いや支部の手伝いをするようになって多くのスカウトらしきぬことにならなくてはならなかつたからです。彼等は女性として知つておくべき事はもちろん非常に多くの知識を持っています。その上に女性としてのくだらない性質をも持っています。少女が将来よき大人となる」という意味は外面的なものでなく、内面的な意味も含まれているはず。私達は精神をも高めて行かなくてはなりません。それが本当の意味のスカウティングではないでしょうか？ ここでスカウト運動とは何かを、もう一度考えてみる必要があると思います。

山崎 光

スカウト歴が全々ない私が、他のスカウト達を多くの場合においてリードしていく立場にあるレンジャーに入つて、これが今少し前までリーダーとして活躍していた人達のグループなかと考えさせられる点が多分にあります。同じ日に集会有るため、リーダーとしてスカウトとしての活躍を分ける事は困難な事かも知れませんが、レンジャーの集会の際には皆がスカウトにもどり勉強していくべきだと思ふのです。いろいろなグループに分散していた人達が一つのグループにもどり、うちとけて仲間になれるような、そんな雰囲気を作り出す事も一つの課題だと思ひます。それによつて、皆がレンジャーの集会に何のこだわりもなく出席できるように、これから努力し団結した一つのレンジャーというグループを作つて行くべきだと思ひます。

劉 宝栄

人間はだれしも幸福でありたいと思ひます。健康である事はあらゆる人間にとつて最も大切な事であり、他のどんな条件が満たされても健康でなかつたらその人は本当に幸福であるとは言えないでしょう。健康でありさえすればどんな貧乏でもどんな苦しい境遇にあつても幸福なのだと思います。人生とは、お互の生活の中にささやかな幸福を見出し、それを守り、さらに勇氣と希望をもつて生きていく為にお互の生き方につい

て感じた事、考えた事を語り合ひながらそのことを通してお互

カウト時代には学校とはまつたく離れた友を得ることが出来た。

て感じた事、考えた事を語り合ひながらそのことを通してお互いの中の矛盾や疑問を解きほぐして人生を明かすべくして行くところに希望があると思ひます。幸福も一人ではやつて来ないし不幸も一人ではやつて来ない……そのいずれを自分の物にするかはその人によるのであつて他の人による物ではない……という事を人生の出発点において自覚することは決してむだな事ではないと思ひます。

菅野 秀美

入団する時に、誰でもが最初に先輩から教わる「やくそく」「おきて」そして標語の「そなえよつねに」各々説明してもらい頭で理解して入団する。そして一人のスカウトとなつてからこれらの事を頭で理解するのはたやすいが、身体で表現することがどんなに技術的な事と違つてむづかしいものであるかを知りこれらの事一つ一つを私は私なりに最善をつくし、悔いなき人生でありたい。

大石 みち子

私がガールスカウトを知つてから五年。あつという間に過ぎてしまつた様であるが、その活動の一つ一つを考へてみると、あまりにも多くのことが思ひ出されてくるのに驚く。その活動において色々な人との関係は切り離すことができない。特にス

カウト時代には学校とはまつたく離れた友を得ることが出来た。その多くは今四団に残つておらずわずかな間の交際ではあつたけれど、彼女達の間には強いつながりを感じ、ふと思ひ出すところがある。又一年に二、三回ではあるが、手紙の交換を続けている友もある。これからもリーダー達の間、スカウトに、ボーイスカウト関係に、広くは世界に友を得ることを知ると、スカウト活動から離れられない自分を感じるのである。

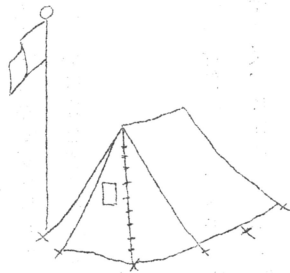
長谷川 十恵子

人は夢を持っています。背伸びして、両手一杯広げても届かない大きな夢もあります。又、ヒヨイとポケットに入つてしまふような小さな夢もあります。どちらもあなたの心を豊かにするものです。さあ、夢もチボウもないなんて悲観せずに、手掌一杯の夢をお持ちになりませんか。

針 替 千恵子

スカウトはこの二十周年を迎え、大きく一つの飛躍をしなければならぬと思ふ。ここで靈南坂のスカウトとして教会との関係を考へてみたい。今までは単に場所を貸している借りているの間柄であつたため、両方の意志が通じずお互に偏見を持つて見てきたようである。スカウトはやつと二十才を迎え、教会はその何倍かの八十七才である。この年の差から見ても、おじい

さんと孫の関係にあたり、これからは孫はおじいさんを労わり、おじいさんは孫を監督するような仲になりたい。これには、スカウトは礼拝に出席し、教会側はスカウトに関してもっと積極的に飛びこんできて理解してもらいたい。その点では一月に催された奉仕者修養会には十数名のリーダーが参加して生きた枝としてつながったという感じがした。又、愛餐会の御食事を隔月にレンジャーがする様になつたこともお互いに理解するよい場所となつている。チャーチスカウトとしての成長を祈る。



カブ キャンプ

されました。きょうやることでいちばんおもしろいのは、ピクニックとキャンプファイヤーです。ピクニックの方は小室山に

カブキャンブ

カブスカウト
三 武 信 夫

ぼくはカブスカウトに入つてはじめてのキャンブなので、どんなことをやるのかちよつとしんばいでした。どうぐをしらべのために七月十六日はてんけんの日でした。ぼくはもつていくのをわすれてしつばいしました。しゆつばつの日までいろいろなものを出したり入れたりしてれんしゆうしました。いよいよあしたの日になりました。うちの人にはやくねなさいといわれても、そのぼんはなかなかねむれませんでした。その朝おくとおもつて早く早くとぼくはおかあさんにいいました。東京駅についた時、ちよつとしゆうごうにおくれました。電車にのつて三時間ぐらいかかつて伊東につきました。バスにのつて伊東ユースホステルにつきました。ついた時にぼくは、ちよつと古かつたからもう少しきれいにすればいいのにと思いました。すぐかいかい式をやりました。おべんとうを食べてから組のへやに入りました。ベットからおちるといけないから注意していました。ひるねの時間の時は全ぜんねむれませんでした。そしておやつを食べました。組しゆう会はへやのかざりなどを作りました。だんだん時間がたつて夕食になりました。やつとてんけんになつておきました。よく朝早くおきたのでたい長に注意

されました。きようやることでいちばんおもしろいのは、ピクニックとキャンブファイヤーです。ピクニックの方は小室山にいきます。山道を歩いていくところにせみのぬけがらが落ちていました。だんだん歩いていくうちにちよう上のすぐ下でしゃせいをしました。ずうと向こうに海があります。そして時々電車がとりました。組しゆう会は山からとつてきたざいりようで山と海と森を作りました。夕食をたべてから二時間ぐらいたつてキャンブファイヤーをやりました。みんなの組もげきをやって歌を歌いました。ぼくも歌をだいぶおぼえました。朝おきて屋上にでてみると、とてもいい気持です。山にはきりがかかつていました。たいそうをして食事をしました。こんどのピクニックは海に行きました。いくとすぐつかれて五キロもありました。海についた時すぐやすみました。リトダーの人たちがフーセンを海にながけてぼくたちが石でフーセンをわるゲームをしたりして日かけて休みました。かえりはカードをひろつてかえます。道を歩いて行くと手紙もあります。いろいろ書いてあつたり「木のはをひろつて行く」とか書いてありました。道は坂になつていきます。やつと森をぬけ出したと思つたらまた手紙がありました。おべんとうを食べてユースホステルにつきました。五キロも歩いたのでひるねをしたらくねむれました。組しゆう会は屋上に出てキャンブファイヤーのげきのれんしゆうをしました。夜やつとキャンブファイヤーになりました。きようは

デンマザーもリーダーの人たちもでたからおもしろかつた。さ
いごにおいのりをしました。たい長が「神さま伊東でのキャン
プもおしまいです。あした東京へかえります。元気なよい子
でありますように」とおいのりしました。夜おそくなつたので
ねた時こくは十時になりました。朝、朝食を食べてしゆう會は
へやのかざりをとりはずしたり、リュックに入れたりしました。
へいかい式の時はホステルの人たちもきました。おわかれのあ
いさつにたいへんほめられました。しやしんもとりました。パ
スにのつてジャンボリーの歌をうたいながら伊東駅につきまし
た。おみやげ店で百円のかいものはおぼろしくかつたと思いまし
た。電車のつて東京駅につきました。出口の所であいさつを
してかえりました。おとうさんがむかえにきてくれました。

スカウティングについて

ローバー
河内 潔

我々スカウトとして正しいとされている行為、行動、生活そ
れがスカウティングである。又人生の別の名ともいえるのでは
ないだろうか。スカウトとして人生を送つて行く事、それがス
カウティングであろう。しかしメツキのスカウティングであつて
はならない。その為にはよりスカウティングを研究し、理解し

なければならぬ。又その態度こそ、真のスカウトと云えるの
ではなからうか。「スカウティング」とはけて抽象名詞では
ならない。動名詞なのである。それは「前向きな姿」を、もつ
と具体的に表わすとすれば、ここに貸りて来た言葉だが実にびつ
たりした言葉がある。それは「開拓者精神」という言葉である。
開拓者とスカウト、実にピッタリした取り合わせではなからう
か。開拓者は畑を、スカウトは人生を開拓するものだと思ふ。
開拓者は過去に開拓した畑の手入れをしながら新しい土地をも
開拓していくのであろう。又我々スカウトも現在を把握し、又
未来への計画を企画しなければならぬ。現在を把握する事と
は、今の自分のいる位置（立場）、地位（役職）を理解する事
であるが、理解すると云うことは非常に難かしい事である。理
解するものはもちろん自分である。その自分という人間は、主
観と云うものを持つてゐる。その主観とは、今までの生活してき
た環境によつて育つたのであるから、まず自己を知る事が最初
の問題であらう。何の仕事をするにしても自分の能力、技量を
知らなければ計画は立たないだらう。しかし自己を完全に知る
という事は、非常に困難な事であるから常に少なくとも知るよ
うに努力する事が大切だと思ふ。次に自分の持つてゐる仕事
（役職）であるが、その仕事を行う為には権利が生ずるのであ
らう。そして、その仕事を行なつてゐる時、又完了した時に自己
というものを主張できるのではないだらうか。少々横道に入つ

はならない。その為にはよりスカウティングを研究し、理解し

てしまったようである。話を元にもどして。スカウティングとは大きく分けて二つに分けることができる。第一は、繩結び・キャンプ・ハイキングなどの活動的なもの。第二は隊長・班長などの役職を持ついわゆる精神的なものである。スカウティングとは前述の二本の柱で立つて行かなくてはならない。この片方が欠けてもいけない事である。前者は内的なもの、意志力（自分の技量を知るものである）。後者は外的なものへの自分の立場、自分と他とを比較して自分を知る場所を作つてくれるものだ。

O.S.・B.S.・S.S.・R.S.までは、あくまでも勉強の場所と時期である。本当のスカウトとして生きて行くのはR.S.を卒業してから後である。B.S.・S.S.の班長、次長などを部外者が見た場合はオマゴトに見えるかも知れない。しかしそれは成長するために必要な教室なのである。失敗という計算違いをゆるしてもらえらる防波堤のついた港なのである。

結局、スカウティングとは頭だけで理解してしまふものではなく、O.S.からR.S.を通して生活して行つて作り上げていくものである。スカウティングとはスカウトではない限り持てない貴重な宝石である。スカウティングはスカウトとして生活した者にしか本当の意味を論ずる事はできないであろう。結論的に云えば、スカウティングとは自分を知らうと努力しつつある態度、又完全なスカウトにならうと努力しつつある態度、又はこの

二つの態度を持つと努力している人間の行為。それが「スカウティング」であると考える。



山中湖キャンプ

ガールスカウト

松崎 朋子

私たちガールスカウトのキャンプは、山中湖ということに決まり、七月二五日の朝、七時に教会を出発した。バスに五時間ほどゆられて、山中湖のキャンプ場についた。とても広々と置いてキャンプ場には、もつたないような所だつた。開会式をしてからお弁当を食べた。次に設営にとりかかったが、火山灰地のため石がなかつたので、ずいぶん苦労した。それでも一応は、キャンプサイトらしくなつた。夕食が終つた時は、ほつとした。

次の日からは、手旗の練習をした。それからハイキングをした。これは、各組インディアンのおまねをして、宝物をさがす、というようになつていて、手紙も「前方に湖が見える右には、

白人の発明した電気の線が見える。」などとゆかいな文章のものが、たくさんあつた。顔にテープをはつたので、やけてあとがついてしまつた人もいた。目的地では、インディアンのおねをして、踊りをおどつた。

次の日は、朝五時三〇分に起きて、おにぎりを作りそれをもつて湖に出かけた。湖では、バレーボールをした。湖にはたくさん魚がいた。新とも（五十嵐さん）が、リーダーに「湖に入つてもいい。」ときいたが「だめよ。」といわれたのでうらめしそうな顔で湖を見ていたが、バレーのボールが湖に入つてしまつたのを見て、まつ先に湖に入つていつた。それから何度もボールが湖に入つたので何度も新ともは湖に入つていつた。小学生との合同キャンプファイヤーでは、世界めぐり、フラダンス、番町皿屋敷、おぼけの国のガールスカウト、など色々なものが出てきた。とても楽しいキャンプだつた。

ブラウニー

ブラウニー

金谷陽子

ブラウニーの入団式の日、私はせい服を着てママにつれられて教会に行きました。せい服を着た時、私は胸がどきどきして、なんともいえないほどうれしく思いました。

初めは巣立ち式で、その次入団式でした。教会のれいはい堂のだんの上に私達仮入団はずらりとならびました。「私は神と国をあいいし、毎日人々を助け、とくに家のおてつだいをします。」やくそくをみんなदैいつて、西ごうリーダーから一人一人ピンをつけていただいた時、私は「これでやつとブラウニーになった。」と思ひました。

お部屋に帰つてリーダーからブラウニーの宝物をいただきました。私ははじめ「宝物つてなんだらう」と思つていたら、それは目には見えないけれど、みんなが心の中に持つてゐる美しいものでした。リーダーが「みなさん、この宝物を大切にみて下さい。」とおつしやつたので、私はこれからみんなのためになるりつばなブラウニーにならうと心にちかひました。

リーダー研修会

上級リーダー

大石みち子

八月十八日（二〇）日まで軽井沢でBS・GS合同リーダー研修会が、飯先生、美藤先生をお迎えし、二十三名の参加をもつて、開かれた。

このことは、予め一部のリーダーの間で希望されていた事で、それが、六月十六日のBS・GS合同リーダー会で賛成を

なんともいえないほどうれしく思いました。

得、Bの側からは、大浜、関口、Gの側からは、内山、大石の四名の委員によつて計画を進めることに決定した。場所については、Bの大浜さんのお宅をお借りすることが出来、又資金面でも団より補助をいただけたことは幸であつた。第一回のため親睦に重点を置く、三つのグループに分ける、主題をスカウティングと宗教とし、副題をスカウティングの効果と期待、スカウティングとリーダー、B・Gの相互理解とすることを委員の間で決めた。ほとんどがキャンプの、特にBは日本ジャンボリーのリーダーとしての責任を終えていた時だけに、なかなか雰囲気の内に関くことが出来た。まず始めに、飯先生に主題について講演をお願いし、愛を持った人を作り、愛を持つて人に教えることがスカウティングの中で大切であり、それは神に仕えることであり、又信仰へと通じるという主旨のお話を伺つた。グループ討議では副題について、全体討議では主題副題全体を、そして、B、Gの組織や活動内容についても話し合うことが出来た。討議の間に、ゲームや歌を、夜にはパーベキユーを、又皆がころげる程に笑つた飯先生、美藤先生を加えた出し物を、そして、委員の間で計画したティーパーティー等をも持つことが出来た。本日に、二泊三日を無駄な時間なく有効に使うことが出来た。帰りのバスの中のB・Gのこたわりの無い雰囲気は、お互にスカウティングに志す者として相互理解を深め、この研修会の成功したことを語つていたと思う。

この理解が、お互のプログラムの上に、又四団発展の上に現われることを願つてゐる。

キャンプについて

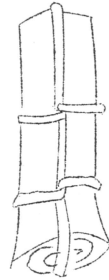
ボーイスカウト

小池 四郎

ぼくは、まだキャンプという事を三度しか経験してゐないの
であまりわからないが、三度だけで気のつくようなキャンプの
あり方について書いてみよう。

まず一として、班員が一つになる。そして班長の命令に従う。
もしなにか班長にいいこととかは休けい時間にする。二つ
めには、ときばきとこり動する。ノロノロしていると班長もイ
ライラして大声を出すもとである。班長として大声を出すこと
はふゆかいであるが、今年のキャンプではぼくが気が短かいの
で大声を出す。すると自然にみんなの行動もときばきとしてく
る。それになんといつても活気ができてボサーとしてゐるや
つが一人もいなくなる。初めは不愉快であつたが、活気がつい
てくると、なんというかどなりがいがある。三には自分のでき
るはんいで能力を最高にはつきするということである。そう
すると、班長は、あいつはこういふ仕事にむいてゐるとか、あ
いつは力がつよいから水運びだとか色々なことがわかつてく

る。それをどれでもいいかげんで仕事をほつたらかしくすると、あいつは何をやらしてもだめだということになる。四にはどんな仕事でもすすんでやるということだ。一人一人がいやだいやだといつていると、いやでもやらされてしまう仕事をほつたらかす原因である。五には自分のあたえられた仕事はいくらいやでも最後まで責任をもつてする。最後にわらい、をわすれないことである。



スカウティングについて

シニアスカウト
倉持雅人

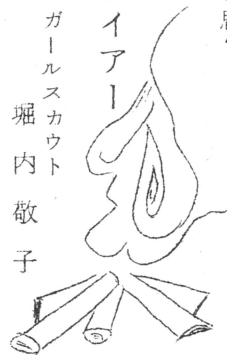
スカウティングとは何か、それは一口に言い表わそうとしても無理である。

キャンプやハイキングに行き体をきたえ、健康になることもスカウティングの一つである。しかしそれ以上に人に役に立つこと、すなわち奉仕の精神こそスカウティングであると思う。どんなに小さくとも自分の出来得ることを必要としている人にさしのべることである。すなわち一日一善であつても奉仕である。又、スマイルと愛を持つてなし得た奉仕は、ひとを幸

福にするばかりでなく、自分をも幸福にする。こうして得た幸福こそスカウトの幸福であるとも思う。

合同キャンプファイアー

ガールスカウト
堀内敬子



まつ暗な夜、星も見えない夜にバツと赤い火がつきました。これからボーイスカウト、ガールスカウトらの合同キャンプファイアーが始まります。一番初めガールスカウトとブラウニーのリーダーの歌でした。とつてもきれいなコーラスだつたと思います。劉リーダーのギターもとても上手だつたと思ひました。ボーイスカウトのお猿も上手でゆかいでした。上級のおどりも上手でとてもきれいだなあと思ひました。あんな花をつけて作つたのにたつた一回で終わつてしまつて衣装がもつたないなあと思ひました。ガールスカウトのA。わたしたちの案はとてもよかつたと思ひます。日本のゆかたはとてきれいだなあと思ひました。アメリカはカツコイイと思ひました。メキシコ：：オバケの国・原案はよかつたなあと思ひました。だんだん火も消えてキャンプファイアーも終わりに近づきました。友情のわをつくつて解散でした。一時は雨がふつて中止になるか心配だつたけれど、無事おわり、楽しい思い出の一つになりました。

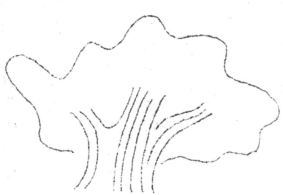
である。又、スマイルと愛を持ってなし得た奉仕は、ひとを幸

スカウティング

レンジャー

伊藤 由紀子

「スカウティング」という言葉は、大変むつかしいと、この機会につくづく感じました。人生から切り離せないこのスカウティングは、私達の社会生活、家庭生活をつつんでくれる酸素のようなものだと思います。入団する時、「良い人間になりま



日本ジャンボリー

シニアスカウト

針替茂人

ジャンボリー！ この夏、最大の行事だった。去年からこつこつ準備してきたのがここで発揮されるのだつた。八月三日、バスで靈南坂教会を出発、総計二十八時間かかつて、開催地の岡山県日本原に到着した。途中退屈もせず、バスの旅行をゆつくり楽しんだ。さえないゲートを通つて、指定された僕達のキヤンプサイトに到着。地面はデコボコ、草はボーボーで、本当に荒地という感じであつた。そして暑さは思つたより暑く、水筒をちよつと放つておいたら、お湯になつてしまふほどだつた。四年前の御殿場の時はまだ最年少であつたので責任はかからなかつたが、今度は違う。中心になるのは僕達であつた。Bもよく働いてくれて、草を刈り、根っこを取り、かまどやごみ穴や食卓などを作り、第一日は終つた。八月五日、開会式である。夕方、約三万のスカウトが参加して行なわれた。これで正式に第四回日本ジャンボリーは始まつたのである。高温、設備水が思うように使えなかつた事、リーダーとの意見のくい違いなどがあつた事は残念だつたと思うが、みんな精神的な面でそれぞれ勉強になつたと思う。夕方の山の景色は美しかつた。仕事のつらい時は早く終つたらなあと思つたが、自然の美しさは、

それとまつたく反対の気持ちにさせる。八月七日は、皇太子御夫妻をお迎えしての大作進だつた。暑さとはこりてひどかつたのどがくつつきそうにかわく。このあとみんなで、いきつつけの売店へ直行、道のりは長かつたが、Bも飲みたい一心で必死で歩いてゐた。到着すると急いでキリンレモンを買つて飲む、そのおいしさは格別だつた。その夜のキャンプファイヤーには各地区の郷土自慢の催し物が行なわれ、なかなかすばらしかつた。八月八日はバスピクニックを行なつた。後楽園はずつとこのような所で生活できたらいいなあと思うほど美しかつた。それから瀬戸内海で泳ぐ、水不足のため充分シャワーも浴びることができなかつたため、この時ばかりはみんなはしやいだ。行き帰りのバスではみんなグーグー寝て、ゆつくり休めた感じだつた。苦しかつたこと、楽しかつたこといろいろあつたが、もう閉会式になつてしまつた。花火が名ごりおしそうにそして再会の日を約束するように打ち上げられた。ある程度まで上がるとバツと散つた。この時、僕はこの五日間約三万人のスカウトと共にすごしたが、これでみんなそれぞれ別れていつてしまうのだなとちよつと感傷的になつた。みんな「来てよかつた。」と思つたに違ひない。本当に印象深い閉会式だつた。このジャンボリーで得たものを自分のものとして、これからのスカウト活動に役だてていきたいと思ふ。



キャンプ

ブラウニー
関 真帆

わたしは去年も今年もキャンプへ行きました。キャンプへ行くときと友だちと遊んだり、ねたりするのはとても楽しいですがテレビがみられないのでつまらない時もあります。でも夏の暑い時にうちでぶらぶらしているよりもずつといいと思ひます。キャンプへ行つて何よりも楽しいのがキャンプファイヤーです。みんな組ごとにげきや歌を歌つたりします。初めてやつた時はなんだかちよつとはずかしいような気がしたけれど、つぎの年は、全然なんとも感じませんでした。ことしは二団のお友だちもいつしよにいつたので去年よりもずつと面白く感じました。また一しよに行きたいけれど、来年はガールスカウトになつてしまふのでいけないのがとてもざんねんに思ひます。でも来年のキャンプが楽しみです。「早く来年にならないかなあ。」と時々、思うことがあります。

カブスカウトについて

カブスカウト

中村 一也

ぼくたちは、毎週土曜日にれい南坂きようかいに集まる。集合の合図のふえがなつた。みんな先をあらそつてかけだして行く。この時からカブの生活が始まる。

みんなならば終わるとほうこくをして、それからまた服そうてんけんもおえる。これが終わると、組集会や隊集会などいろいろなことをする。みんなそれぞれ好きな時間がある。そのうちぼくは組集会が一番好き。組集会で友だちと共同でいろいろなものを作つたり話し合つたりする。またキャンプに行き、みんなと食事をしたりあばれまわつたりする。あまり色々な事をするのでカブつてなんのためにあるのかはぼくにはわからない。なんのためにあるのだろうか？

世界会議のコーラス隊に入つて

上級スカウト

五十嵐 麻利子

世界会議が終つてから曲もなく二ヶ月になろうとしている今
思い出される事は、やはり世界会議で歌つた時の事でしょう。

又それと共に自分のそれまでのコーラスの練習の仕方についても随分反省させられます。半年に渡るコーラスの練習は、長い間ゆつくりと時間をかけてやるものだったのですが私には、それがのんびりしているように感じられこれで世界会議の時上手に歌えるのかしらと疑問をもつた事が何度かあつた。しかしながら、九月に入つて世界会議も後一ヶ月とさしせまる練習にも活気が出て来、次第に私も今まで以上に練習に対して意欲が出て来るようになった。このように開会式には、今までの練習の成果を出そうとはりきつていた私達でしたが、当日は、思つたようにいかず、「声が小さい」、「姿勢が悪い」など数々注意を受けました。しかし、それにもかかわらず開会式が終るとレディー・ペーデン・ポウエル、その他の諸外国のお客様方がいらつしやつて大変おほめ下さり、そして、桜の歌がお気に入りになり、もどかしそうな口で一生懸命歌つていらつしやいました。世界会議も終わる十月八日には、外国の方と我々コーラス隊が一緒に教えたり教え合つたりして短い時間でしたが、本当に楽しいひとときでした。このように数々の感激を受けた世界会議はもう一つだれでもが国をとわず年令を問わず、すぐに仲良く親しく出来るスカウトというものに偉大な何かを教えてくれたような気がしました。

今も世界会議でいただいた物を眺めていると又あらたに思い出で胸がいっぱいになります。しかし、これらのことも限られ

たスカウトだけで、どの団もが何かしらかに参加出来なかつた事は、何としても残念な事だつたと思います。

団キャンプに参加して

レンジヤ
黒部 峰子

バス待ちして寝すごし遅刻し、馬場ちやんを心配させた戸隠のキャンプ。参加人数五名、一人はすぐ帰つて実際は四名。至つて気楽に朝も昼も一絡の食事、大きなテントで夜遅くまでおしやべり。それでも何とかレンジヤらしくと立かまどに、テーブルとイス。研修会と重なつてたつた二日間で切り上げてしまいました。楽しい思い出ばかり、でも、もつと深い精神的なキャンプであつても良いのではないかと思います。

ガールスカウトになつて

ガールスカウト
井辻 朱美

ガールスカウトとして十ヶ月――。静かに今思い返してみるといういろいろなことがあつた。夏のキャンプでは静かな小立ちの夜の時の流れが、又教会の庭で雨に降られた合同キャンプア

イアー、ガールスカウトの誕生日会、バザーの製作品作り、いつもの集会、心の底から歌つたあの歌この歌が、どれもこれも楽しい思い出となつてよみがえつてくる。私が大人になつた時、きつとこれらの行事の数々を思い返し血となり肉となり成長の上にプラスになつたことに気づくだろう。私はそのためにも、もつともつと充実したスカウト生活を送らねば……と思う。ガールスカウトのおきてをよくかみしめ、やさしいリーダーのもとに正しく実行にうつし、やがては大きな世界に生きる人間に成りたいと思う。

ガールスカウトのやくそく、おきてを今一度口ずさみながら、まだ短かいスカウト生活の楽しい思い出と果てしない希望にひたりながら……。

キャンピングから得るもの

ローバー
沢田 明秀

我々は年に何回かキャンピングを行なつて行っているがキャンピングから学ぶことは多く有る。戸外で自分自身でテントを立て火を起こし生活する。だから都会で生活していると家に住みべつとに眠っている人間をアフリカの草原につれて行きその土地生れの間と自分自身の世話ができるか比べてみると彼はぜんぜ

ん生活ができないであろう。このようにどの生活方面にも役立つものがいくらでも有る。夏のキャンプ一週間の間に多くのキャンピングの方法と友情と協力の精神を得て健康と勇らしさを加えて帰つて来るであろう。南アフリカのズール族の土人の少年たちは一人前の男と認められる前にまずスカウトになることを学ぶ。その方法は少年は十五・六才になると頭の先から足の先まで白く塗られ一枚の楯と一本の槍を持たされ村を追い払われる。そしてもし全身が白い間に誰かに捕えられたなら殺されることを申し渡される。そこで少年はジャングルを、山の中にもぐり白い塗料がはげるまで誰にも見つからぬように姿をかくす。それ故この間自分で気をつけ一本の槍で鳥獣を殺して肉を料理し食物を煮焼きし木と木をすり合わせ火をつくらねばならない。またどんな種類の木の根や草の実が食用として適するかなどの知識を持たなければならぬ。もしこれができなければ餓死するか野獣に食われるか他はない。幸いにして生を保つて村に帰る道を見つけて且つ白色がはげ帰ることが出来たなら種族の戦士となることが許される。このようにキャンピングによつて我々も多くを学び成長して行くことによつてキャンピングの大きな意味があるのではないかと思う。

バスピクニック

ボーイスカウト副長
戸田健次郎

僕にとつてバスピクニックは四団全体の行事の中で、自然にもどるいちばん楽しい一日であると思います。他では、あまりみられないことだと思ひますが、ボーイスカウト、ガールスカウトが一緒になつて、ゲームをしたり、お弁当を食べたり、歌を歌つて過ごすのです。

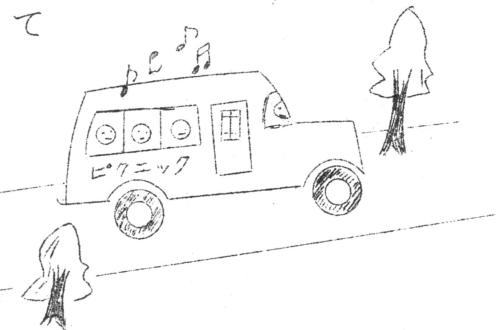
そして、毎年バスピクニックが終ると、すぐその後で、ローパー二人、レンジャー二人がバスピクニック委員として選ばれるのです。今度は、僕がバスピクニック委員になつてやろうと思つて委員になりました。なつたその日から一年先のバスピクニックの期日、場所、プログラム、そして雨が途中で降つてきたらどうするか、その他歌集の問題などを決めなければなりません。歌集の問題というのは、今年はスカウト用の歌集を作ることにして、ボーイやガールの歌を入れたいと思つたのです。というのは、ボーイはガールの歌を知らないし、ガールはボーイの歌を知らないのです。両方の歌をいれ、歌集を普段の集会でもつかえるような、新しいものにしたかったので。これでまずバスピクニックの第一歩をスタートして、今度は場所の問題です。何しろ三百人位の人が集まるための広場が必要です。デ

チームはしたいし、お弁当を食べるし、そして東京から二時間三十分以内で行ける場所ではなくてはならないし、できればお手洗のあるところ、無い時は、ボーイ、ガールがスカウトのキャンブ等で学んだ様にお手洗をつくらなければならない。そこで委員達は平林寺に下見に行きました。いろいろの角度から見ても、平林寺がバスピクニックの候補地としていちばん良いと思つたので平林寺に決めました。これで場所はOK、今度はプログラム。毎年同じ歌やゲームをして、お弁当を食べるバスに乗つて帰つて来るのではつまりません。そこで今度のバスピクニックでは自然を良く見て、自然のものを使つて絵や工作を試してみたいと思ひ、そういうゲームをプログラムの中にいれることを、ローバーやレンジャーの人達と一緒に考えました。救急の病院と薬その他の問題についてもいろいろ考えました。

こうして、いつの間にか一年が過ぎていつた。バスピクニックの前日、僕は、てるてる坊主を四つ作つて、雨が降らないよう祈つた。

四月二十九日、晴、朝六時に教会へ行き、準備してスカウトの集まるのを待つた。スカウトは、お弁当やおやつを沢山持つて教会に集まつて来た。そして出発、一路平林寺へと向つた。東京のスモッグから離れて、きれいな空気を胸いっぱい吸つて、おいしいお弁当を食べ、ゲームをして皆と楽しく過ごして心の中まできれいになつて帰つて来ました。

今年は二十周年を迎え、心からきれいなスカウトとして、これからもすべての面で、助けられたり、助けたり、皆と一緒に力を合わせて前進して行きましょう。



キャンプについて

上級スカウト

小林 小百合

キャンプファイヤーを見つめているといつも私は初めて行つた初瀬のキャンプを思い出します。それは私達姉妹とつて生れて初めての両親を離れた旅行でした。二つの小さなリュックと、小さなホストンバックにどうやらこうやらつめて、勇んで出かけました。昼はキツコ先生やみんなと存分に遊び、夜は砂浜でキャンプファイヤーを囲んでお化け大会をしました。そしてその後、全員キュウキュウ詰め寝床につきました。今ではそれらはみんな楽しい思い出となりました。しかし今でも私の心にたつた一つ思い出としてでなくあの時と同じ気持ちが残っています。それはファイヤーの火を静かに見守る時の気持です。

その時私はいつも心の中が感謝の様な気持で一杯になり、スカウトであることを嬉しく思い、また改めて自覚する事ができるのです。



小の口... きわい... いた... て... 焼... て... 又... した...

います... それは... ファイヤ... の火を... 静か... に見守る... 時の気持です。

第四団年表（二十年史）

年月日	ボーイ・スカウト				ガール・スカウト				できごと
	CS	BS	SS	Rov	Br	GS	上級	Ran	
昭和22年									
2. 22		○							B S・東京第4 隊発足 今井隊長
3. 15		○							西桜小学校グループと合併 遠山・石田・青木
5. 17		○							第一回ラリー 神宮外苑
6. 11						○			第一回集会 リーダー 小崎朝子
8.13~16		○							5隊と合同キャンプ 武蔵引田
8. 27						○			ハイキング 奥多摩
昭和23年									
1. 6		○				○			目黒の厚生寮慰安
2. 21		○							一周年記念祝会
3.29~30		○							初の全夜ハイク 修善寺~伊東
6. 12						○			GS 東京第4 団発足 正式に認められる
6. 19		○							東京スカウトラリー 常盤小学校
8.2~5		○							静岡合同キャンプ参加
8. 8		○							広島国際ジャンボリーに8名参加
8.9~11		○							岐島キャンプ
8.16~18						○			茅ヶ崎キャンプ
11. 14						○			東京ガール・スカウトラリー 立教女学院
昭和24年									
1. 15						○			初めて定められた成人の日にハイキング 二子玉川
2. 26		○							B S 2 周年記念祝会
4. 1		○							正式加盟承認
4. 4						○			日本連盟誕生
6. 11						○			一周年記念誕生会
6. 25		○							今井隊長送別会 大屋副長二代目に就任
7. 23		○							東連初のパレード

9. 3	○				「スマイル」発刊
9.24~25	○				全国大会 皇居前
昭和25年					
1. 3	○				日の丸行進 皇居前
6. 10			○		2周年記念誕生会
6. 24		△			年長班生まれる(△印登録前の仮組織)
8.7~9			○		団キャンプ 茅ヶ崎
8. 9~12	○	△			隊キャンプ 珂久原
8.18~20	○	△			第2回全国大会 新宿御苑
8.29~30		△			自転車夜間ハイク 江ノ島
12. 25	○	△	○		合同クリスマス祝会
昭和26年					
3. 10	○	△			4周年記念祝会 グリフィン氏出席
4. 15	○				葭原隊長就任(3代)
8.4~8	○				蔵王全国大会
8.15~18	○				隊キャンプ
11. 3	○				百隊結成記念大会 日比谷公園
昭和27年					
1. 5			○		日米合同ラリー ミス・クロウ歓迎会
2. 23	○		○		5周年記念祝会
4. 5			○		日米ガールスカウト交歓会(講和記念)
7.23~26	○				隊キャンプ 名栗
7.30~8.9			○		団キャンプ 二の宮海岸
昭和28年					
2. 21	○				6周年記念祝会
3. 7			○		ガールスカウトの集い ミセス・ラッセル歓迎会
4. 18			○		国行尚子リーダー就任
4. 25	○				カブ隊結成が決まる
6. 13			○		6周年記念祝会
7. 30			○		団キャンプ 軽井沢BS 山の家

7.30~8.2	○				隊キャンプ 名栗
8.				○	本部スカウトキャンプ 榛名湖
10. 11				○	ガールスカウト東京支部大会 新宿御苑
12. 15	○				N T V テレビ出演 (コーラス)
昭和29年					
2. 20	○				7周年記念祝会
4.12~21	○			○	日赤救急法講習会
6. 12	○				カブ隊結成式 志水隊長
7.26~30	○	○			隊キャンプ 茗荷指
8.9~12				○	団キャンプ 那須
11. 27				○	ブラウニー東京第4団発足 リーダー 白井喜久子
昭和30年					
2. 26	○				8周年記念祝会
4. 2	○				杉原正隊長就任(2代)
4. 2				○	ガールスカウト少女友愛の集い 朝日新聞
7.15~8.14				○	萬井潤子ジュリエットローセッション参加 アワシヤレー
7.26~29				○	本部スカウトキャンプ 河口湖
8.3~6				○	団キャンプ 那須
8.11~13	○				東連カブ舎営 日光
11. 26				○	シースカウト隊結成 石川隊長就任
昭和31年					
2. 22	○				9周年記念祝会
5. 27				○	東京支部大会 ICU
6. 16	○				2周年記念祝会
7.27~30	○				隊舎営 山中
8.3~7	○	○			第1回 日本ジャンボリー 軽井沢
8.15~				○	団キャンプ 八ヶ岳
10. 14	○				山手地区カブラリー 多摩川台公園
11. 3	○				東連カブビクニック 市川国府台
11. 23				○	シースカウト一周年記念祝会

12. 26	○	○	○	○	○	クリスマス祝会
昭和32年						
4. 29	○	○	○	○	○	10周年記念式典
5. 3	○	○	○	○	○	合同バスピクニック 西武園
6. 8	○					3周年記念祝会
6.21~9.7					○	田中富江 ジュリエットロウセツンヨン参加 カナダ・アメリカ
8.2~ 5		○	○			関東キャンボリー 犬吠崎
8.19~22	○					隊舎営 小湧谷
8.25~26			○			移動キャンプ 雲取山
8.					○	第1回全国キャンプ大会 箱根芦ノ湖
8.				○		団舎営 初声海岸
12. 23	○	○	○			新制度により第4団となる 田中団委員長就任
昭和33年						
1. 4					○	上級スカウト東京第4団発団式 リーダー 志水 興
2. 22		○				11周年記念祝会
3. 29	○	○	○	○	○	バスピクニック 谷津
4. 5				○	○	合同巣立ち式 リーダー Br 白井喜久子 GS 志水 久 上級 志水 興
6. 14					○	12周年記念祝会
6. 22	○					4周年記念祝会
7. 25		○	○			KR TV出演 「楽しいキャンプ」
7.26~30			○			シースカウトキャンプ 茅ヶ崎
7.28~31	○					隊舎営 日光清滝
8.12~18			○			年長班キャンプ 阿久原
8.14~18		○				隊キャンプ 阿久原
8.22~26				○	○	東京支部合同キャンプ BS 那須野営場
8.27~30					○	団キャンプ 佐渡
8. 29	○	○	○	○	○	合同キャンプファイアー
11. 1					○	日本連盟10周年記念式典
11. 9				○	○	東日本ラリー デイムレスリー・ホフツレー来日

8.7~11						○	団キャンプ 初声海岸
8.						○	団キャンプ 唐沢山
8.						○ ○	本部キャンプ 戸隠
10. 1	○	○	○	○	○	○	合同キャンプファイアー
昭和36年							
2. 25	○	○	○				14周年記念祝会 飯牧師育成会長に就任
4. 8						○ ○ ○	合同集立ち式 リーダー Br 原 崇子 GS 塚田洋子 上級 黒部牧子
5. 14	○	○	○	○	○	○	合同バスピクニック 狭山湖
7.21~24	○						隊舎営 秩父
7.29~8.2			○				隊キャンプ 富崎
8.2~ 6			○				シニアローバー海洋訓練 商船大学
8.9~13						○	団キャンプ 八ヶ岳
8.						○	団舎営 山中湖
7.26~29						○	団キャンプ 羽村
9. 30	○	○	○	○	○	○	合同キャンプファイアー
11. 19						○ ○ ○	東京支部運動会 成城学園
昭和37年							
1. 7	○	○	○				新春パレード
2. 24			○				15周年記念祝会
2. 24						○ ○	国際友好の日 ワシントンハイツに招待される
3.19~24			○			○	日赤救急法講習会
3. 30	○						NET TV出演 133団と共演
3.30~4.1						○ ○	東京支部キャンプ 伊東
4. 1						○	青年隊発足 隊長 今田富士雄
4. 2			○				隊ハイク 大山
4. 7			○			○ ○ ○	合同集立ち式 リーダー Br 西郷崇子 GS 塚田洋子 上級 黒部牧子
4. 7						○	仮称レンジャー発団 リーダー 根本喜久子
4. 14						○	ピクニック 新宿御苑
4.25~30			○			○	日赤救急法講習会
4. 29	○	○					身体障害者慰安会奉仕 新宿御苑

5. 20	○	○	○	○	○	○	○	○	15周年記念式典
5. 27	○								ピクニック 神宮
6. 2					○				ワシントンハイツ招待される
6. 4	○								8周年記念祝会
6.16~17		○							週末隊キャンプ 教会
6. 23						○			15周年記念祝会
6. 30								○	デイキャンプ 教会
7. 15								○	レンジャーキャンプに参加 戸隠
7.21~24								○	初声水泳キャンプ
7.21~24	○								隊舎営 伊東ユースホテル
7.26~28						○			団キャンプ 軽井沢ユースホテル
7. 24		○							日米スカウト交歓レセプション
7.27~28		○							週末隊キャンプ 教会
8. 1		○							NHKTV出演 「教師の時間 "リクレーション"」
8.2~8		○	○	○					アジアジャンボリー 御殿場
8.8~11								○	団キャンプ 西那須野 BS野営場
9. 23			○					○	日曜学校大会奉仕 青山学院
10. 20						○			8周年記念祝会
10. 27								○	バザー
10. 28	○								ピクニック 小石川植物園
10. 30								○	MRAの会奉仕 小田原
11. 4	○	○	○	○	○	○	○	○	合同バスピクニック 三里塚牧場
11. 17		○							隊ハイキング 柿生
11. 18						○	○	○	日本連盟ラリー参加 (Lady B-p 来日)
11. 25		○							警視庁記念日ショー奉仕
12.1~2								○	ナイトハイク 陣馬
12. 15	○	○	○	○	○	○	○	○	合同クリスマス礼拝
12.25~30			○					○	合同スキー同好会
昭和38年									
1. 6		○							新春パレード 日比谷一都庁

2. 2					○	フオークダンスの会
2. 23	○					16周年記念祝会
2. 24			○			国際友好ブラウニーの集い 京橋公会堂
3. 10	○					全国カブラリー 上野公園
3. 13				○	○	オリビツクの集い 都体育館
3.21~31	○	○				クリスチャンスカウト 沖繩親善使節団派遣 (杉原・金森・小林昭・万石・関口・渡辺・増田・塩崎)
3. 24	○					隊ハイキング 三浦半島
3.30~4.1				○	○	支部キャンプ 成城学園
3.26~4.2				○	○	日赤家庭看護法講習会
4. 6			○	○	○	合同集立ち式
4.2~4			○	○	○	スケートの会
4. 13					○	一周年祝会
4. 28					○	全国総会奉仕 正式にレンジャー発足
5. 3	○	○	○	○	○	バスピクニック 真鶴岬
5.12~18	○				○	日赤救急法講習会
5. 12	○					杉原隊長 ウッドバッチ授与
5.18~19					○	デイキャンプ
6. 1	○					9周年記念祝会
6. 2			○			支部ブラウニーピクニック 砧緑地帯
6. 15				○		16周年記念祝会
6.15~16	○					全夜ハイキング 渋沢丘陵
6. 8			○			花の日 老人ホーム慰問
6. 29					○	デイキャンプ
7.5~8.15					○	田中恵子ジュリエットロウセッション参加 マワカバニア
7.28~9.2	○					飯田隊長 第11回世界ジャンボリー参加 <small>ギリシヤ マラソン</small>
7.21~24	○					隊舎営 西湖ユースホテル
7.29~8.3		○				年長隊富士野営参加
7.31~8.7				○	⊖	アジアキャンプ大会 戸隠
8.2~5	○					隊キャンプ 那須野

8.14~18			○						隊移動キャンプ 八ッ岳縦走
8.28~30							○		団キャンプ 軽井沢ユースホテル
8.28~30								○	アジアキャンプ不参加者キャンプ 日光
9. 7	○	○	○	○	○	○	○	○	合同キャンプファイアー
9. 22			○	○				○	日曜学校大会奉仕
9.30~10.5			○					○	日赤救急法講習会
10. 20	○								クリスチャンスカウト隊 リーダー研修会
10. 20					○	○	○	○	ミス・カーカリ歓迎ラリー 香蘭女学院
10. 26	○	○	○	○	○	○	○	○	教会バザー協力
11. 10		○							隊ハイキング 長浦一豆子
11. 23								○	鎌倉ハイキング 永川丸見学
11. 23		○	○	○					東連合同訓練大会参加
11. 30							○		9周年記念祝会
12. 1								○	支部ブラウニー デイキャンプ参加 17団
12. 7								○	ナイトハイク 大岳山
12. 15	○	○	○	○	○	○	○	○	合同クリスマス礼拝
12.26~28		○						○	スケートの会
12. 27		○							隊ハイク 羽村
昭和39年									
1. 5		○	○	○					新春バレート 日比谷一銀座
2. 22		○							17周年記念祝会
2. 22								○	二葉保育園奉仕
2. 23					○	○			国際友好の集い 久保講堂
3. 21		○							隊ハイキング 柿生
4. 4					○	○	○	○	合同集立式
4. 4		○							飯田隊長送別会 柳隊長就任(6代)
4.11~12								○	ナイトハイク 奥武蔵高原
4. 14								○	2周年記念祝会
4. 29	○								10周年記念式典
5. 5	○	○	○	○	○	○	○	○	合同バスピクニック 荒崎海岸

5. 12							○	レンジャークラブ キャンプファイアー
5. 31				○	○	○	○	東京都支部バザー
6.9~7							○	中島千賀子レンジャーアドベンチャー参加 <small>アワシヤレ</small>
6.13~14	○							夜間ハイク 宮沢湖
6. 13					○			17周年記念祝会
6. 13						○		フォークダンスの会
7. 4							○	デイキャンプ 教会
7. 5				○				教会バザー
7. 11					○			デイキャンプ 教会
7.21~25							○	団キャンプ 平石森山
7.21~24	○							隊舎営 志賀高原発 噴温泉ホテル
7.27~31		○						隊キャンプ 富士山麓
7.28~30					○			団キャンプ 秩父ユースホテル
8.4~9			○					隊移動キャンプ 伊豆縦走
8.10~13						○		団キャンプ 朝霧高原
9. 5	○	○	○	○	○	○	○	合同キャンプファイアー
9. 27			○	○			○	日曜学校大会奉仕
10.10~25		○	○	○				オリンピック国旗奉仕
10. 25	○							ピクニック I C U
10. 25						○	○	国連デー行進
10. 25							○	支部お茶会 根津美術館
10. 31	○	○	○	○	○	○	○	教会バザー
11. 8						○		10周年記念式典
11. 22		○	○					東連合同訓練大会
11. 23						○		ハイキング 滝山城址
11. 23							○	ハイキング 高水三山
12. 19	○	○	○	○	○	○	○	合同クリスマス礼拝
昭和40年								
1. 10		○	○					新春パレード
2. 27		○						18周年記念祝会

2. 27	○								隊集会場所 永川小学校へ移転
3.22~24	○				○				日赤救急法講習会
3.23~24				○	○	○			スケートの会
3. 27				○	○	○	○		支部100団結成記念式典 駒沢レスリング会場
4. 3				○	○	○	○		合同巢立ち式
3.26~28	○								冬期舎営 山中野営場
4. 10	○								都内課題ハイキング
4.1~5							○		日赤家庭看護法講習会
5.3~4			○	○			○	○	日曜学校大会奉仕
5. 5	○	○	○	○	○	○	○	○	合同バスピクニック 猿島
5. 8							○	○	渡辺静さんをしのぶ会
5. 30							○	○	支部バザー
6.9~7.15							○		黒部牧子リーダー 米国ラウンドアツプ参加
6. 12							○		18周年記念祝会
6. 19	○								11周年記念祝会
6.19~20		○							油壺一泊キャンプ
6.26~27							○	○	デイキャンプ ひなぎく幼稚園
6.		○							NHK「歌のメリーゴーランド」出演
7.10~18			○						隊キャンプ 那須
7.21~24	○								隊舎営 八ヶ岳美しの森
7.28~30						○			団キャンプ 榛名高原
7.27~30							○		団キャンプ 唐沢山
7.31~8.3								○	団キャンプ 初声
8.10~12								○	団キャンプ 戸隠
8.23~27		○							隊キャンプ 日光
9. 4	○	○	○	○					上進式
9. 4	○	○	○	○	○	○	○	○	合同キャンプファイアー 檜町公園
9. 23		○	○	○					クリスチャンスカウトラリー 立教グラウンド
9. 26			○	○				○	日曜学校大会奉仕
10. 23							○	○	国連デー行進

10. 24		○	○	○					第一地区ラリー 滝山城跡
10. 24							○		ハイキング 鎌倉天園・水無川
11. 3								○	サイクリング 都内
11. 13	○	○	○	○	○	○	○	○	教会バザー
11. 7								○	ハイキング 九鬼山
11.20~21		○							夜間ハイキング 鷹取山
12. 18	○	○	○	○	○	○	○	○	合同クリスマス礼拝
昭和41年									
1. 9		○	○	○					新春パレード 新宿
2. 12							○		グランドハイツ内GSと交歓会
2. 19		○							19周年記念祝会
3. 5							○		国際友好ブラウニーの集い
3.								○	春期キャンプ 蛭井沢
3. 27		○							隊ハイキング 勝浦
4. 2		○							関口隊長就任(7代)
4. 2	○								万石隊長就任(3代)
4. 2						○	○	○	合同巣立ち式
4.11~17			○	○					AI PPI 奉仕 ヒルトンホテル
4.16~17								○	ナイトハイク 奥武蔵高原
3.			○						キャンプ 布良海岸
4. 29	○	○	○	○	○	○	○	○	合同バスピクニック 平林寺
5. 17							○	○	東京支部園遊会 迎賓館
5.24~29							○	○	スカウト週間展示会 三越
5. 29							○	○	支部バザー
6. 5								○	支部お茶会
6. 11								○	19周年記念祝会
6. 18	○								12周年記念祝会
6.18~19		○							オーバーナイト。 八王子城跡
6. 19							○		父と子のミーティング
6.25~26								○	デイキャンプ 鎌倉

6. 26	○	○	○	○	○	○	○	スカウトバザー
7.25~28					○			団キャンプ 山中野営場
7.21~24	○							隊舎営 伊東ユースホテル
7.28. 8.1							○	団キャンプ 佐久間ダム
8.3~11	○	○	○					第4回日本ジャンボリー 岡山県日本原
8.15~17					○			団キャンプ(2団と合同) 館山
8.18~20	○	○	○	○	○	○	○	合同リーダー研修会 軽井沢
8. 24		○	○	○				NHKT V「明日は君たちのもの」出演
8.23~25		○						隊キャンプ 富津海岸
9. 3	○	○	○	○				上進式
9. 3	○	○	○	○	○	○	○	合同キャンプファイアー
9.28~10.8					○	○	○	ガール・ガイド ガール・スカウト世界会議開催
9.26~10.1			○				○	日赤救急法講習会
10. 1					○	○	○	世界会議記念ラリー 青山学院
10. 23							○	サイクリング 千葉
10. 30		○						ハイキング 中津川溪谷
10. 22						○	○	国連デー バレード
11.2~3							○	団舎営
11. 5	○	○	○	○	○	○	○	教会バザー
11. 23						○		ハイキング 景信山
12. 17	○	○	○	○	○	○	○	合同クリスマス礼拝
12.27~29	○	○	○	○	○	○	○	スケートの会
12. 28			○	○		○	○	秋津療育園奉仕
昭和42年								
1. 7	○	○	○	○				餅つき
1. 8		○	○	○		○	○	新春バレード
1. 22	○	○	○	○	○	○	○	教会奉仕者修養会
2. 18						○	○	日本テレビ「ドライブゲーム」出演
2. 18		○						20周年記念祝会

(注) 昭和37年以前の詳細については「15周年記念誌」付表を参照。

編集後記

☆ 未来を知るための最良のものは過去であるとバイロンはいつている。とはいえ、ただ歴史をふりかえってみるだけで未来の姿が現われてくるという意味では勿論ない。過去を客観的に分析し、この分析の上に立つて現在を位置づけ意味づける時にはじめて前進的な未来像も描きうるのである。進歩も向上も、このような未来像を持つことに、存するのである。これから四団が輝やかしい未来を築きあげていくために、我々はまず歴史をふりかえってみる必要があるのではないだろうか。

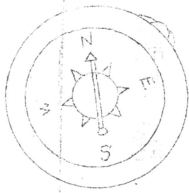
☆ 意義ある二十周年記念日を迎えられるようにと、昨年四月から二十周年企画委員会が発足し一年がかりで計画してきました。委員会は総務、杉原・内藤・内山、式典、関口・菅野、記念品、大浜・大石、展示、渡辺・堀越、パーテーター、万石、バスピクニック、加藤・河内・長谷川、壇上、記念誌、大内・田中以上十六名のリーダーと、会計・総務を引き受けて下さっている団委員の方々をあわせ、計二十五名から構成されました。

☆ 「モシモシ、コンバンワ。用事は言わなくても分っているね……。そう、今度の土曜日迄だよ。今日で十回目。……頼むよ、そんな事云わないで……。いいね、じゃ必ず。ガチャン」こ

れを延べ一万回(?)やつた人間は僕のような顔になつてしま
います……。人生訓

☆ 私達の無理なお願いを快く引き受けて下さり玉稿を頂きま
した方々には心から感謝しております。また慣れぬ仕事のため
途中幾度か意が挫けそうになつた時、励まし御協力下さつた杉
原さん、忙がしいあい間にわざわざ表紙のデザインをして下さ
つた大浜君、カットの堀越さん、又、スカウトの原稿集めに協
力して下さつた各隊のリーダーの方々にも深く感謝しておりま
す。このたび、どうやら発刊にこぎつき得たのも皆様のおかげ
と思ひ心からお礼申し上げます。

☆ なにぶん微力な私たちですので皆様の御期待に添うような
ものも出来ず、色々御不満の点もあるとは存じますが、これを
機会に思い出をひもといて頂ければ幸いです。



創立二十周年記念誌

発行日 一九六七年四月二十九日

編集者 大内 丘

田中 恵子

発行者 ボーイスカウト東京第四団

ガールスカウト東京第四団

東京都港区赤坂一ノ三ノ六

壺南坂教会内